

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
産業経済部新産業創造課	RubyCityMATSUEプロジェクト2.0事業費

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	あの面白い企業、松江発って知ってる？
	主要施策	Ruby City MATSUEプロジェクト事業

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	地元IT企業の更なる成長、地元他分野企業と連携による相互成長、成長性評価の企業誘致、起業・新ビジネス創出、地元企業のDX化を推進し、IT産業発の地域経済好循環を実現する。	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
		市内ソフト系IT企業売上高（百万円）	26,000	26,800	27,600	30,000
	目標（何を達成するのか）	IT従事者数（人）	1,265	1,285	1,305	1,365
「人材育成」「企業誘致」「コミュニティ（の充実）」に「事業化支援」を加えた4本を柱に、「Ruby City MATSUE」発の新サービス・新規事業創出を達成する。						

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月～	事業誘致可能性検証業務開始	11月	RubyWorld Conference 2025開催
	秋～冬	ハッカソンプログラム開催		
	秋～冬	MATSUE Tech-Product Award開催		
通年	プロモーション			

事業概要

（数値目標の目標年度）
市内ソフト系IT企業売上高（百万円）2029（R11）年度、IT従事者数（人）：2029（R11）年度
※R5実績が確定したため、この度確定値を表示している。
※その他、地域再生計画に記載しているKPIのうち主なものについては主要データに別記。

「Ruby City MATSUE 2.0」（令和6年3月策定）に基づき、「事業化支援」「人材育成」「企業誘致」「コミュニティ（の充実）」の各事業を推進することで、ITを起点とした起業・協業・新規事業の創出に取り組む。

本事業に関する主要データ

各種データ 地域における新規雇用者数（人）は調査年度の翌年秋に数値が確定するためすべて目標値
他項目はR7（2025）年度以降は目標値

2.2 基本構想

TECH STEP JUMP / テックステップジャンプ
デジタルのチカラで、夢をカタチにするまち・松江

これまでの事業の柱
Ruby City MATSUE
人材育成
企業誘致 コミュニティ

アプローチ
【短期】自らの能力を最大限に発揮できる環境づくり
【中期】産官学連携、コミュニティ等を踏えた共創の場づくり

これからの事業の柱
Ruby City MATSUE 2.0
事業化支援 人材育成
企業誘致 コミュニティ

オープン・マインド&コミュニケーション
オープン・マインド（開かれた精神）とコミュニケーションが、コミュニティを豊かにし、夢をカタチにする

* 基本計画「Ruby City MATSUE 2.0」より抜粋

事業計画	R6実績見込	R7計画	R8計画
	○事業化支援 ハッカソンプログラム及びMATSUE Tech-Product Award第1回大会開催 ・JUMPコース：応募組数：59組 ・STEPコース：参加組数：5組 ○コミュニティ ・RubyWorld Conferenceにおいて松江出身者の特別講演開催 ○人材育成 ・Matz葉がにロボコン開催 ○企業誘致 ・松江の特徴を活かしたビジネス誘致の検討	○事業化支援 ・ハッカソンプログラム及びMATSUE Tech-Product Award 第2回大会開催 ○コミュニティ ・Ruby Conf. TAIWAN参加 ○人材育成 ・Matz葉がにロボコン開催 ○企業誘致 ・事業誘致可能性調査を実施	○事業化支援 ・ハッカソンプログラム及びMATSUE Tech-Product Award 第3回大会開催 ○コミュニティ ・台湾Rubyコミュニティとの交流 ○人材育成 ・Matz葉がにロボコン開催 ○企業誘致 ・事業誘致可能性調査を踏まえた実践的なモデル事業を実施
	達成度		
1	計画目標に向けて順調に推移		

財源内訳	歳入・歳出の推移(単位：千円)	
	R6 決算見込	R7 当初予算
	事業費	7,610
	国・県支出金	3,805
	地方債	
	その他	0
	一般財源	3,805
	歳入合計	7,610

R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
委託料	5,610		
負担金補助及び交付金	2,000		
事業費計		7,610	

課題

①IT業界と非IT業界が相互に影響を与えながら成長し、地域経済を牽引していく構造に転換していく必要がある
②ITを活用した新規事業開発に向けてエンジニア個人や小規模チームなど、より小さな粒度のきめ細かな後押しが効果的であると考えられるものの、支援が行き届いていない
③地元企業や起業家のコミュニティと、「ボーダーレス」なRubyコミュニティを十分に活かしきれていない

方向性

①エンジニアが他職種・他領域の人材と関係を構築し、地域にある解決すべき案件の発見・解決に向けて行動する機会等を設ける
②企業単位ではなく、企業に属するエンジニア・フリーランスエンジニア等、個人の挑戦を支援することを通じ、事業も創れるエンジニアを育成する
③「MATSUE起業エコシステム推進事業」と連携しながら、事業化支援と海外連携に取り組む

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
産業経済部ものづくり産業支援センター	アクションプラン推進事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	国内外に強い競争力を持つ中小企業群を実現することを目的に、ものづくり産業の振興を図り、雇用の増加や地域経済の発展・成長につなげていく。	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
	目標（何を達成するのか） ●企業の基盤強化・生産性向上支援 ●人材確保・育成・定着支援 ●新市場開拓支援 ●小規模企業者支援	設備導入支援件数（件/年）	17	30	30	90
		デジタル化支援件数（件/年）		10	10	30
環境負荷軽減活動支援件数（件/年）			5	5	15	

●数値目標の目標最終年度：2027（R9）年度
※数値目標の項目（成果指標）はアクションプラン改定に伴い変更。
「IT等導入支援件数」→「デジタル化支援件数」
「新分野チャレンジ支援件数」→「環境負荷軽減活動支援件数」
※数値目標の目標値は、2025（R7）～2027（R9）年度の合計件数。

ものづくり産業の振興を図るため、「第5期松江市ものづくりアクションプラン（2025～2027）」に基づき、「変化に強い持続可能な企業づくり」を取組目標として、(1)企業の基盤強化・生産性向上支援、(2)人材確保・育成・定着支援、(3)新市場開拓支援、(4)小規模企業者支援などについて補助支援を行う。

●第5期松江市ものづくりアクションプラン（2025～2027）の補助支援制度
(1)【企業の基盤強化・生産性向上支援】：設備導入支援、デジタル化支援、環境負荷軽減活動支援
(2)【人材確保・育成・定着支援】：人材育成・確保支援、職場環境改善支援
(3)【新市場開拓支援】：販路開拓支援、新製品・新技術開発支援
(4)【小規模企業者支援】：小規模企業者支援

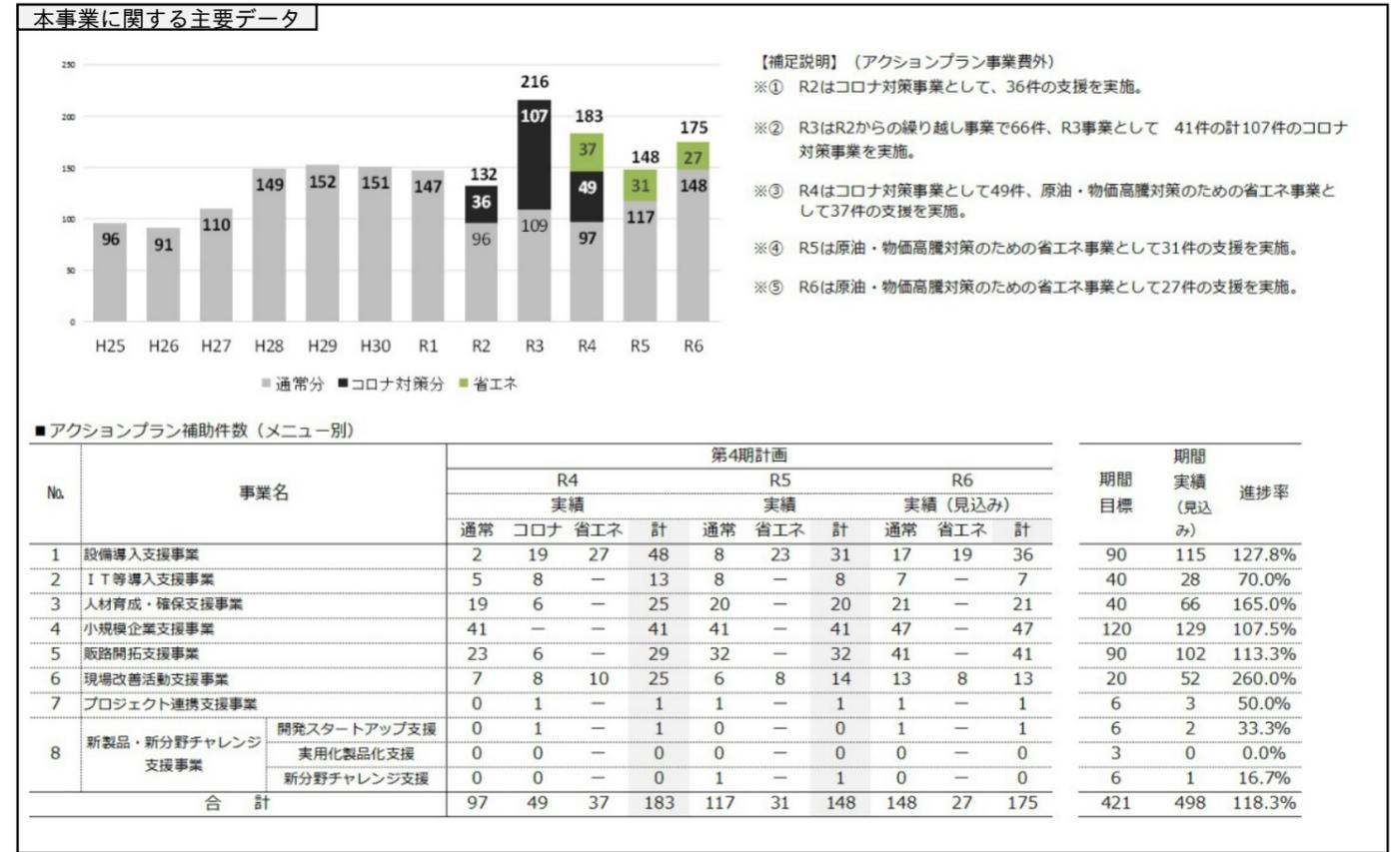
事業計画	R6実績見込	R7計画	R8計画
	●引き続き「第4期ものづくりアクションプラン（2022～2024）」に基づいて『アフターコロナを見据えた変化に強い企業づくり』を目標に、支援を実施。 (1)生産性向上・新市場開拓 (2)新ビジネス創出 (3)小規模事業者事業継続 【支援実績（見込み）】148件 47,695千円 ●あわせて企業のIT化や人材確保への取り組みなどを支援。 ●「第5期ものづくりアクションプラン（2025～2027）」策定にあたって、ニーズに沿った支援を実施するため、市内企業へのヒアリングおよびアンケートを実施。	●「第5期ものづくりアクションプラン（2025～2027）」に基づき、「変化に強い持続可能な企業づくり」を目標に支援を実施予定。 (1)企業の基盤強化・生産性向上支援 (2)人材確保・育成・定着支援 (3)新市場開拓支援 (4)小規模企業者支援 ●あわせて企業が実施するものづくりへの関心向上に向けた取組、脱炭素化推進への取組、デジタル化推進への取組などへの支援を実施予定。	●「第5期ものづくりアクションプラン（2025～2027）」に基づき、「変化に強い持続可能な企業づくり」を目標に支援を実施予定。 (1)企業の基盤強化・生産性向上支援 (2)人材確保・育成・定着支援 (3)新市場開拓支援 (4)小規模企業者支援 ●あわせて企業が実施するものづくりへの関心向上に向けた取組、脱炭素化推進への取組、デジタル化推進への取組などへの支援を実施予定。
	達成度		
1	計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)	R6	R7
	決算見込	当初予算
事業費	47,695	60,184
国・県支出金		0
地方債		
その他		31,200
一般財源	47,695	28,984
歳入合計	47,695	60,184

課題	方向性
●続く原油・原材料価格の高騰や人材確保難など市内企業を取り巻く経営環境は依然として厳しい状況が続いている。また昨今ではデータとデジタル技術を活用して業務やプロセスの変革を目指すIT化・DX化への取組や、脱炭素社会の実現に向けて、環境に配慮した事業の構築に取り組む動きが加速している状況である。このように事業環境及び課題が刻々と変化する状況下において、企業が抱える課題を的確に把握し、ニーズに沿った支援策を構築していく必要がある。	●刻々と変化する事業環境及び課題に対応できる企業づくりを支援するため、「第5期ものづくりアクションプラン（2025～2027）」を策定し、目標を「変化に強い持続可能な企業づくり」と定め、各種支援策を実施していく。

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	あの面白い企業、松江発って知ってる？
	主要施策	ものづくりアクションプラン推進事業

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月	補助支援制度説明会		
	4月～3月	各補助金募集		
	11月、3月	ものづくり振興会議（2回）		



R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報償費	180		
旅費	4		
負担金補助及び交付金	60,000		
事業費計			60,184

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
産業経済部新産業創造課	MATSUE 起業エコシステム推進事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	起業や新ビジネスの創出環境や魅力的な就業環境を整え、雇用や新産業を生み出し、地域経済の活性化の好循環、若い世代の定住やUIターンにつなげ、地方創生を実現する。	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
		創業数（新設法人数）（社）	105	120	125	145
	目標（何を達成するのか）	創業相談支援件数	1,010	1,070	1,170	1,470
起業や新ビジネス創出を志す者の挑戦を地域の産学官金がノウハウを提供しあいながら実現まで支援する環境「MATSUE起業エコシステム」を形成する。	起業等の事業化件数	4	4	4	17	

事業概要	(数値目標の目標年度) 創業数：2030(R12)年度、創業支援相談件数：2029(R11)年度、起業等の事業化件数：2022(R4)から2026(R8)年度までの累計値
	(1)コミュニティ運営 コミュニティ「MIX」を活用し、チャレンジャーや支援機関が良質な出会いと学びを得るため、イベント、交流会、勉強会等の企画運営、アントレプレナーシップ教育や他の創業支援施設との連携を行う。
	(2)事業化支援・人材育成 事業化集中支援プログラム「MATSUE DREAMSアクセラレータープログラム」をブラッシュアップして開催する。
	(3)アントレプレナーシップ教育 アントレプレナーシップ教育を育む目的で実施するプログラムの運営費を補助することで、学生の挑戦を支援し、地域に対するプロモーションを併せて行う。
(4)プロモーション 学生、地元企業等へ向けた市内向けプロモーション、市外の起業家、企業、ベンチャーキャピタル等に向けた市外向けプロモーションを展開する。	

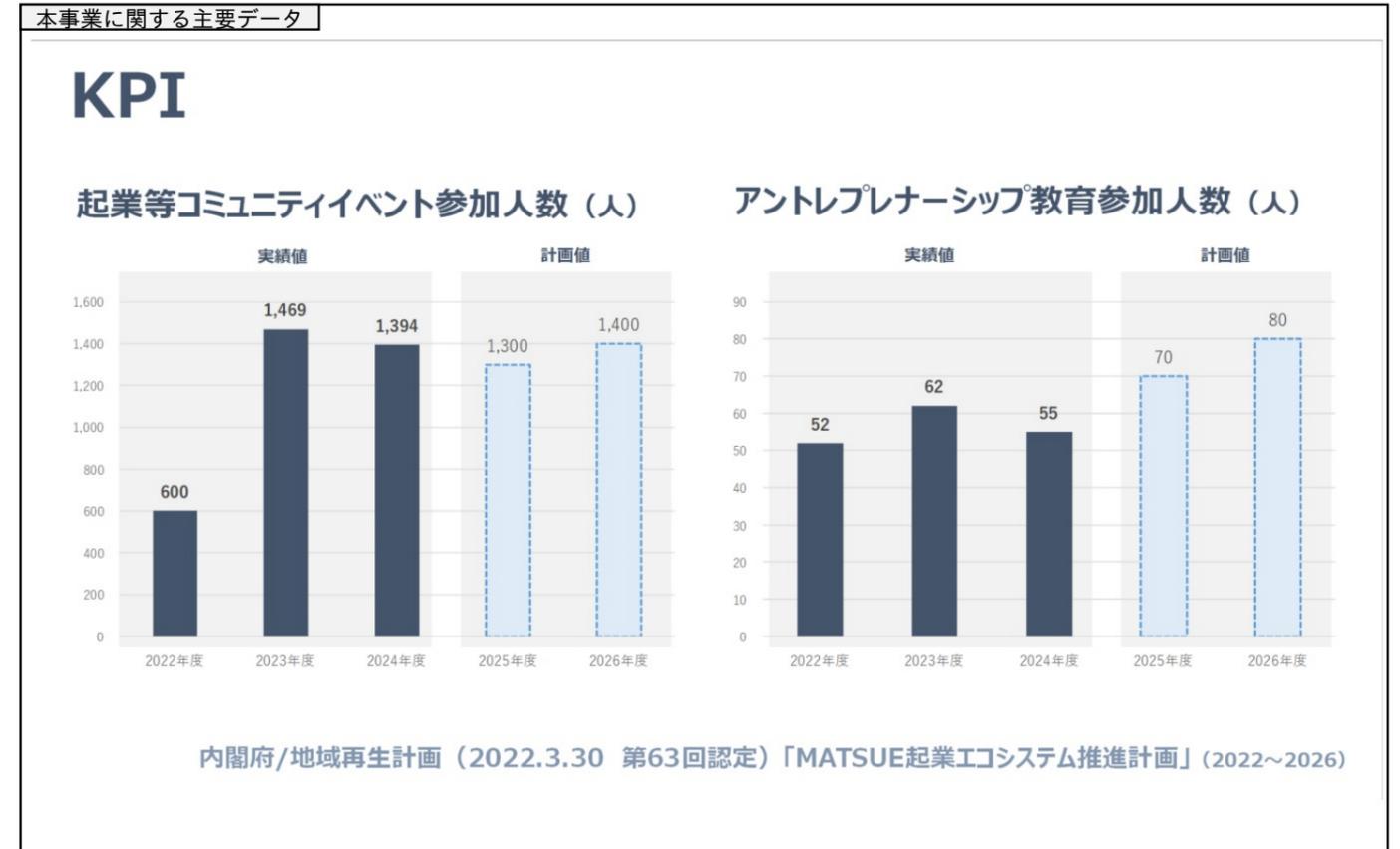
事業計画	R6実績見込	R7計画	R8計画
	1. コミュニティ運営 ・イベント開催数：128回 ・イベント参加者数(延べ)：1,293人 2. 事業化支援・人材育成（リサーチソン/アイデアソン） ・リサーチソン：事業オーナー4組、サポーター11名 ・アイデアソン：事業オーナー4組、サポーター13名 3. アントレプレナーシップ教育 ・エントリー数：22組 ・人数：55人 4. プロモーション ・SNS運用、映像制作等	1. コミュニティ運営 ・コミュニティ「MIX」の運営 2. 事業化支援・人材育成（リサーチソン/アイデアソン） ・事業化集中支援プログラムの開催 3. アントレプレナーシップ教育 ・アントレプレナーシップ教育事業補助金 4. プロモーション ・市内外へのプロモーション	1. コミュニティ運営 ・コミュニティ「MIX」の運営 2. 事業化支援・人材育成（リサーチソン/アイデアソン） ・事業化集中支援プログラムの開催 3. アントレプレナーシップ教育 ・アントレプレナーシップ教育事業補助金 4. プロモーション ・市内外へのプロモーション
	達成度		
1	計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)	R6	R7
	決算見込	当初予算
事業費		13,400
国・県支出金		6,666
地方債		
その他		0
一般財源	0	6,734
歳入合計	0	13,400

課題	方向性	①事業化集中支援プログラムについて、広報・内容に改善の余地がある
		②「MATSUE起業エコシステムコンソーシアム」会員以外を巻き込み、組織力を向上させる必要がある
		①事業化集中支援プログラムをブラッシュアップして実施する ②パートナー会員・MIXアドバイザーなど、民間活力の活用・支援の輪の拡大に取り組む

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	あの面白い企業、松江発って知ってる？
	主要施策	MATSUE起業エコシステム推進事業

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	通年	MIXの運営		
	夏～秋	事業化集中支援プログラム実施		
	4月～1月	アントレプレナーシップ教育事業補助金による支援		
通年	SNS運用等プロモーション			



R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	13,400		
事業費計			13,400

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
産業経済部商工企画課	松江工芸品の魅力発信と担い手育成事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	手仕事の価値に光を当て、国内外に発信することで、若い世代の希望を生み出す個性豊かで地域の特色を生かした産業と雇用の創出に繋げる。	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
		工芸品販売額(千円)	11,681	8,745	9,870	13,300
	目標（何を達成するのか）					
	工芸作家が実施する販路開拓、商品開発を推進し、松江工芸の魅力を発信する。					

事業概要	魅力発信事業 ・工芸作家が参加する工芸品の展示会や販売イベントの開催支援 ・松江工芸の魅力を発信するWEBサイト等の運営
	魅力向上事業 ・松江工芸の認知度向上や販売支援等を行う専門家の招聘支援

事業計画	R6実績見込	R7計画	R8計画
	○展示販売会等イベントの開催 カラコロ工房ギャラリーにおいて、「Kプロジェクト展」、「陶と漆 二人展」、「うつわと珈琲と一期一会」を開催し、工芸品の展示販売や工芸技法に触れられる体験を実施。 ○松江工芸の魅力発信 webサイト（松江のこしらえ）での情報発信 ○専門家招聘イベントの開催 出雲かんべの里において「ひょうげまつ日和Vol13」を開催し、工芸作家2名等によるトークイベントを実施。 ○クラフトフェアの開催 CRANUMA2025をリニューアルオープンしたカラコロ工房で2日間開催。 出展者12組、来場者数5,400名	○展示販売会等イベントの開催 ○松江工芸の魅力発信 ○専門家招聘イベントの開催 ○クラフトフェアの開催	○展示販売会等イベントの開催 ○松江工芸の魅力発信 ○専門家招聘イベントの開催 ○クラフトフェアの開催
	達成度		
	1	計画目標に向けて順調に推移	

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費		512
	国・県支出金		0
	地方債		
	その他		
	一般財源	0	512
歳入合計		0	512

課題	・個々で活動していることから松江工芸としての情報発信が必要 ・販売する機会が少なく経済的に厳しいため、知ってもらい、買ってもらおう場の増加が必要	方向性	・工芸の魅力を情報発信し、認知度向上につなげる ・販路開拓の機会を増やすため、展示商談会への出展や商品開発を支援する

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	あの面白い企業、松江発って知ってる？
	主要施策	松江工芸の魅力発信と担い手育成事業

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容

本事業に関する主要データ

松江工芸の魅力発信と担い手育成事業の様子

クラフトフェア（CRANUMA2024）の様子

R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
使用料及び賃借料	12		
負担金補助及び交付金	500		
事業費計			512

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
産業経済部商工企画課	商業活性化支援事業費補助金

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	人口減少やネット通販の発達など地元事業者にとって厳しい商業環境であるが、意欲ある事業者に対し支援することで、商業機能の維持・拡大を図る。	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
	新規出店件数（中心市街地エリア）	22	15	15	15	
	目標（何を達成するのか）					
	・地域経済の活性化 ・買物不便地域の解消					

地域において工夫した商業の新たな仕組みづくりや地域商業の活性化、商業機能の維持・向上などの積極的な取り組みを支援することによって地域経済の活性化と商業の振興に寄与する。

①松江市中心市街地活性化基本計画（以下、基本計画）で設定された区域内や商工会管内の一部地域の空店舗に出店する際の家賃等への補助（チャレンジショップ事業）
②買物不便地域解消につながる取り組みへの補助（買物支援事業）

（数値目標の目標年度）
項目名 空き店舗等への新規出店件数：2029（R11）年度

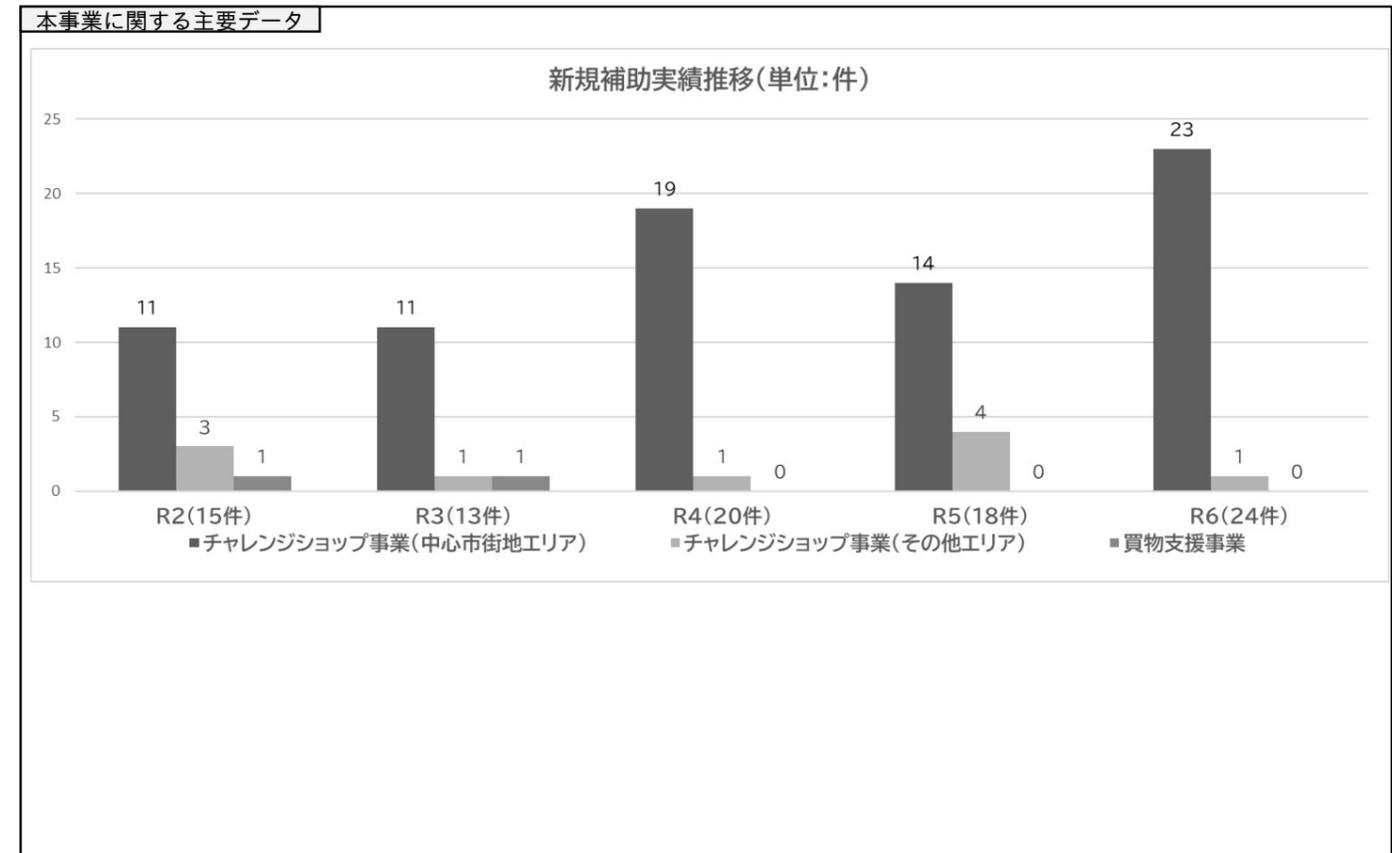
事業計画	R6実績見込	R7計画	R8計画
	チャレンジショップ事業は新規で23事業者、継続で5事業者に対して補助。	・遊休不動産を活用したリノベーションを進める。 ・商工会議所、商工会と連携し経営支援の充実を図る。 ・買物支援事業によって買物不便地域の解消に繋げていく。	・遊休不動産を活用したリノベーションを進める。 ・商工会議所、商工会と連携し経営支援の充実を図る。 ・買物支援事業によって買物不便地域の解消に繋げていく。
	達成度		
1	計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費	25,468	27,000
	国・県支出金	12,734	13,500
	地方債		
	その他		0
	一般財源	12,734	13,500
	歳入合計	25,468	27,000

課題	方向性
支援した事業者が地域に定着し、持続的に地域商業の活性化に寄与できるように、サポートを実施していく必要がある。	新規出店する事業者や空き店舗を抱える商店街等のニーズを把握しながら、より使いやすい支援内容となるよう随時検討していく。 また、支援した事業者の定着率向上に向け、出店当初の計画作成から事業着手後のフォローについても引き続き商工会議所・商工会等と連携しサポートを行っていく。

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	こんなに面白い商店街って松江にしかない
	主要施策	空き家・空き店舗などの有効活用によるまちづくりの推進

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	R7年10月	補助金交付		
	R8年3月	県補助金請求		
	R8年4月	補助金交付		



R7節別当初予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	27,000		
事業費計			27,000

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
まちづくり部住宅政策課	空き家利活用・適正管理促進事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）		数値目標			
	○利活用や適正管理が行われていない空き家の減少を図ることで、地域の活性化及び安心して暮らし続けられる住環境を確保する。 ○老朽空家等の周辺の生活環境を改善し、安全・安心に生活できる環境を確保する。	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
		空き家バンク新規登録件数（件）	13	30	30	30
	目標（何を達成するのか）		空き家バンク等による活用件数（件）	16	36	44
「第2次松江市空家等対策計画」に基づき、空き家バンクや空き家関連補助事業等により、空き家の利活用と適正な管理の促進を図る。		老朽空家等に対する措置（件）	3	4	6	6

事業概要	【主な事業内容】
	○空き家に関する相談事業（空き家に関する様々な相談にワンストップで対応できる相談窓口を設置する。） ○空き家バンク事業（空き家の所有者と購入希望者のマッチングを行う。） ○中古木造住宅改修及び除却支援事業（中古木造住宅の取得者が行う改修や除却に対しその費用の一部を補助する。） ○老朽空家等改善指導及び除却支援事業（老朽空家等の所有者に対し、必要な措置を講ずるよう指導等を行う。また、所有者が除却をする際の除却費の一部を補助する。） ○小規模住宅団地整備支援事業（小規模団地の開発者に対して開発道路整備費や既存空き家除却費の一部を補助する。） ○松江市空家等対策協議会（本市に必要な施策等について協議する。）

事業計画	R6実績見込	R7計画	R8計画
	○空き家に関する相談支援事業 問題解決件数 9件 ○空き家バンク事業 登録 13件、成約 4件 ○中古木造住宅改修・除却支援 改修 12件、建替除却 11件 ○老朽空家等の除却支援 3件 ○小規模住宅団地整備支援 0件 ○老朽空き家除却跡地活用によるポケットパーク等設置補助 0件	○空き家に関する相談支援事業 問題解決件数 15件 ○空き家バンク事業 登録 20件、成約 20件 ○中古木造住宅改修・除却支援 改修 16件、建替除却 20件 ○老朽空家等の除却支援 4件 ○小規模住宅団地整備支援 3件 ○老朽空き家除却跡地活用によるポケットパーク等設置補助 1件 ○空き家バンク登録支援 10件	○空き家に関する相談支援事業 問題解決件数 15件 ○空き家バンク事業 登録 20件、成約 20件 ○中古木造住宅改修・除却支援 改修 18件、建替除却 10件 ○老朽空家等の除却支援 6件 ○小規模住宅団地整備支援 1件 ○老朽空き家除却跡地活用によるポケットパーク等設置補助 1件 ○空き家バンク登録支援 10件
	達成度		
1	計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7
		決算見込	当初予算
事業費		23,651	28,907
財源内訳	国・県支出金	7,625	11,398
	地方債	0	0
	その他	600	600
	一般財源	15,426	16,909
歳入合計		23,651	28,907

課題	(1) 「空き家バンク」登録物件の成約率は80%以上と高いが、登録件数が少ないため、登録物件を増やし、空き家や中古住宅の流通を促進する必要がある。	方向性	(1) 空き家の利活用に関し、専門家にすばやく相談できる環境など空き家対策を包括的に実施する体制を整える取組を行うことや、空き家バンク登録を支援する補助制度の創設などにより、空き家の利活用の促進を図っていく。
	(2) 「空き家バンク」や各補助事業の周知をより積極的に進めていく必要がある。		(2) 「市報松江」や本市ホームページに加えて、ラジオ、ケーブルテレビ、デジタルサイネージなどを活用し、空家対策にかかる各種補助制度などの情報を広く発信するとともに、不動産所有者に固定資産税にかかる通知を送付する際に、空家の利活用に関する情報を添付し、意識の啓発を図る。

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	松江には歩きたくなるまちなみがある
	主要施策	空き家・空き店舗などの有効活用によるまちづくりの推進

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	通年	空き家バンク事業および各種補助事業		
	通年	老朽空家等の所有者への除却等の管理に関する助言・指導		
	通年	空家等管理活用支援法人との連携		
	5月	空き家対策包括業務委託の実施		

本事業に関する主要データ												
空き家バンク事業の実績												
(単位：件)												
	H25~H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度(見込み)			合計
登録件数(売買)	48	4	8	9	7	5	6	6	13			106
成約件数(売買)	39	7	7	7	6	4	5	5	4			84

中古木造住宅取得等支援事業補助金交付実績												
(単位：件)												
	H21~H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度(見込み)			合計
改修	150	18	7	11	11	10	15	15	12			249
建替え除却	58	7	11	11	10	9	6	6	11			129
計	208	25	18	22	21	19	21	21	23			378

R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報酬	2,339	負担金補助及び交付金	15,407
職員手当等	863		
共済費	541		
旅費	51		
需用費	64		
役務費	112		
委託料	9,530		
事業費計		28,907	

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
まちづくり部都市政策課	まちのRe-project事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	中心市街地エリアビジョンに掲げる「遊休不動産を活用した多様なコンテンツの集積と世代間交流の促進」に向けて、遊休不動産の活用を進めることで、まちなかの再生と市域全体の活性化を目指す。	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
	目標（何を達成するのか） 遊休不動産の活用によりエリアの価値向上を図る「エリアリノベーション」の推進により、遊休不動産を活用した実践事例をつくり、地域の人材育成と遊休資産活用、雇用の創出、居住の促進を図る。	都市再生推進法人の認定数【累計値】	0	2	2	3
	空き店舗等への新規出店数【単年度値】	22	10	10	10	

事業概要
 リノベーションまちづくりを推進するため、遊休不動産の所有者に対して当事業の情報提供・空き家空き店舗利活用意向調査を行うことで、新たな遊休不動産の掘り起こしを行い利活用につなげる。また、リノベーションまちづくりガイドラインを活用した普及啓発に取り組みるとともに、SNSや動画を活用した情報発信を強化する。さらに、R5年度より都市再生推進法人の指定を開始し、官民連携でのまちなか再生を推進する。

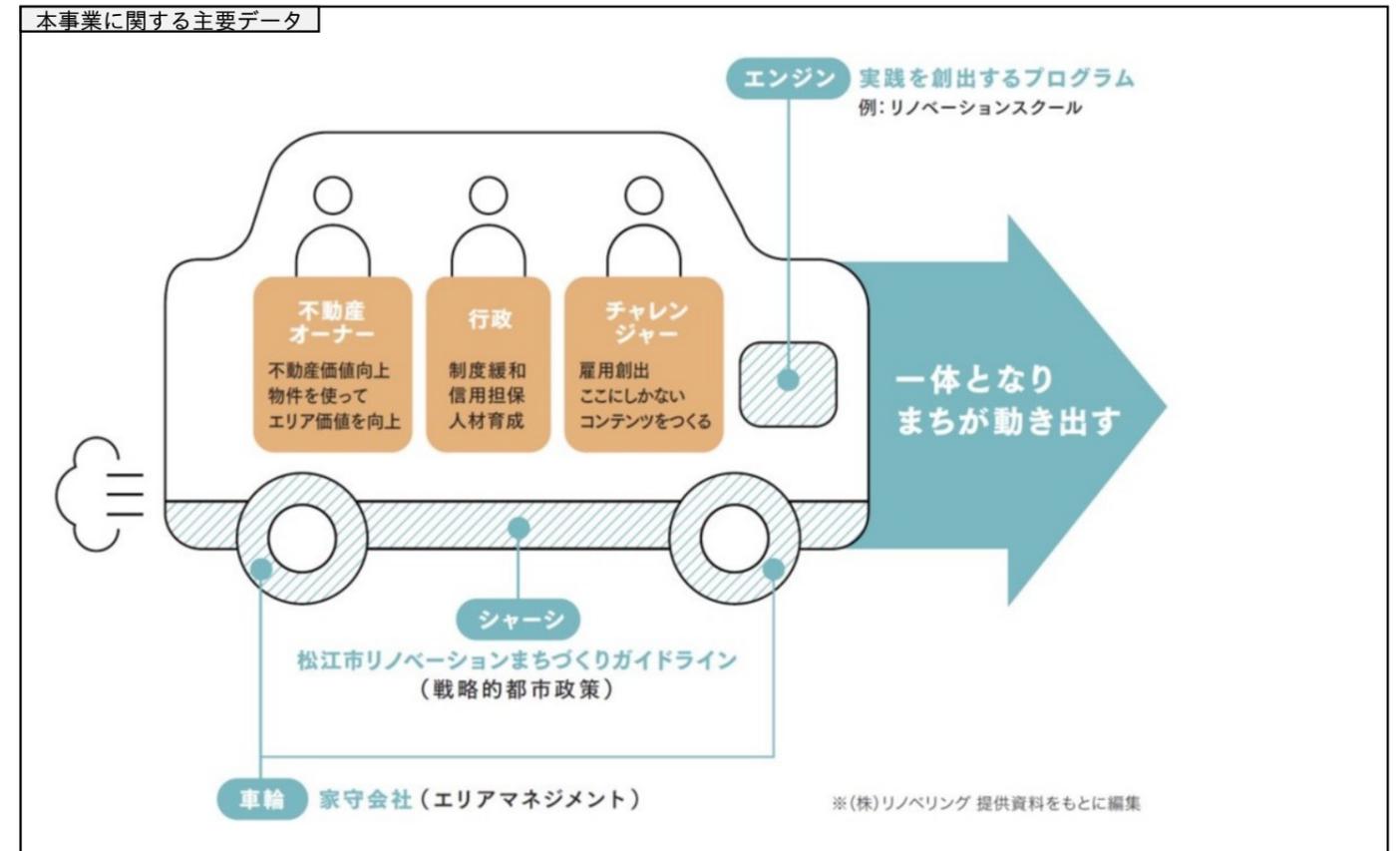
事業計画	R6実績見込	R7計画	R8計画
	<ul style="list-style-type: none"> 遊休不動産の掘り起こしと不動産オーナーへの協力依頼（実績3/57件） SNSを活用した情報発信 リノベーションまちづくりガイドライン等を活用した普及啓発（8件258部配布） 都市再生推進法人の指定および業務連携 	<ul style="list-style-type: none"> 遊休不動産の掘り起こしと不動産オーナーへの協力依頼 SNSを活用した情報発信 リノベーションまちづくりガイドライン等を活用した普及啓発 都市再生推進法人の指定および業務連携 	<ul style="list-style-type: none"> 遊休不動産の掘り起こしと不動産オーナーへの協力依頼 SNSを活用した情報発信 リノベーションまちづくりガイドライン等を活用した普及啓発 都市再生推進法人の指定および業務連携
	達成度		
1	計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7
		決算見込	当初予算
事業費		5	72
財源内訳	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	5	72
歳入合計		5	72

課題	方向性
<ul style="list-style-type: none"> 中心市街地等のまちなかの不動産が空き家・空き店舗として遊休化、駐車場として低未利用化するスポンジ化が進行 建築物の除却・新築を中心とする市街地再開発はリスクを伴うため、既存のストックを活用した再生手法への転換が必要 	<ul style="list-style-type: none"> 中心市街地を主要なエリアとして遊休不動産活用による起業や居住の促進を図る 遊休不動産を活用しエリアに必要なコンテンツの創出を図る 小規模な民間投資を連鎖的に呼び込むことにより雇用の創出を図るとともに、エリアの不動産価値の上昇による魅力向上を目指す

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	こんなに面白い商店街って松江にしかない
	主要施策	空き家・空き店舗などの有効活用によるまちづくりの推進

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4～6月	都市再生推進法人ヒアリング(R6報告・R7計画)		
	4月～翌3月	遊休不動産調査・オーナーへの協力依頼・SNS発信		



R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
役務費	72		
事業費計			72

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
産業経済部商工企画課	職人商店街創出事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	中心市街地商店街の活性化	項目（成果指標） 数値目標になじまない	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
	目標（何を達成するのか）					
	中心市街地に多彩な伝統工芸などが集まる「職人商店街」の創出					

事業概要	中心市街地に多彩な伝統工芸等が集まる「職人商店街」の創出を目指し、熟練の技を「観て・体験できる」店舗づくりや、現代工芸等の新規出店・店舗リノベーションを支援する。また、中心市街地の回遊性向上に向けた取組みを支援する。
------	--

事業計画	R6実績見込	R7計画	R8計画
	○店舗のリノベーション支援 ・新規店舗の整備（伝統工芸、現代工芸） ○工芸作家のまちなか出店 ・新規出店の支援 ・トライアルスペースでのお試し出店支援 ○賑わいづくり支援 ・回遊性向上に繋がるソフト事業支援 ○2次交通支援 ・トゥクトゥク整備支援	職人商店街の賛同店舗を増やし、中心市街地の回遊性向上に向けた取組みを実施する。 ※詳細の取組みについては、6月補正予算要求予定	令和7年度の取組み内容を踏まえて実施内容を検討する。
	達成度		
1	計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費	4,670	0
	国・県支出金		0
	地方債		
	その他		0
	一般財源	4,670	0
歳入合計		4,670	0

課題	・伝統工芸などの手仕事を生業とする工芸作家のまちなかへの出店 ・観える化、体験の提供を行う店舗の創出 ・点在する店舗を結びつけ回遊性を高める仕組みづくり	方向性	民間のまちづくり会社と連携し、空き家・空き店舗の活用も進め、中心市街地商店街の賑わい創出を図る。
----	--	-----	--

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	こんなに面白い商店街って松江にしかない
	主要施策	空き家・空き店舗などの有効活用によるまちづくりの推進

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容

本事業に関する主要データ

観て・体験できる店舗づくり

○店舗のリノベーション支援 拡充
（既存店舗・新規出店）
 【例】蕎麦打ちを体験できる蕎麦屋の改修（観える化・体験化）
 現代工芸の「観て・体験できる」店舗の新規出店

○お試し出店支援 拡充
 【例】民間事業者が設置するトライアルスペースへのお試し出店

回遊性の向上

新 ○賑わいづくり支援
 【例】商店街が連携して実施する、統一感のある看板・照明などの設置

新 ○二次交通支援
 【例】電動トゥクトゥクのレンタル

R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
事業費計			0

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
産業経済部農政課	多面的機能支払事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	地域が共同で行う多面的機能を支える農地維持活動や地域資源（農地、水路、農道等）の質的向上を図る資源向上活動を支援することで、集落環境の保全・維持、集落の活性化を図る。	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
		対象農用地面積 (ha)	2,428	2,456	2,405	2,399
目標（何を達成するのか）	農地や水路・農道等の草刈りや泥上げ、農村環境の保全、水路・農道等の補修や再整備を地域共同で行う活動にかかる経費を支援することで、農地の維持、荒廃農地の発生抑制を図る。					

事業概要	<p>農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るため、農地や水路・農道等の草刈りや泥上げ、農村環境の保全、水路・農道等の補修や再整備を地域共同で行う活動にかかる経費について、面積に応じて一定額を交付する。</p> <p>（数値目標の目標年度） 第2次松江市農山漁村地域活性化計画（令和6年3月作成）に基づき目標を修正 項目名 対象農用地面積 (ha) : 2029 (R11) 年度 2399ha</p>
------	--

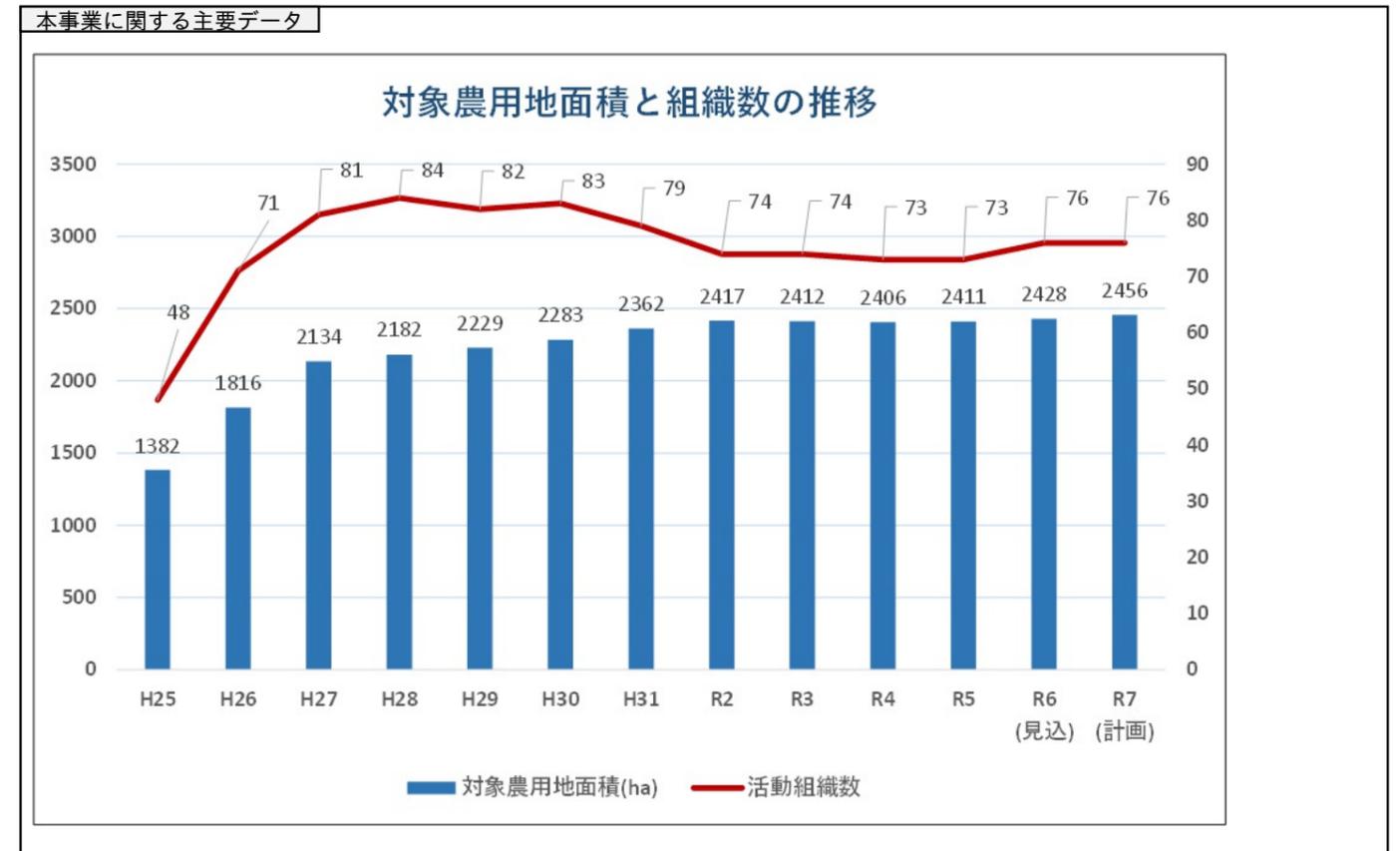
事業計画	R6実績見込	R7計画	R8計画
	<p>【活動組織数】 農地維持支払76件 資源向上支払(共同)62件 資源向上支払(長寿命)37件 【対象農用地面積】 農地維持支払 2,428ha 資源向上支払(共同)2,188ha 資源向上支払(長寿命)1,592ha</p>	<p>【活動組織数】 農地維持支払76件 【対象農用地面積】 農地維持支払 2,456ha</p>	<p>【活動組織数】 農地維持支払76件 【対象農用地面積】 農地維持支払 2,405ha</p>
	達成度		
1	計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費	157,954	157,150
	国・県支出金	118,810	118,328
	地方債		
	その他		0
	一般財源	39,144	38,822
歳入合計		157,954	157,150

課題	活動組織構成員の高齢化や後継者不足が課題である。	方向性	農地の維持保全、集落機能の活性化などを行うために、引き続き事業の推進を図るとともに活動組織の広域化を進め、活動の効率化や組織力の強化を図る。
----	--------------------------	-----	--

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	松江産の食材がスーパーに増えた
	主要施策	地域と食を支える農林水産業の担い手づくり

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	6月	組織からの活動計画申請、認定	3月～4月	各組織からの実績報告
	8月	交付金支払（1回目）		
	6月～2月	現地確認		
2月	交付金支払（2回目）			



R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報酬	530	負担金補助及び交付金	155,286
職員手当等	354		
共済費	215		
旅費	25		
需用費	128		
役務費	57		
委託料	555		
事業費計		157,150	

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
産業経済部農政課	中山間地域等直接支払事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	農業の生産条件が不利な地域における農業生産活動を継続し、農業・農村環境の維持保全を行う活動の推進を図る。	項目（成果指標） 対象農用地面積 (ha)	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
	目標（何を達成するのか）					
	農村地域の高齢化や農業者数の減少が進む状況であるが、農地、水路、作業道などの維持保全、生態系や景観など農村環境保全のための活動を支援し、対象農用地面積の維持を図る。					

事業概要	<p>中山間地域等において、集落等を単位に、農用地を維持・管理していくための協定を締結し、それにしたがって農業生産活動等を行う場合に、面積に応じて一定額を交付する。</p> <p>事業期間：令和2年度～令和6年度（第5期対策） 令和7年度～令和11年度（第6期対策）</p> <p>（数値目標の目標年度） 第2次松江市農山漁村地域活性化計画（令和6年3月作成）に基づき目標を修正</p> <p>項目名 対象農用地面積 (ha)：2029 (R11) 年度 242ha</p>
------	---

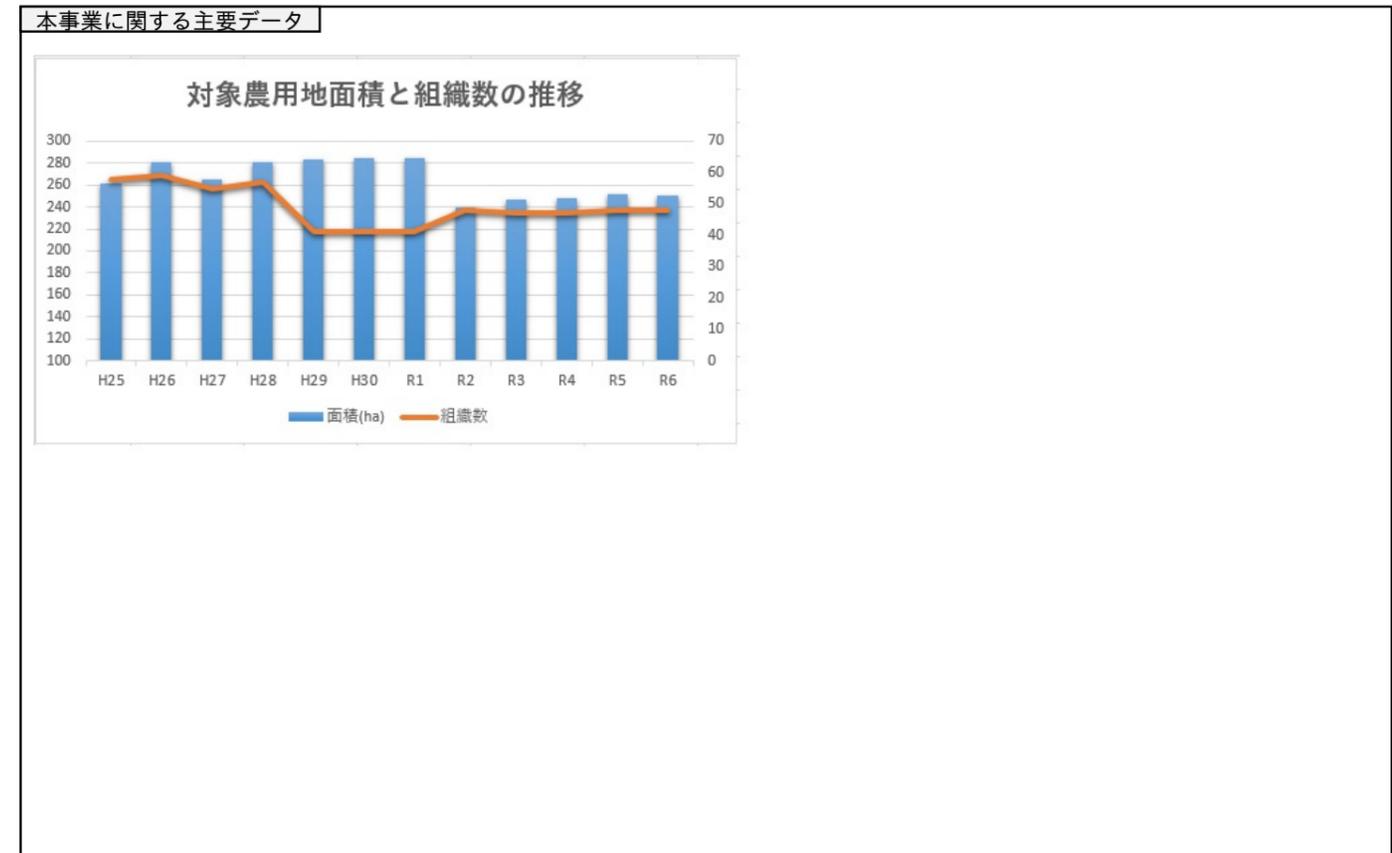
事業計画	R6実績見込	R7計画	R8計画
	<p>・事業の継続、多面的機能支払交付金と組合わせた事業推進を行った。</p> <p>活動組織数 48件 対象農用地面積 251ha</p>	<p>・事業の継続、農地維持の補助事業等により事業推進を行う。</p> <p>活動組織数 48件 対象農用地面積 242ha</p>	<p>・事務の軽減と農地維持の補助事業等により事業推進を行う。</p> <p>活動組織数 48件 対象農用地面積 242ha</p>
	<p>達成度</p> <p>1 計画目標に向けて順調に推移</p>		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費		44,517
	国・県支出金		30,892
	地方債		
	その他		0
	一般財源	0	13,625
歳入合計		0	44,517

課題	中山間地域における農業者の高齢化や後継者不足が課題である。	方向性	本事業の実施により、農業生産活動を継続するための課題について話し合いを行う場を設けることで、課題の解決に取り組み、農用地の維持・管理や農業生産活動の継続を図る。また集落での事務負担軽減や農地維持のための補助事業などを紹介しながら、本事業推進を行う。
----	-------------------------------	-----	--

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	松江産の食材がスーパーに増えた
	主要施策	地域と食を支える農林水産業の担い手づくり

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4～5月	現地傾斜測定	12月	交付金支払（2回目）
	6月	事業計画申請	3月～4月	各組織から実績報告
	7月	交付金支払（1回目）		
	10月	現地確認		



R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
需用費	26		
役務費	48		
委託料	263		
負担金補助及び交付金	44,180		
事業費計		44,517	

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
産業経済部農政課	新規就農者等サポート体制構築事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	農村の人口減少や高齢化により農業者の人材が不足しているため、農業の担い手の確保、育成を図る。	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
		自営就農者（人）	6	4	4	4
	目標（何を達成するのか）	雇用就農者（人）	5	10	10	10
就農希望者や就農者に対する伴走支援体制を整備し、新たな担い手の確保とともに、認定農業者へのステップアップを図る。						

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 農政コーディネーターを配置し、就農希望者や新規就農者への支援体制を確保する。 従来からの農林高校・農業大学校への募集に加え、県外の新規就農フェアなどに参加し、募集機会の増加を図る。 県東部農林水産振興センター、JA、農業振興公社などの関係機関と定期的に情報交換を実施し、就農希望者や就農者への支援体制の強化を図る。 認定農業者協議会の活動への支援を実施する。 <p>自営就農者・・・新たな認定新規就農者と半農半X実践者の合計 雇用就農者・・・県が集計した新たに雇用された就農者の合計</p>
------	--

事業計画	R6実績見込	R7計画	R8計画
	<ul style="list-style-type: none"> 新規就農者実績11人（自営就農者6人 雇用就農者5人） 農政コーディネーターによる研修支援・農地の斡旋 県内外の就農フェアへの参加 就農希望者確保のための就農パンフレット・PR動画作成 認定農業者協議会への支援 	<ul style="list-style-type: none"> 新規就農者計画14人（自営就農者4人 雇用就農者10人） 農政コーディネーターによる研修支援・農地の斡旋 県内外の就農フェアへの参加 就農希望者確保のための就農パンフレット・PR動画の活用 PR動画の作成 認定農業者協議会への支援 	<ul style="list-style-type: none"> 新規就農者計画14人（自営就農者4人 雇用就農者10人） 農政コーディネーターによる研修支援・農地の斡旋 県内外の就農フェアへの参加 就農希望者確保のための就農パンフレット・PR動画の活用 PR動画の作成 認定農業者協議会への支援
達成度			
2		計画目標に向かって概ね順調	

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費	4,044	4,444
	国・県支出金	1,000	1,000
	地方債	0	0
	その他	0	0
	一般財源	3,044	3,444
歳入合計		4,044	4,444

課題	方向性
<ul style="list-style-type: none"> 就農希望者の確保 農業研修生が就農するためのスムーズなステップアップ 	<ul style="list-style-type: none"> 西条柿・牡丹に関する就農パッケージの作成（就農する際の心構え・研修・初期投資・経営モデル等を取りまとめた資料） 松江の農業の発信。主に令和6年度作成した就農パンフレットとPR動画を就農フェア参加時やSNSにて発信をおこなう。 県内外の就農フェアへの参加。 農政コーディネーターによる研修先・農地などの紹介。

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	松江産の食材がスーパーに増えた
	主要施策	地域と食を支える農林水産業の担い手づくり

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	随時	就農希望者・農業研修生の相談対応	12月(予定)	しまね就農フェア
	随時	就農パッケージ内容検討・完成		
	随時	就農パンフレット・就農PR動画での情報発信		
	10月(予定)	新・就農人フェア(県外)		

本事業に関する主要データ

新規就農者数の計画・実績 (単位：人)

年度	R3年度		R4年度		R5年度		R6年度	
	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画
雇用就農者	7	10	5	10	5	10	5	10
自営就農者	4	4	4	4	5	4	6	4
認定新規就農者	4		3		5		4	
半農半X実践者	0		1		0		2	

※令和6年度雇用就農者の見込みは目標値

新規就農者数の推移

R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報酬	2,410		
職員手当等	924		
共済費	546		
旅費	85		
負担金補助及び交付金	479		
事業費計		4,444	

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
産業経済部水産振興課	担い手対策事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	本市の水産産業を推進し、漁家所得の向上や安定化、漁村地域の活性化により、将来にわたって漁業の持続的な発展を図るもの。	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
		漁獲量（t）（海面・宍道湖・中海）	9,000	9,000	9,000	9,000
	目標（何を達成するのか）	漁業就業者数（人）	760	800	800	800
・漁業就業者数の増加 ・漁村地域の活性化	新規漁業者数（人）	19	19	19	19	

事業概要

①新規漁業者の漁船、漁業用機械・機器等の購入に必要な経費への補助（松江市水産産業振興事業補助金交付要綱 補助率：事業費の1/2以内、限度額：3年間で300万円）
 ②自営漁業者自立給付金（認定新規漁業者へ生活費の一部として給付金を交付する。給付金は、市から県と市の給付金合計額を交付するもの）補助率：県1/2 市1/2 給付額：50歳未満1,200千円×5年間 50歳以上65歳未満600千円×2年間（松江市自営漁業者自立給付金交付要綱）
 ③沿岸漁業スタートアップ事業補助金（松江市沿岸漁業スタートアップ事業補助金交付要綱 認定新規漁業者が漁船等を整備する際にその経費の一部を助成するもの。補助金は市から県と市の合計額を交付する。補助率：県1/3（上限1,000千円）市1/3（上限1,000千円）

事業計画	R6実績見込	R7計画	R8計画
	自営漁業者自立給付金（4件） 沿岸漁業スタートアップ事業補助金（1件）	自営漁業者自立給付金（3件） 沿岸漁業スタートアップ事業補助金（1件）	自営漁業者自立給付金（4件） 沿岸漁業スタートアップ事業補助金（1件）
	達成度		
1	計画目標に向けて順調に推移		

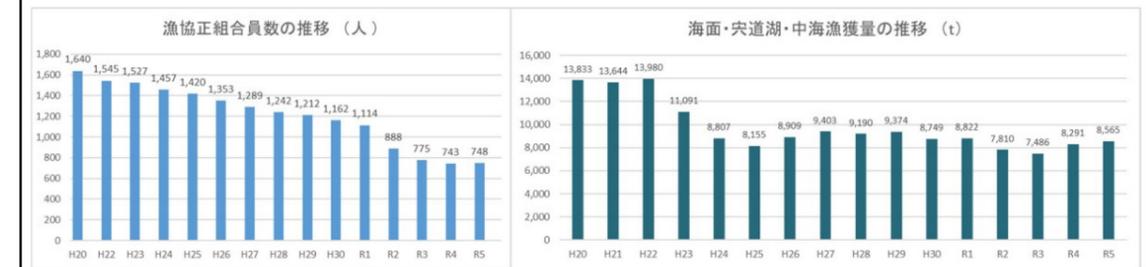
歳入・歳出の推移(単位：千円)	R6	R7
	決算見込	当初予算
事業費	6,600	5,600
国・県支出金	3,300	2,800
地方債	0	0
その他	1,100	2,800
一般財源	2,200	0
歳入合計	6,600	5,600

課題	方向性
・漁業者の高齢化、資源量の減少などにより、漁獲量は年々減少し、漁家所得の不安定さは増々深刻な問題となっている。漁業就業者を増やすため、安定的な経営に向け、対策を講じる必要がある。	・若手漁業者の参入に対し、安心して着業できるよう、初期の設備投資などに対する支援を充実させていく。 ・漁業の複合経営により安定的な経営及び所得の向上が期待できるため、新たに養殖漁業等の複合経営に取り組むための経費について支援を行う。

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	松江産の食材がスーパーに増えた
	主要施策	地域と食を支える農林水産業の担い手づくり

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月～3月	自営漁業者自立給付金		
	4月～3月	沿岸漁業スタートアップ事業補助金		

本事業に関する主要データ



R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	5,600		
事業費計			5,600

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
産業経済部農政課	地域ブランド産地育成事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	松江産農産物のブランド化や高付加価値化を支援し、安定的な農業経営を実現する。	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
		そば収穫量（t）	27.3	50	50	40
	目標（何を達成するのか）	大豆作付面積（ha）	41	41	41	41
西条柿販売額（百万円）		50	55	55	55	

○目標達成のため各種事業を行う。
 【そば】：刈り取り作業に係る経費の一部を補助する。
 【大豆】：味噌の加工に使用される出荷量に応じ補助する。
 【西条柿】：国内外の販路拡大等の取組を補助する。
 （数値目標の目標年度）
 項目名「そば」の収穫量（t）、「大豆」の作付面積（ha）、「西条柿」の販売額（百万円）：2029（R11）年度

事業計画	R6実績見込	R7計画	R8計画
	【そば】播種期の長雨とその後高温が続いたため、作付面積、収穫量ともに前年度比で減少する見込み。 【大豆】作付面積及び収穫量も例年並みの見込み。 【西条柿】首都圏での販促活動を実施し、知名度向上と販路拡大を図った。生果、干し柿とも高温障害とカメムシ被害により収量、販売額とも減少する見込み。	【そば】収穫量の安定を目指す。 【大豆】大規模作付けの支援をおこなう。 【西条柿】国内外での販路拡大を図る。	【そば】収穫量の安定を目指す。 【大豆】大規模作付けの支援をおこなう。 【西条柿】国内外での販路拡大を図る。
	達成度		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費	5,097	6,310
	国・県支出金		
	地方債		
	その他	5,097	6,310
	一般財源	0	0
歳入合計		5,097	6,310

課題	方向性
【そば】天候により受ける影響が大きく、収量と品質が不安定。作付面積の減少。 【大豆】大規模作付けを行う生産者が少ない。 【西条柿】国内外の消費者への販路の拡大。	【そば】収量の安定化を目指し、作付け面積の増加と刈取作業の効率化を支援する。 【大豆】大規模作付けを支援する。 【西条柿】国内外への販路拡大等を支援する。

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	松江産の食材がスーパーに増えた
	主要施策	売れる農林水産物の生産振興と消費・販路拡大

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	通年	各品目の事業を適期に遂行する。		

本事業に関する主要データ

【そば・大豆・西条柿の生産状況推移】

そば	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6見込み	R7計画
作付面積(ha)	157	155	150	136	123	118	117	120
収穫量(t)	35.8	37.6	70.6	22.0	32.5	48.9	27.3	50

大豆	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6見込み	R7計画
作付面積(ha)	35	38	35	45	42	41	41	41
収穫量(t)	50	60	52	37	55	45	45	55

西条柿	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6見込み	R7計画
生産戸数(戸)	149	144	144	144	135	122	122	122
作付面積(ha)	40	40	40	40	40	40	40	40
販売額(百万円)	72	62	74	65	60	53	50	55

R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	6,310		
事業費計			6,310

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
産業経済部農政課	松江大根島牡丹振興対策事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	松江大根島牡丹の産地維持・振興を図る。	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
		産出額（百万円）	146	150	150	150
		生産戸数（戸）	49	53	53	53
		出荷量（万本）	39	40	40	40
目標（何を達成するのか）						
・販路拡大と生産性向上による農家所得の向上。 ・新規生産者の確保と早期経営安定。						

事業概要	<p>松江大根島牡丹の生産振興を図るため、以下の事業を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国内外の販路拡大に向けた取組を支援。 ・土壌病害虫対策として、消毒剤の購入に対する支援。 ・PR活動・販売促進活動に対する支援。 ・農地の集積・集約化に対する支援。 <p>（数値目標の目標年度） 項目名 産出額（百万円）、生産戸数（戸）：2026（R8）年度</p>
------	--

事業計画	R6実績見込	R7計画	R8計画
	販路拡大、担い手確保の取組を継続して支援し、産地維持を図る。 ①国内外の販路拡大を支援。 ②土壌病害虫対策を支援。 ③菊花展や駅、観光施設等を活用したPR活動、販促活動を実施。 ④農地の集積・集約化を支援。	販路拡大、担い手確保の取組を継続して支援し、産地維持を図る。 ①国内外の販路拡大を支援。 ②土壌病害虫対策を支援。 ③菊花展や駅、観光施設等を活用したPR活動、販促活動を実施。 ④農地の集積・集約化を支援。	販路拡大、担い手確保の取組を継続して支援し、産地維持を図る。 ①国内外の販路拡大を支援。 ②土壌病害虫対策を支援。 ③菊花展や駅、観光施設等を活用したPR活動、販促活動を実施。 ④農地の集積・集約化を支援。
	達成度 3 計画目標に向けて進捗はやや遅れている		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費	4,553	4,338
	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	4,553	4,338
歳入合計		4,553	4,338

課題	・高齢化、後継者不足により生産戸数、出荷量とも減少傾向。 ・収益向上、所得の安定、新規就農者の掘り起こしに向けた取組が必要。	方向性	・国内外の販路拡大の取組を支援する。 ・研修生の受け入れなど、就農しやすい環境づくりを進め、新規就農者の獲得・定着を支援する。 ・組織的な生産・販売体制の構築等、産地維持に向けた取組を支援する。 ・規模拡大志向者を重点的に支援することで、牡丹産地維持を図る。
----	---	-----	--

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	松江産の食材がスーパーに増えた
	主要施策	売れる農林水産物の生産振興と消費・販路拡大

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月～5月	牡丹切花品評会助成	6月～3月	松江市地域産品輸出促進対策事業費
	4月～3月	国内販路拡大事業		
	6月～1月	土壌病害虫対策事業		
	6月～1月	農地の集積・集約化事業		

本事業に関する主要データ

【松江大根島牡丹 生産戸数推移】※松江大根島牡丹協議会会員数

	R3	R4	R5	R6見込	R7計画
生産戸数(戸)	60	57	53	49	53

松江大根島牡丹 出荷量推移

時期	R3	R4	R5	R6見込	R7計画
出荷量(万本)	48	44	36	39	40

R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
旅費	1,087		
需用費	15		
役務費	97		
委託料	299		
負担金補助及び交付金	2,840		
事業費計		4,338	

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
産業経済部農政課	地場農産物生産・消費拡大推進事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	地産地消の推進および契約栽培農家の経営安定を図る。	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
		学校給食全品目地場産比率（%）	44.0	44.0	44.0	44.5
	目標（何を達成するのか）					
	<ul style="list-style-type: none"> 学校給食における地場産比率向上。 契約栽培の拡大。 食育の推進。 					

事業概要	<p>地産地消を推進し生産者の経営安定を図ることを目的に、学校給食に使用する野菜等の契約栽培による納入について価格補填を行う。</p> <p>（数値目標の目標年度） 項目名 学校給食全品目地場産比率（%）：2029（R11）年度</p>
------	---

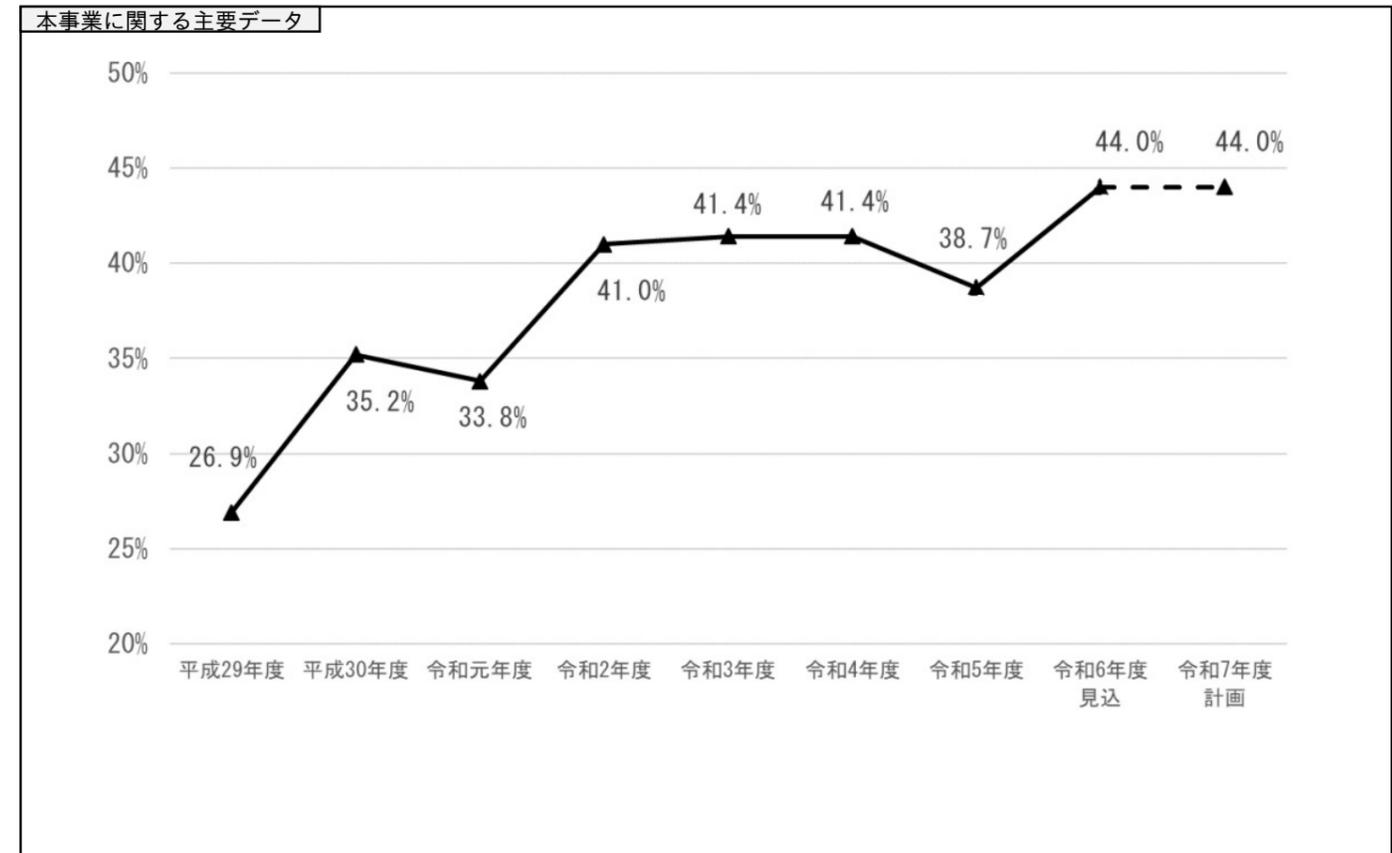
事業計画	R6実績見込	R7計画	R8計画
	<ul style="list-style-type: none"> 契約栽培を拡大し、全品目の地場産比率向上に繋げる。 学校給食会の栄養士とともにサツマイモと、しいたけの栽培状況を視察し、生産者へのインタビューや意見交換を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 契約栽培を拡大し、全品目の地場産比率向上に繋げる。 学校給食会の栄養士とともに野菜栽培状況を視察し、生産者へのインタビューや意見交換を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 契約栽培を拡大し、全品目の地場産比率向上に繋げる。 学校給食会の栄養士とともに野菜栽培状況を視察し、生産者へのインタビューや意見交換を行う。
	達成度 3 計画目標に向けて進捗はやや遅れている		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費	6,484	6,484
	国・県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
	一般財源	6,484	6,484
歳入合計		6,484	6,484

課題	<ul style="list-style-type: none"> 納入規格を満たす契約栽培野菜の収量の確保。 	方向性	<ul style="list-style-type: none"> 栽培指導等による収量拡大を図る。 学校給食全品目の地場産比率向上に向け、契約栽培品目の拡大を図る。
----	---	-----	--

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	松江産の食材がスーパーに増えた
	主要施策	売れる農林水産物の生産振興と消費・販路拡大

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月	学校給食会とJAとの物資納入契約		
	通年	契約栽培の維持拡大に向けた生産者へのアプローチ		
	通年	契約栽培の打ち合わせ会		
	通年	規格目合わせ・意見交換会		



R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	6,484		
事業費計		6,484	

所属	事業名
産業経済部農政課	松江スマート農業推進事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	生産者所得の向上と省力化を図ることにより、高齢化や後継者不在による担い手不足を解消し持続的な農業を推進するため。	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
	担い手におけるスマート農業導入率（%）	19.6	21.6	24.2	31.1	
目標（何を達成するのか）	スマート農業技術の普及とインフラ整備の検討を行いながら、スマート農業の導入を推進し、生産効率の向上により技術継承の簡便化を図る。					

事業概要

生産者の減少・高齢化や農地の集積・集約による大規模化などに対応するため、スマート農業技術の導入により、省力化・低コスト化・高品質生産を可能にするロボット技術やAI、IoTなどの先端技術を活用する生産者を増やすための導入支援、及びインフラ整備のための検討を行う。

また、スマート農業技術を導入する上で、自らの経営にあった効果の高い技術導入ができるよう、スマート機器の実演会を実施する。☑

【補助事業】
 スマート農業導入支援事業（市単、補助率1/2、上限75万円）
 【数値目標の目標年度】令和11年度
 担い手におけるスマート農業導入率（%）
 ※認定農業者及び認定新規就農者の導入率

事業計画	R6実績見込	R7計画	R8計画
	<ul style="list-style-type: none"> 自動操舵システム導入（2件） アシストスーツ導入（1件） 研修会（神戸大学大学院教授による基調講演）の開催 実演会（国内農機メーカー・販売店7社の協力により実演会を開催） ※研修・実演会参加：約80人 	<ul style="list-style-type: none"> 無線基地局設置検討 スマート機器の導入（自動操舵システム、ドローンハウス環境管理システム、ラジコン草刈機ほか） ※対象者範囲の拡充 ※補助上限の引き上げ（50万円から75万円へ） 野菜等研修会・実演会の実施 ※作物指定して実施 	<ul style="list-style-type: none"> 認定農業者等の担い手だけでなく広く普及を図る。 導入支援補助金によりスマート農業の推進を図る。 フォローアップを行い、スマート農業技術の支援を行う。 インフラ整備の検討。
	達成度		
1	計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費	1,576	7,220
	国・県支出金		0
	地方債		
	その他		7,220
	一般財源	1,576	0
歳入合計		1,576	7,220

課題	方向性	<ul style="list-style-type: none"> 農業の現場では、依然として人手に頼る作業や熟練者でなければできない作業が多い一方で、農業労働人口の減少により、省力化、人手の確保、負担軽減が課題。 スマート農機の効率的な運用のため、圃場のインフラ整備が必要。 スマート農機の導入初期コストが高い。 	<ul style="list-style-type: none"> 栽培管理に関する作業全般の効率化。 スマート農機の効率的な運用のための圃場のインフラ整備検討。 補助金での初期投資の軽減によりスマート農機の導入を支援。 スマート農業に対する理解と普及促進

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	松江産の食材がスーパーに増えた
	主要施策	地域と食を支える農林水産業の担い手づくり

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	6月～2月	インフラ整備検討		
	随時	スマート農業導入支援事業費補助金の交付事務		
	11月	スマート機器実演会		

本事業に関する主要データ

「スマート農業」の推進イメージ

※経営規模や圃場条件に応じた技術導入を推進。 画像出典：農林水産省Webサイト

大規模経営(法人)

品目：水稲（＋高収益作物）
 地域：平地・中間農業地域
 基盤：大区画圃場

GPSレベラー
 自動運転トラクター

中小規模経営

品目：水稲＋露地野菜
 地域：中間地域
 基盤：小区画・不整形圃場

自動操舵システム
 ドローン(センシング)
 ドローン(農薬散布・施肥)
 スマート追肥システム
 収量コンバイン
 水管理システム
 自走草刈機

品目：施設園芸(ハウス)
 野菜・花卉・果物
 地域：畑地、干拓地など
 基盤：小区画・不整形圃場

環境制御システム

(日射量、CO2、気温、湿度など複数の環境データを基に複数の設備や装置を遠隔でコントロール)

高 ← 導入コスト → 低

R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
需用費	9		
役務費	40		
使用料及び賃借料	99		
負担金補助及び交付金	7,072		
事業費計		7,220	

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
産業経済部農林基盤整備課	国・県土地改良事業負担金

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	農業生産性向上により農業所得の増大を実現し、農業農村の活性化を図るため国・県営土地改良事業を着実に遂行する。	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
	国・県営土地改良事業で農業生産基盤を整備することにより農業生産性の向上を実現し、農業所得の増大を目指す。そのための事業費に対し、応分の負担をする。	国・県営土地改良事業案件数（件）	11	11	10	10

事業概要
 事業化となった国・県営土地改良事業について、国の示す負担割合のガイドラインに基づき応分の事業負担金を支出するもの。
 （県営基幹水利施設管理事業、県営ため池等整備事業、県営水利施設等保全高度化事業、県営農業水路等長寿命化・防災減災事業、県営農業競争力強化農地整備事業、県営農地中間管理機構関連農地整備事業等）

事業計画	R6実績見込	R7計画	R8計画
	経営体育成基盤整備事業（農業競争力強化農地整備、農地中間管理機構関連農地整備） ・新庄地区・西谷上地区・古曾志地区・大野地区・西長江地区 県営ため池整備事業 ・井頭2号池・寺領池・小谷奥池・山崎池 農業水路等設長寿命化・防災減災事業（長寿命化） ・東潟ノ内地区 国営造成施設管理事業（基幹水利施設管理事業） ・揖屋地区 以上の各県営事業について、応分の経費を負担予定 国営施設応急対策事業（揖屋地区）の事業負担金繰上償還を予定	経営体育成基盤整備事業（農地中間管理機構関連農地整備事業） ・新庄地区・古曾志地区・大野地区・西長江地区 県営ため池整備事業 ・井頭2号池・寺領池・小谷奥池・山崎池 農業水路等設長寿命化・防災減災事業（長寿命化） ・東潟ノ内地区・古江地区 国営造成施設管理事業（基幹水利施設管理事業） ・揖屋地区 以上の各県営事業について、応分の経費を負担予定	経営体育成基盤整備事業（農地中間管理機構関連農地整備事業） ・新庄地区・古曾志地区・大野地区・西長江地区 県営ため池整備事業 ・小谷奥池・山崎池・高原下池 農業水路等設長寿命化・防災減災事業（長寿命化） ・東潟ノ内地区・古江地区 国営造成施設管理事業（基幹水利施設管理事業） ・揖屋地区 以上の各県営事業について、応分の経費を負担予定

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費	218,485	82,598
	国・県支出金	2,484	2,199
	地方債	187,000	62,300
	その他	14,153	14,400
	一般財源	14,848	3,699
歳入合計		218,485	82,598

課題	方向性
【ほ場整備】 県全体で20地区以上の整備要望があり、今後の新規採択要件に適合するためには、県が推奨する高収益性作物6品目の栽培を強化する必要がある。 【ため池整備】 整備要件見直しで追加となった防災重点ため池の豪雨・耐震の調査をした結果、改修が必要なため池が増加したため、優先順位を付けて計画的に改修する必要がある。 【農業用水利施設】 老朽化した揚排水機場などの農業用水利施設の長寿命化を図るため、機能保全計画を策定し計画的に改修する必要がある。	農業生産基盤の整備により、農業生産性の向上および農業所得の増大を実現するため、県営事業を積極的に活用しながら整備や老朽化した施設の更新を進めていく。

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	松江産の食材がスーパーに増えた
	主要施策	次世代へつなぐ収益性の高い生産基盤づくり

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月	国営事業負担金の納付		
	6月～7月	島根県と費用負担協議・同意		
	10月	県営事業の前期負担金の納付		
	3月	県工事完了、後期負担金の納付		

本事業に関する主要データ									
主な地方債：公共事業等									
事業種別	工程	地区名	事業期間	R4	R5	R6	R7	R8	備考
農業競争力強化促進事業 (農地中間管理機構関連農地整備事業)	ほ場整備	新庄	R3～R4	調査・設計・工事					
		大野	R7～R11	調査・設計・工事					
		大野	R2～R6	調査・設計・工事					
		西長江	R4～R13				調査・設計・工事		
		東潟ノ内	R1～R7	調査・設計・工事					
農業水路等設長寿命化・防災減災事業	ため池整備	寺領	R2～R7	調査・設計・工事					
		小谷奥	R5～R6			調査・設計・工事			
		山崎	R6～R9				調査・設計・工事		
農業競争力強化促進事業	農地中間管理機構	東潟ノ内	R6～R6			調査・設計・工事			
農業水路等設長寿命化事業	基幹水利施設管理	古江	R9～R12			調査・設計・工事			
農業競争力強化促進事業	農地中間管理機構	東潟ノ内	R10～			調査・設計・工事			

R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	82,598		
事業費計			82,598

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
産業経済部農林基盤整備課	ふるさと農道緊急整備事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	農業生産物及び農業用資材の輸送・運搬時間短縮による農業経営の合理化と生活道路ならびに緊急避難道路として整備することによる生活環境の改善を図るため。	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
	目標（何を達成するのか） 農業生産性の向上と市民生活の安心・安全の確保	上根尾上農道整備済延長（m）	460	600	750	900
		上根尾上農道整備率（%）	51.1	66.7	83.3	100
上根尾上農道単年度整備延長（m）		150	140	150	150	

事業概要
 集落間の狭小な農道を整備し、農作物輸送と農業用資材運搬の時間短縮による農業経営基盤の合理化を図るとともに、生活道路・緊急時の避難道路として整備し、生活環境の改善と市民生活の安心・安全の確保に資するもの。
 上根尾上農道 全整備延長L=900m

事業計画	R6実績見込	R7計画	R8計画
	上根尾上農道 ・改良工事 L=150m ・電柱支障移転 1式	上根尾上農道 ・改良工事 L=140m	上根尾上農道 ・改良工事 L=150m
	達成度		
1	計画目標に向けて順調に推移		

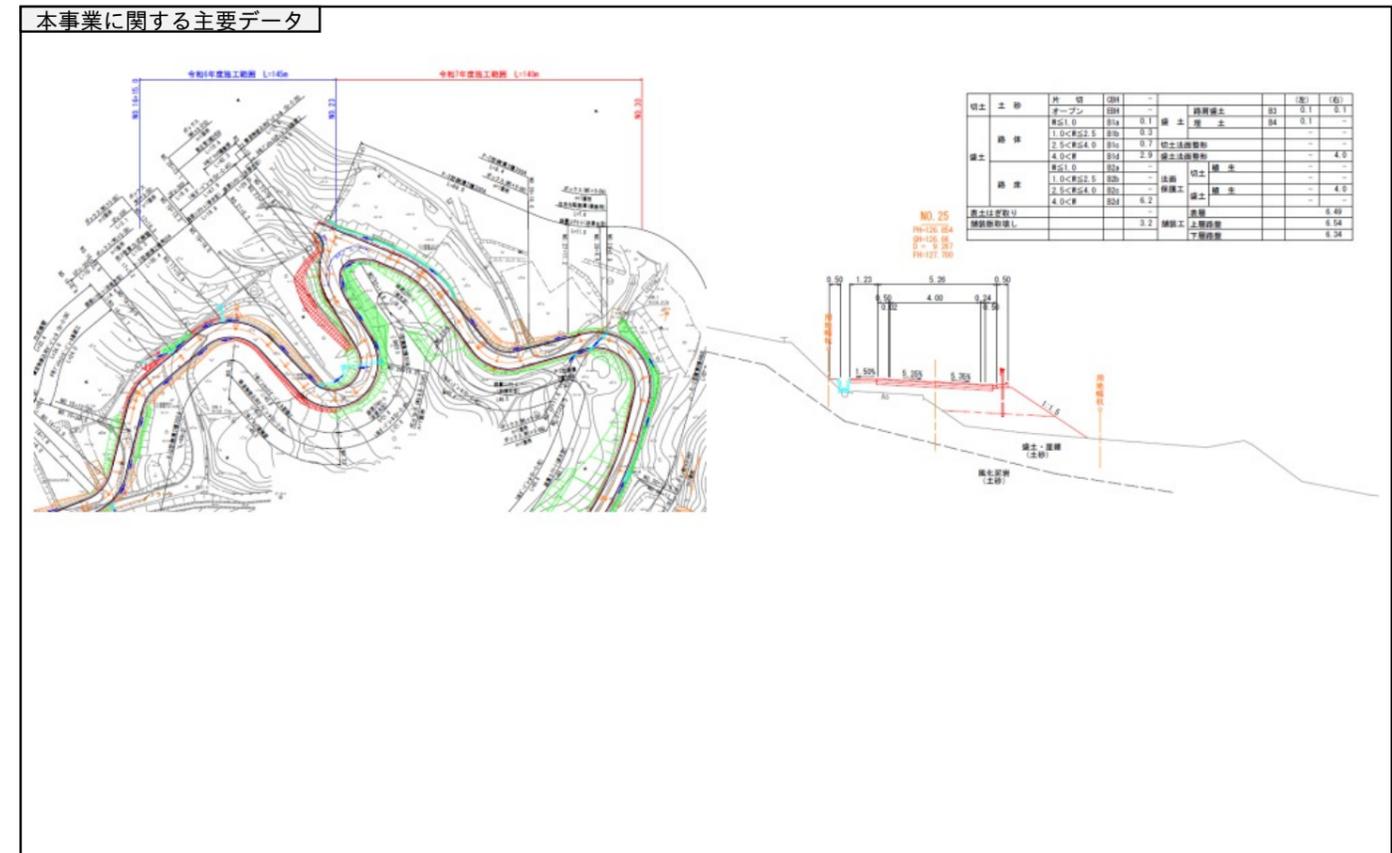
歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費	59,330	25,234
	国・県支出金		0
	地方債	53,300	22,700
	その他		0
	一般財源	6,030	2,534
歳入合計		59,330	25,234

課題
 上根尾上農道は、地すべり区域内での事業であり、現場状況に応じ、対策をとりながらの施工となることから、工期の延伸と事業費の増加が想定される。

方向性
 工事の安全性を確保しながら、早期の全線開通に努める。

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	松江産の食材がスーパーに増えた
	主要施策	次世代へつなぐ収益性の高い生産基盤づくり

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	6月	工事発注		
	12月	工事完了		



R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
工事請負費	24,434		
補償補填及び賠償金	800		
事業費計		25,234	

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
産業経済部農林基盤整備課	有害鳥獣駆除対策補助金

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	有害鳥獣から農作物を守り、被害を減少させる。	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
		有害鳥獣イノシシの捕獲頭数（頭）	1,600	1,200	1,200	1,200
	目標（何を達成するのか）	鳥獣侵入防護柵設置延長（m）	31,818	36,000	36,000	36,000
イノシシ、ニホンジカなど有害鳥獣の捕獲（個体数調整）、および耕作地の被害防護柵の設置を行い、農作物被害を減少させる。		農作物の被害額（千円）	5,500	4,080	4,080	4,080

事業概要	<p>イノシシ・ニホンジカ・アナグマ等の有害鳥獣による農作物被害を防止</p> <p>①捕獲（駆除）員へ捕獲（駆除）の活動依頼 ②捕獲（駆除）員への有害鳥獣捕獲奨励金 ③農業従事者が設置する防護柵の設置支援 ④松江市鳥獣被害対策実施隊の活動支援 ⑤捕獲（駆除）員になるための狩猟免許取得促進</p> <p>数値の目標については、令和5年3月に定めた鳥獣被害防止計画によるもの</p>
------	---

事業計画	R6実績見込	R7計画	R8計画
	イノシシ1600頭、ニホンジカ70頭、アナグマ320頭。 防護柵購入補助 新規115件、延長28,112m 狩猟免許取得促進25人 別途【松江市鳥獣被害防止対策協議会事業】 広域防護柵設置3か所、延長3,706m	イノシシ1200頭、ニホンジカ35頭、アナグマ220頭。 防護柵購入補助 新規100件、延長24,000m 狩猟免許取得促進25人 別途【松江市鳥獣被害防止対策協議会事業】 広域防護柵設置7か所、延長14,000m	イノシシ1200頭、ニホンジカ35頭、アナグマ220頭。 防護柵購入補助 新規100件、延長24,000m 狩猟免許取得促進25人 別途【松江市鳥獣被害防止対策協議会事業】 広域防護柵設置7か所、延長14,000m
達成度			
1 計画目標に向けて順調に推移			

財源内訳	歳入・歳出の推移(単位：千円)	
	R6 決算見込	R7 当初予算
事業費	35,079	34,596
国・県支出金	6,386	8,203
地方債		
その他	0	0
一般財源	28,693	26,393
歳入合計	35,079	34,596

課題	有害鳥獣による農作物被害は、市全域に広がりを見せている。被害防除、捕獲駆除対策をしているが農作物の被害報告は無くならない。	方向性	引き続き、有害鳥獣の捕獲と防護柵の設置に対する支援を行い、併せて、国の交付金を利用した広域防護柵の設置を地域住民と協議しながら行なっていく。また、今後は地域研修会を通じ、住民に鳥獣被害対策への意識を高め、地域の対策リーダーや捕獲員の人材確保、育成を行う。さらに捕獲した有害鳥獣の利活用として、イノシシ肉の資源化の普及啓発に力を入れる。
----	---	-----	---

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	松江産の食材がスーパーに増えた
	主要施策	次世代へつなぐ収益性の高い生産基盤づくり

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月～10月	有害鳥獣駆除	3月	有害鳥獣駆除
	4月～9月	有害鳥獣被害防除施設整備事業(防護柵)補助金受付		
	11月～2月	狩猟免許取得推進事業補助金受付		
通年	鳥獣被害対策事業補助金受付			

本事業に関する主要データ

イノシシの捕獲頭数(松江市)

年度	捕獲頭数
R1	1006
R2	1296
R3	1224
R4	1356
R5	1586

猟友会会員数(松江市)

年度	会員数	割合
R1	188	65.0
R2	196	64.0
R3	208	63.0
R4	213	62.0
R5	222	

【第5回 松江ジビエールフェス】

R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	34,596		
事業費計		34,596	

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
産業経済部農林基盤整備課	県営事業負担金

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	森林整備計画に基づき、林業専用道上来待線の開設により、森林資源の開発と森林整備の加速化を図る。	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
	目標（何を達成するのか） ・森林資源の開発 ・地域における生活環境の整備	開設工事3工区整備延長累計	1,834	1,934	2,504	3,260

事業概要	森林資源の開発と地域における生活環境の整備のため、県営林業専用道上来待線に係る経費の10%を負担するもの。（事業主体は島根県） 林業専用道上来待線 総延長8.36km（幅員3.5m） 内訳 1工区 3.20km（工事：2工区終了後） 2工区 1.90km（工事：R8以降） 3工区 3.26km（工事：R2～R9）
------	---

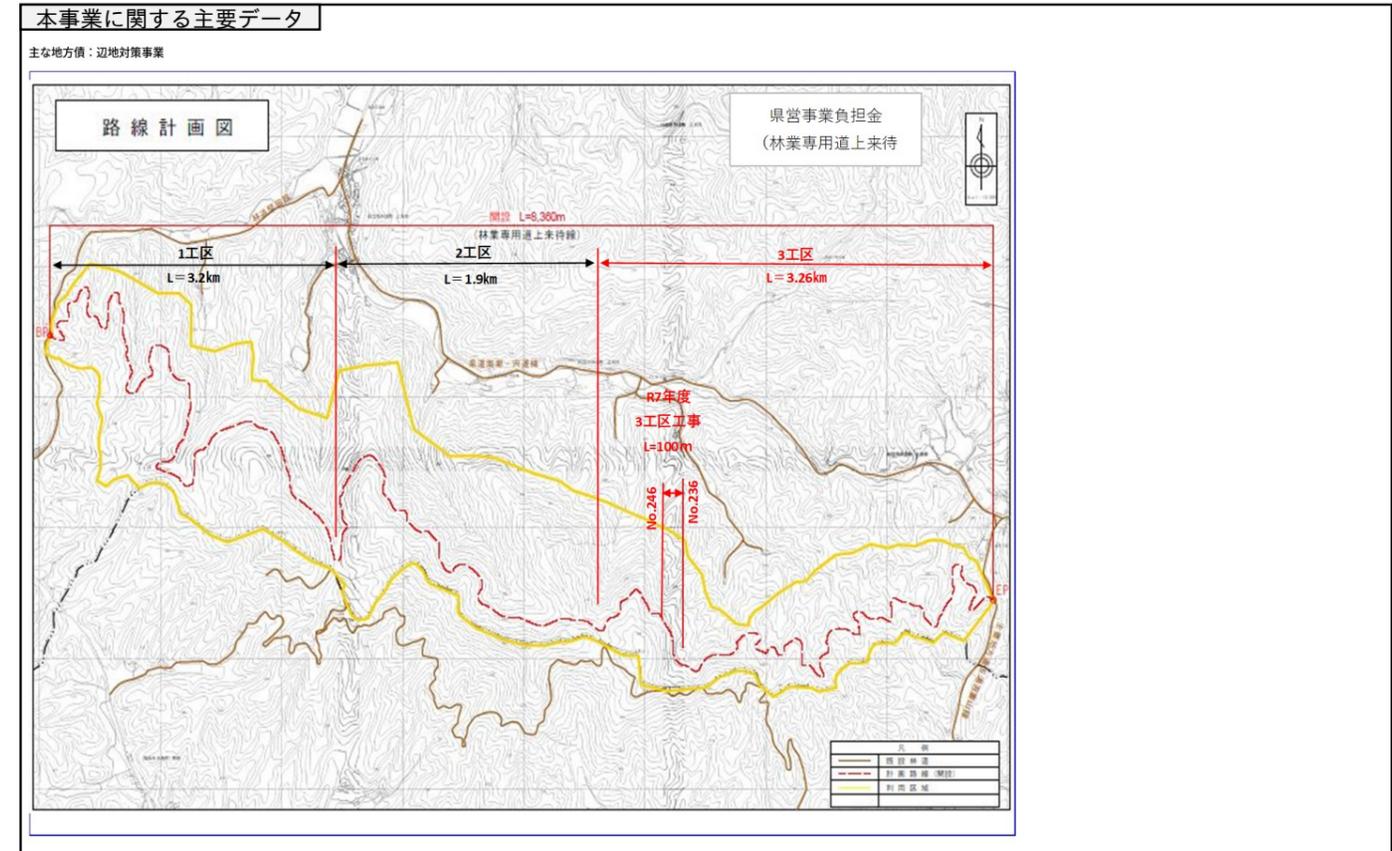
事業計画	R6実績見込	R7計画	R8計画	
	開設工事（3工区） 単年度 340m 累計 1,834m	開設工事（3工区） 単年度 100m 累計 1,934m	開設工事（3工区） 単年度 570m 累計 2,504m	
	達成度 1 計画目標に向けて順調に推移			

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費	6,000	4,000
	国・県支出金		0
	地方債	6,000	4,000
	その他		0
	一般財源	0	0
歳入合計		6,000	4,000

課題	林道整備の促進により、森林整備面積を計画的に増加させることが求められる。	方向性	計画的な整備を実施し、R11年度までに全線開通を目指す。また、林道の供用開始により計画的な森林資源の活用を図る。
----	--------------------------------------	-----	--

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	松江産の食材がスーパーに増えた
	主要施策	次世代へつなぐ収益性の高い生産基盤づくり

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月	当該年度実施承諾		
	10月	負担金第1回支払い（70%）		
	3月	負担金第2回支払い（30%）		



R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	4,000		
事業費計			4,000

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
産業経済部農林基盤整備課	林道開設事業費（補助）

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	林道及び林業専用道を開設することにより、森林資源の開発と森林整備の加速化を図る。	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
	林業専用道朝酌大海崎線開設（W=3.6m）全延長3,600m	林業専用道朝酌大海崎線累計完成延長（m）	0	1,000	1,300	3,600
目標（何を達成するのか）						
林業専用道朝酌大海崎線開設（W=3.6m）全延長3,600m						

事業概要

松江市森林整備計画に基づき実施する。林業専用道を開設することにより、効率的な林業の施業を可能とし、森林資源の開発と森林整備の加速化を図る。
 林業専用道朝酌大海崎線 事業計画期間R3～R9 延長L=3,600m 幅員W=3.6m

令和3年度林業専用道朝酌大海崎線測量調査設計業務委託において、路線延長L=3,400mからL=3,600mに変更した。

事業計画	R6実績見込	R7計画	R8計画
	<林業専用道朝酌大海崎線> ・用地測量業務 N=1式	<林業専用道朝酌大海崎線> ・開設工事 L=1000m	<林業専用道朝酌大海崎線> ・開設工事 L=1300m
	達成度		
1	計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費	30,500	52,836
	国・県支出金	15,000	26,198
	地方債	13,900	23,900
	その他	0	0
	一般財源	1,600	2,738
歳入合計		30,500	52,836

課題

既設の林道滑線は幅員が狭く、大型機械の進入が困難なため、小型機械での施業となり、コストが高む。

方向性

令和2年度末に大海崎町と上宇部尾町の山林を縦貫する林業専用道滑線を竣工し、令和3年度から朝酌町と大海崎町を結ぶ林業専用道を開設することで、大型機械を導入し集約化と路網整備を進展させて低コスト化を図り、持続的な森林経営の確立及び市産材の安定供給体制の構築に資する。

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	松江産の食材がスーパーに増えた
	主要施策	次世代へつなぐ収益性の高い生産基盤づくり

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月	林野庁設計協議		
	4～2月	工事 積算、発注、入札、契約～竣工		
	2月	R8年度事業ヒアリング		
	3月	補助金検査		



R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
旅費	41		
需用費	352		
役務費	41		
工事請負費	52,396		
公課費	6		
事業費計		52,836	

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
産業経済部農林基盤整備課	林道点検診断・保全整備事業

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	個別施設計画を基に、林道施設の適切な維持管理を実施し、ライフサイクルコストの低減と維持補修・更新費用の平準化を図る。	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
		橋梁点検診断（橋）	10	10	8	30
	目標（何を達成するのか）	トンネル点検診断（箇所）	0	2	0	2
既設林道の橋梁やトンネル等について、個別施設計画に基づき、点検診断、補修及び更新等を実施する。	橋梁、トンネル保全整備事業（件）	1	1	1	19	

既設林道の橋梁やトンネル等について、個別施設計画を策定するための点検診断、並びに個別施設計画に基づき実施される点検診断及び補修、更新等を実施するもの。

林道橋梁・トンネル点検診断（対象：橋梁4m以上、トンネル、その他重要な施設）
 林道橋梁 全35橋 うち対象30橋
 トンネル 全2箇所 うち対象2箇所

令和3年度：保全整備（新馬見谷橋 1橋、諸喰トンネル 1箇所）
 令和4年度：点検診断（橋梁：0橋）※下部工の点検のみ
 令和5年度：点検診断（橋梁：7橋）※R4上部工含む
 令和6年度：点検診断（橋梁：10橋）、保全整備（橋梁：1橋）

事業計画	R6実績見込	R7計画	R8計画
	<ul style="list-style-type: none"> 橋梁点検診断 N=10橋 保全整備 N=1橋 	<ul style="list-style-type: none"> 橋梁点検診断 N=10橋 保全整備 N=1橋 トンネル点検診断 N=2箇所 	<ul style="list-style-type: none"> 橋梁点検診断 N=8橋 保全整備 N=1橋
	達成度 1 計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)	R6	R7
	決算見込	当初予算
事業費	27,040	36,610
国・県支出金	13,100	17,905
地方債	8,800	10,800
その他	0	0
一般財源	5,140	7,905
歳入合計	27,040	36,610

課題	方向性
整備後50年以上経過する橋梁が増加しており、耐久性、安全性の面で対策が必要になってきている。また、海風の影響を受けやすく、環境条件によっても老朽化の早さが異なるため、個別施設計画に基づいたそれぞれの条件に合う適切な維持管理が必要である。	林道の安全な通行を確保するため、個別施設計画に基づいて、林道施設の適切な維持管理を行い、長寿命化を図る。

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	松江産の食材がスーパーに増えた
	主要施策	次世代へつなぐ収益性の高い生産基盤づくり

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4～5月	補助申請		
	5～3月	発注業務		
	2月	R8年度事業ヒアリング		
	2～3月	補助金検査		

本事業に関する主要データ

主な地方債：過疎対策事業

年度	1巡目合計	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	2巡目合計	
法点検	～R2	2巡目(R3～R7)					2巡目合計	
		対象数：30橋						
橋梁	判定	数量	判定	数量	判定	数量	判定	数量
	I	13	I	0	I	0	I	4
	II	13	II	0	II	0	II	3
	III	4	III	0	III	0	III	3
	IV	0	IV	0	IV	0	IV	0
計	30						17	
累計		0	0	7	17	30		

※点検診断にて判定Ⅱ以上を対象とし、緊急度、路線の重要度が高い橋梁から順次実施する。

年度	1巡目合計	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	2巡目合計
法点検	～R2	2巡目(R3～R7)					2巡目合計
		対象数：17橋（判定Ⅱ以上）					
橋梁	実施	0	1	0	0	1	2
	計画	0	1	0	0	1	17
	累計	0	1	1	1	2	2
							—

※点検診断にて判定Ⅱ以上を対象とし、緊急度、路線の重要度が高い橋梁から順次実施する。

年度	1巡目合計	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	2巡目合計
法点検	～R2	2巡目(R3～R7)					2巡目合計
		対象数：2箇所（判定Ⅱ以上）					
トンネル	実施	0	1	0	0	0	1
	計画	0	1	0	0	0	2
	累計	0	1	1	1	1	1
							—

※点検診断にて判定Ⅱ以上を対象とし、緊急度、路線の重要度が高いトンネルから順次実施する。

健全度判定区分	判定	状態
I	健全	道路橋の機能に支障が生じていない状態
II	予防保全段階	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態
III	早期措置段階	道路橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態
IV	緊急措置段階	道路橋の機能に支障が生じている、または生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態

R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
需用費	800		
委託料	15,810		
工事請負費	20,000		
事業費計			36,610

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
産業経済部農林基盤整備課	農業用ため池改良事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	ため池堤防決壊等の事故から人命、財産を守るとともに農業用水の安定供給の確保のため、計画的に老朽ため池の改修と廃止を行い、適切な維持管理を図る。	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
	目標（何を達成するのか）	ため池改修・補修工事数（池）	2	2	2	2
		ため池廃止工事数（池）	3	4	4	4
ため池の破損箇所の改修、農業用として利用されなくなった池の廃止を行うことによる住民の安心・安全の確保と用水の安定供給を図る。						

事業概要
 県営、団体営事業の対象とならない老朽ため池は県単ため池安全確保事業で整備する。決壊した場合に、下流の人家や公共施設等に影響を与える恐れがあるため池は農業水路等長寿命化・防災減災事業等により整備及び廃止する。

事業計画	R6実績見込	R7計画	R8計画
	【ため池改修工事】 2池 ・一丁田池（玉湯町）・宇出下池（鹿島町）	【ため池改修工事】 2池 ・光谷池（鹿島町）・柴尾池（西尾町）	【ため池改修工事】 2池 ・宇杉池、納田池（鹿島町）
	【ため池廃止工事】 3池 ・清蔵池、トサキ池（八雲町） ・樋ノ口池（宍道町）	【ため池廃止工事】 4池 ・金山池（東出雲町）・トビガス池、宍道池（宍道町）・鏡谷池（東持田町）	【ため池廃止工事】 4池 ・澤下池（東持田町）・杉ノ廻池、日吉1池（八雲町）・太平寺池（宍道町）
達成度			
1	計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)	R6	R7
	決算見込	当初予算
事業費	13,500	89,317
国・県支出金	10,800	83,119
地方債	2,308	5,500
その他	135	263
一般財源	257	435
歳入合計	13,500	89,317

課題	方向性
整備・廃止の必要箇所が多数あり、優先順位をつけて実施する。 市街化区域内のため池は決壊による下流域への被害が大きく、早急な対応が必要であるが、廃止後の維持管理や跡地利用などの検討課題が多いため、市単独費により廃止を実施する必要がある。	ため池の健全度、決壊時の下流域への影響度等を考慮し、優先順位を決め各年度2池程度を目途に改修・修繕する。 ため池廃止は地元調整が整い、周辺の土地に影響を及ぼさない池から随時実施する。

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	松江産の食材がスーパーに増えた
	主要施策	次世代へつなぐ収益性の高い生産基盤づくり

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	5月	交付申請		
	6月	交付決定、工事発注		
	7月～2月	工事中		
	3月	工事完了		

本事業に関する主要データ

主な地方債：一般補助施設整備等事業、緊急自然災害防止対策事



【ため池廃止工事施工例】（堤体開削）

R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
委託料	45,130		
工事請負費	44,187		
事業費計		89,317	

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
産業経済部農林基盤整備課	森林環境譲与税関連事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	森林の公益的機能（地球環境保全機能、水源涵養機能、生物多様性保全機能、土砂災害防止機能等）の保全と林業の成長産業化	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
	目標（何を達成するのか）	松江森林組合新規作業員（人/年）	3	1	1	1
		新植及び保育面積（ha/年）	50	90	90	90
・民有林（私有林・市有林）整備の促進 ・木材の有効利用促進 ・林業を支える人材育成・担い手の確保 ・森林・林業の普及啓発	森林経営管理制度再委託（件/年）	0	1	1	1	

事業概要
 温室効果ガス排出削減目標の達成や災害防止を図るため、森林整備等に必要な地方財源を安定的に確保する観点から創設された森林環境譲与税を活用し、松江市内の森林整備、林業担い手の育成・確保、木材の利用促進、森林・林業の普及啓発に関する事業を実施する。
 ○森林管理運営費・・・地域林政アドバイザー雇用経費や森林経営推進センターへの森林経営管理制度サポート業務委託、航空レーザ計測による森林資源解析業務など。
 ○地域林業振興費・・・民有林整備や林業の担い手育成・確保、木材有効利用促進事業等への補助金、市産木材を使用した住宅等への補助金、製材・木材加工事業への補助金、市民による森林整備促進を図る森林・林業普及啓発活動事業など。
 ○森林整備費・・・災害による倒木や林道内へ流出した土砂等を除去し、森林環境の維持・保全を図る森林整備環境保全事業、松江市有林整備事業など。
 松江市の民有林面積 A=29,035ha、うち人工林7,426ha

事業計画	R6実績見込	R7計画	R8計画
	・林業事業体担い手補助金、民有林拡大造林補助金、木材有効利用促進補助金、林業機械等購入補助金、松江市産材活用補助金、森林づくり活動支援事業補助金、製材・木材加工事業補助金などの林業関係事業補助金 ・航空レーザ計測による森林資源解析事業 ・森林経営管理制度経営管理意向調査 ・市内小学校での森林学習 ・市有林整備事業	・林業事業体担い手補助金、民有林拡大造林補助金、木材有効利用促進補助金、林業機械等購入補助金、松江市産材活用補助金、森林づくり活動支援事業補助金、製材・木材加工事業補助金などの林業関係事業補助金 ・航空レーザ計測による森林資源解析事業 ・森林経営管理制度経営管理意向調査 ・市内小学校での森林学習 ・市有林整備事業	・林業事業体担い手補助金、民有林拡大造林補助金、木材有効利用促進補助金、林業機械等購入補助金、松江市産材活用補助金、森林づくり活動支援事業補助金、製材・木材加工事業補助金などの林業関係事業補助金 ・航空レーザ計測による森林資源解析事業 ・森林経営管理制度経営管理意向調査 ・市内小学校での森林学習 ・市有林整備事業
	達成度		
1	計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7
		決算見込	当初予算
事業費		84,907	94,527
財源内訳	国・県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	14,556	8,732
	一般財源	70,351	85,795
歳入合計		84,907	94,527

課題	方向性
・外材輸入に伴う木材価格下落により国内の林業は長く低迷し、林業担い手の減少や森林所有者の経営意欲低下を招いている。林業の成長産業化に向けた実効性のある取組みの強化が課題となっている。 ・適切な森林整備が行われず、公益的機能が損なわれた荒廃人工林の増加は、流木や土砂崩れなどの災害を引き起こす一因となっており、災害防止の観点からも継続的な森林整備実施が必要である。	①担い手事業：航空レーザ計測による森林資源解析事業がR7年度で終了することにより生じる財源を活用し、担い手事業を拡充する。 ②市有林整備事業：主伐と再造林、その後の保育、荒廃天然林の人工林化実施により、将来に亘っての市産木材安定供給を図る。 ③製材・木材加工事業：循環型林業を推進するため、助成を拡充し、製材・木材加工分野の活性化による林業への好影響を図る。 これらの事業実施と並行し、森林関係事業への理解を深めてもらうため、譲与税活用による事業成果や森林の公益的機能、保全の重要性を周知していく。

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	松江産の食材がスーパーに増えた
	主要施策	次世代へつなぐ収益性の高い生産基盤づくり

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月～3月	各種補助金申請受付、審査、交付決定、確認検査、支払い	12月	木育事業（市内幼稚園、保育園へのツリー配布）
	4月～3月	森林経営管理制度対象森林調査選定、所有者交渉、事務手続き	5月	基金積立または取崩
	4月～3月	航空レーザ計測による森林資源解析		
	9月～1月	市内小学校での森林学習		

本事業に関する主要データ

森林環境譲与税 松江市譲与額および活用額の推移（単位：千円）

	R1（実績）	R2（実績）	R3（実績）	R4（実績）	R5（実績）	R6（見込）	R7（見込）
譲与額	23,708	50,380	50,402	64,934	64,934	82,992	89,192
譲与額累計	23,708	74,088	124,490	189,424	254,358	337,350	426,542
活用額累計	16,186	50,910	97,806	161,200	245,769	335,435	424,628
活用割合	68.3%	68.7%	78.6%	85.1%	96.6%	99.4%	99.6%

森林環境譲与税を活用した主な事業



民有林(私有林・市有林)整備



林業担い手の育成・確保



市産木材を使用した住宅への補助



高性能林業機械導入補助



小学校での森林学習



保育園・保育所での木育活動

事業の目的

森林の公益的機能保全

- ①生物多様性保全
- ②地球環境保全
- ③土砂災害防止機能
- ④水源涵養機能
- ⑤快適環境形成機能
- ⑥保健・レクリエーション機能
- ⑦文化機能
- ⑧物質生産機能

林業の成長産業化

- ①林業事業体の経営基盤安定
- ②雇用拡大
- ③所得向上

R7節別当初予算額内訳（千円）

節名称	金額	節名称	金額
報酬	2,166	積立金	1
職員手当等	832		
共済費	516		
旅費	155		
需用費	310		
委託料	44,121		
負担金及び交付金	46,426		
事業費計		94,527	

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
産業経済部商工企画課	農（水産）商工連携推進事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標			
	農林水産業者と商工業者の業種を超えた連携を促し、地域資源を活用した新商品開発やその販路拡大の取り組みの支援、経済の域内循環促進等により、地域産業活性化に資するもの。	項目（成果指標） 農水商工連携（新商品開発数） （累計）	R6実績見込 95	R7計画 98	R8計画 101
	目標（何を達成するのか）				
	①事業者連携による新商品開発と販売促進 ②地場産品を素材とした商品の創出育成 ③地産地消、地産外商の推進 ④食・産業・体験の新たな観光素材づくり				

事業概要	<p>①農林水産業（生産品）と商工業（技術）を有機的に結びつけ、新商品の開発及び販売促進活動の支援を行う。</p> <p>②地域資源・地域産業を担う企業を知る取り組み、高校・大学と連携した新商品開発等を通じ、地域産業を担う人材の育成・交流を行う。</p> <p>③地産地消・地産外商推進に向けたPR、イベント出店を行う。</p> <p>（数値目標の目標年度） 項目名 農水商工連携（新商品開発数）：2029（R11）年度</p>
------	--

事業計画	R6実績見込	R7計画	R8計画
	<p>○異業種連携による新商品開発・商品改良支援（事業者マッチング、研修会、交流会、商品開発助成など）</p> <p>○新商品等の販売促進・販路拡大の取り組み（各種イベント出展・支援、商談会参加支援、産学連携事業など）</p> <p>○開発商品のPR（ホームページ、インスタグラム、フェイスブック、マスコミ向けの完成披露会など）</p>	<p>○異業種連携による新商品開発・商品改良支援（事業者マッチング、研修会、交流会、商品開発助成など）</p> <p>○新商品等の販売促進・販路拡大の取り組み（各種イベント出展・支援、商談会参加支援、産学連携事業など）</p> <p>○開発商品のPR（ホームページ、インスタグラム、フェイスブック、マスコミ向けの完成披露会など）</p> <p>○「ばけばけ」を活用したイカす商品（お土産・飲食店メニューなど）開発支援・プロモーション</p>	<p>○異業種連携による新商品開発・商品改良支援（事業者マッチング、研修会、交流会、商品開発助成など）</p> <p>○新商品等の販売促進・販路拡大の取り組み（各種イベント出展・支援、商談会参加支援、産学連携事業など）</p> <p>○開発商品のPR（ホームページ、インスタグラム、フェイスブック、マスコミ向けの完成披露会など）</p>
	達成度		
1	計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費	1,987	2,968
	国・県支出金		500
	地方債		
	その他		0
	一般財源	1,987	2,468
歳入合計		1,987	2,968

課題	<p>・販売を見据えた商品開発の支援強化（「できたものを売る」から「求められるものを売る」への転換）</p> <p>・開発支援した商品について、開発後のフォローアップ</p>	方向性	<p>・商品開発前の段階において、ニーズ分析やターゲットニング、販売計画や販路の策定を行い、「売って利益を増大させること」を意識した商品開発を行う。</p> <p>・開発後の状況を把握し、適宜アドバイスやテコ入れ等を行いブラッシュアップ・販売拡大につなげる。</p> <p>・開発商品の情報発信による販売促進支援</p>
----	---	-----	--

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	松江産の食材がスーパーに増えた
	主要施策	6次産業化や農水商工連携による地域経済の活性化

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	5月	協議会総会		
	2月	事業者研修会・交流会		
	通年	異業種連携支援、新商品開発支援、販売促進支援		
	通年	物販イベント出店（市内外）		

本事業に関する主要データ

【農（水産）商工連携事業について】

★生産者
農家・漁師 etc.

★商工業者
製造業・加工業 etc.

異業種間の連携

高付加価値の新商品の開発

○新たな市場の創出
○農林水産業・商工業の経営向上
○地域の雇用・就業機会の拡大

地域経済の活性化

マッチング支援、商品開発支援、販路拡大支援 等

まつえ農水商工連携・特産品推進協議会

【協議会が開発支援した商品について（一部）】

プレミアムトマトジュース
安藤農園 × ちいきおこし

Happy Rice Day
《わんこの炊き込みごはん》
ふあーむ大根島 × ヤマヨ水産

島根町産松江いちじくヴァイツェン
島根町潮風グループ × 大根島醸造所

R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
旅費	363		
使用料及び賃借料	5		
負担金補助及び交付金	2,600		
事業費計		2,968	

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
観光部観光振興課	観光宣伝広告経費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	松江の多彩な観光素材を活用した情報発信を通して観光誘客を図る。	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
	年間宿泊客数（万人）	178	219	227	250	
	目標（何を達成するのか）	観光入込客数（万人）	873	1,020	1,040	1,100
	年間宿泊客数250万人、観光入込客数1,100万人を目指す。					

事業概要	<p>（数値目標の目標年度）年間宿泊客数：2029（R11）年、観光入込客数：2029（R11）年</p> <p>松江観光大使制度を活用した観光PR、県外PR活動、観光パンフレット作成、キャラクター「松江の吉田くん」を活用したPRなどを実施。</p>
------	---

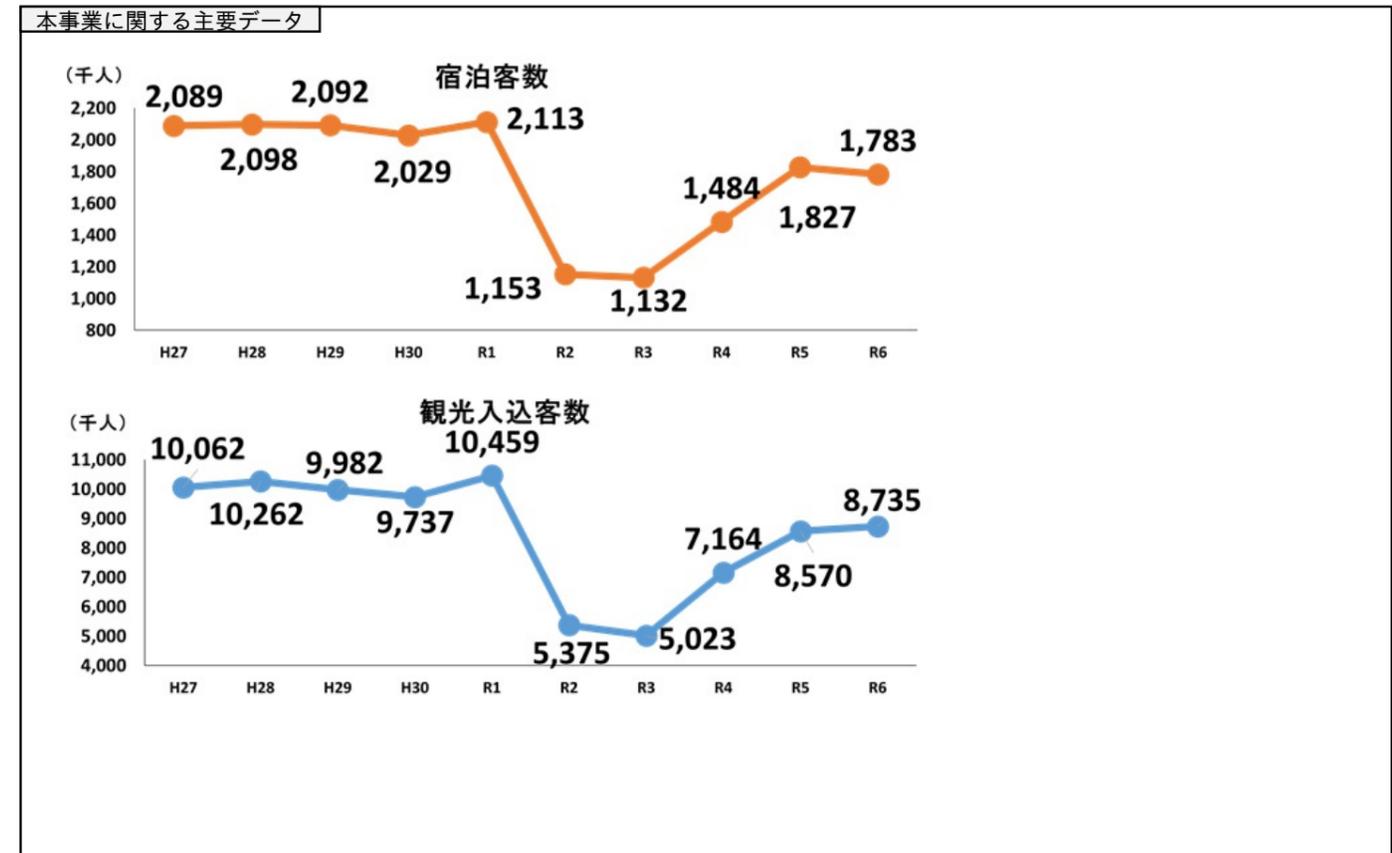
事業計画	R6実績見込	R7計画	R8計画
	<ul style="list-style-type: none"> ○観光大使制度を活用した観光PR ○県外PR活動 ○観光パンフレット作成 ○キャラクターを活用したPR 	<ul style="list-style-type: none"> ○観光大使制度を活用した観光PR ○県外PR活動 ○観光パンフレット作成 ○キャラクターを活用したPR 	<ul style="list-style-type: none"> ○観光大使制度を活用した観光PR ○県外PR活動 ○観光パンフレット作成 ○キャラクターを活用したPR
	達成度		
1	計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費	8,325	8,023
	国・県支出金		0
	地方債		
	その他		0
	一般財源	8,325	8,023
歳入合計		8,325	8,023

課題	○観光大使を活用した効果的なPRに向けた情報発信の充実を図っていく必要がある。	方向性	○観光大使に対し、松江市の観光情報を継続的に発信していく。
----	---	-----	-------------------------------

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	「松江城」「水の都松江」の強みを活かしたプロモーションとブランディング戦略

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	通年	「松江らしさ」を活かしたプロモーション		



R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
旅費	343		
需用費	3,694		
役務費	1,038		
委託料	2,336		
使用料及び賃借料	612		
事業費計		8,023	

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
観光部観光振興課	観光協会運営補助金

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	本市の観光振興を図るため、国宝松江城など、地域の観光資源と特色を最大限に活かした観光事業を推進する。	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
		年間宿泊客数（万人）	178	219	227	250
目標（何を達成するのか）	観光入込客数（万人）	873	1,020	1,040	1,100	
	年間宿泊客数250万人、観光入込客数1,100万人を目指す。					

事業概要	(数値目標の目標年度) 観光宿泊客数：2029(R11)年、観光入込客数：2029(R11)年
	本市の観光振興を目的とする（一社）松江観光協会に対し、事業費及び人件費の補助を行う。ホームページ、SNSによる情報発信や、旅行会社への商品造成の働きかけ、県外イベントへの出展などを行う。データに基づくマーケティングにより観光客のニーズに応じた商品づくりと効果的なプロモーションを行う。様々な施策を観光協会と連携して実施し、観光消費額の拡大、観光入込客数1,100万人、宿泊客数250万人の実現を目指していく。

事業計画	R6実績見込	R7計画	R8計画
	<ul style="list-style-type: none"> ○情報発信・宣伝広告事業 <ul style="list-style-type: none"> ・HPやSNS、テレビ等の各種媒体を活用した情報発信 ○観光プロモーション事業 <ul style="list-style-type: none"> ・観光情報説明会への参加、旅行会社への営業、FDA対策 ○まちあるき観光・ボランティアガイド事業 <ul style="list-style-type: none"> ・小泉八雲の「怪談」をテーマとしたゴーストツアーや城郭ツアー等の松江文化を活用した観光客受入 ○イベント運営事業 <ul style="list-style-type: none"> ・松江水燈路等各種イベントの運営 	<ul style="list-style-type: none"> ○情報発信・宣伝広告事業 <ul style="list-style-type: none"> ・HPやSNS、テレビ等の各種媒体を活用した情報発信 ○観光プロモーション事業 <ul style="list-style-type: none"> ・観光情報説明会への参加、旅行会社への営業、FDA対策 ○まちあるき観光・ボランティアガイド事業 <ul style="list-style-type: none"> ・小泉八雲や国宝松江城等の松江ならではのコンテンツを活用した観光客受入 ○イベント運営事業 <ul style="list-style-type: none"> ・松江水燈路等各種イベントの運営 	<ul style="list-style-type: none"> ○情報発信・宣伝広告事業 <ul style="list-style-type: none"> ・HPやSNS、テレビ等の各種媒体を活用した情報発信 ○観光プロモーション事業 <ul style="list-style-type: none"> ・観光情報説明会への参加、旅行会社への営業、FDA対策 ○まちあるき観光・ボランティアガイド事業 <ul style="list-style-type: none"> ・小泉八雲や国宝松江城等の松江ならではのコンテンツを活用した観光客受入 ○イベント運営事業 <ul style="list-style-type: none"> ・松江水燈路等各種イベントの運営
	達成度		
	1	計画目標に向けて順調に推移	

歳入・歳出の推移(単位：千円)	R6	R7
	決算見込	当初予算
事業費	134,125	142,258
国・県支出金	0	0
地方債	0	0
その他	0	39,841
一般財源	134,125	102,417
歳入合計	134,125	142,258

課題	方向性
○行政と観光協会の役割分担を明確化し、自立性を高めていく必要がある。	○松江観光協会組織戦略の方針に基づき、組織体制と機能強化につなげる。 ○観光振興によって地域経済の活性化を図り、持続可能な観光地づくりを実現する。

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	「松江城」「水の都松江」の強みを活かしたプロモーションとブランディング戦略

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	通年	情報発信、観光プロモーション、まちあるき観光事業等		

本事業に関する主要データ



R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	142,258		
事業費計			142,258

令和7年度 総合計画実施計画

観光部観光振興課 広域観光推進事業費（企業人材活用）

所属	事業名
観光部観光振興課	広域観光推進事業費（企業人材活用）

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	中海・宍道湖・大山圏域の歴史、文化、自然、食など多彩な観光資源を活用し、観光誘客を図る。	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
	目標（何を達成するのか） 年間宿泊客数250万人、観光入込客数1,100万人	松江市宿泊者数（万人）	178	219	227	250
		松江市観光入込客数（万人）	873	1,020	1,040	1,100

（数値目標の目標年度）観光宿泊客数：2029(R11)年、観光入込客数：2029(R11)年
 ①本事業は総務省の地域活性化企業人制度（企業人材派遣制度）を活用し、松江市が受入自治体として企業から人材を受入れ、観光振興課（小泉八雲・セツのドラマ応援室）、（一社）中海・宍道湖・大山圏域観光局に1名ずつ派遣するもの。
 ②以下を実施予定。
 ・観光振興課（小泉八雲・セツのドラマ応援室）では民間企業のネットワークを生かして、事業企画や誘客プロモーションに従事いただき、観光誘客を図る。
 ・中海・宍道湖・大山圏域観光局では、専門知識、旅行業のノウハウ、人脈を生かし、圏域の観光資源を活用した観光誘客を図るもの。
 ○人材派遣元企業：旅行会社等
 ○受入期間：1年更新（令和7年度開始予定。最長令和9年度まで延長あり）
 ○経費：負担金5,600千円+負担金7,584千円（特別交付税措置あり）

事業計画	R6実績見込	R7計画	R8計画
	○旅行会社の社員1名を受入れ、中海・宍道湖・大山圏域観光局に派遣 ○圏域の観光施設、自然、歴史、景観、文化、食、人等を活用した観光商品造成促進	○旅行会社の社員2名を受入れ、観光振興課（小泉八雲・セツのドラマ応援室）、中海・宍道湖・大山圏域観光局に派遣 ○小泉八雲・セツのドラマを活用した観光誘客の促進 ○圏域の観光施設、自然、歴史、景観、文化、食、人等を活用した観光商品造成促進	○旅行会社の社員2名を受入れ、観光振興課（小泉八雲・セツのドラマ応援室）、中海・宍道湖・大山圏域観光局に派遣 ○小泉八雲・セツのドラマを活用した観光誘客の促進 ○圏域の観光施設、自然、歴史、景観、文化、食、人等を活用した観光商品造成促進
	達成度		
1	計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費	5,600	13,184
	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	5,600	13,184
歳入合計		5,600	13,184

課題	方向性
○圏域への国内外からの誘客を促進するため、観光資源の掘り起こしやテーマ性・ストーリー性の構築などを図る必要がある。	○令和7年度も引き続き派遣。 ○旅行会社のノウハウを生かし、国内外の観光マーケットや旅行ニーズの把握、圏域の潜在する観光資源の掘り起こし、活用を通して誘客を図る。

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	「松江城」「水の都松江」の強みを活かしたプロモーションとブランディング戦略

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容

本事業に関する主要データ



R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	13,184		
事業費計		13,184	

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
観光部観光振興課	国宝松江城観光誘客対策事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	国宝城郭都市観光協議会に参画して他の国宝4城と連携して観光誘客を図るほか、松江城周辺のマイカー観光客の混雑緩和とおもてなしの充実を図る。	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
	目標（何を達成するのか） ○国宝松江城への観光誘客の推進。 ○宿泊客数250万人、観光入込客数1,100万人を目指す。	年間宿泊客数（万人）	178	211	227	250
		観光入込客数（万人）	873	1,020	1,040	1,100

事業概要	（数値目標の目標年度）年間宿泊客数：2029（R11）年、観光入込客数：2029（R11）年 ○国宝城郭都市観光協議会に参画して他の国宝4城と連携して観光誘客を図る。 ○松江城周辺のマイカー観光客の混雑緩和とおもてなしの充実を図るため、誘導案内看板の設置と警備委託及び繁忙日の観光客の安全確保を行う。 ○GWに交通規制に伴う誘導及び警備を実施する。 ○繁忙日には無料臨時駐車場を開設する。 ○松江城周辺駐車場の満空情報を車載型カーナビやスマートフォンのカーナビ等に情報提供して観光客の利便性向上を図る。 ○松江城天守国宝10周年のPRを通して観光誘客を図る。
------	---

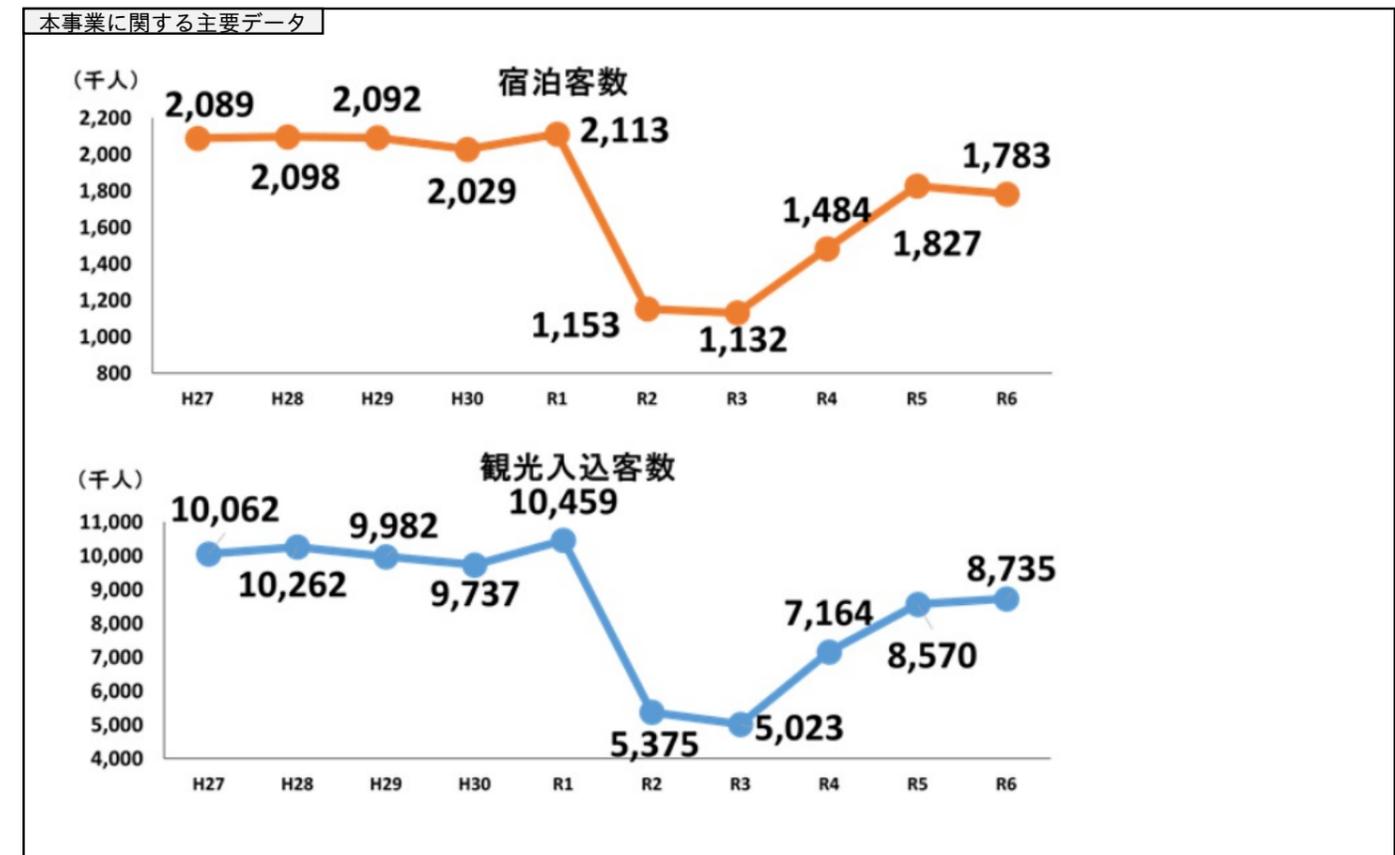
事業計画	R6実績見込	R7計画	R8計画
	○国宝城郭都市観光協議会を通じ、国宝5城が連携した観光PRの実施 ○松江城周辺駐車場誘導及び警備委託 ○GW期間中の警備員配置、看板設置・撤去 ○繁忙日の無料臨時駐車場の開設及び案内看板の設置 ○松江城周辺駐車場の位置情報や満空情報のWEBを活用しての情報発信	○国宝城郭都市観光協議会を通じ、国宝5城が連携した観光PRの実施 ○松江城周辺駐車場誘導及び警備委託 ○GW期間中の警備員配置、看板設置・撤去 ○繁忙日の無料臨時駐車場の開設及び案内看板の設置 ○松江城周辺駐車場の位置情報や満空情報のWEBを活用しての情報発信 ○松江城天守国宝10周年のPRを通して観光誘客を図る。	○国宝城郭都市観光協議会を通じ、国宝5城が連携した観光PRの実施 ○松江城周辺駐車場誘導及び警備委託 ○GW期間中の警備員配置、看板設置・撤去 ○繁忙日の無料臨時駐車場の開設及び案内看板の設置 ○松江城周辺駐車場の位置情報や満空情報のWEBを活用しての情報発信
	達成度		
	1 計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費	16,646	13,325
	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	16,646	13,325
歳入合計		16,646	13,325

課題	方向性
○松江城の国宝化を活かした更なる認知度向上 ○大手前周辺の交通渋滞緩和のため、引き続きスムーズな駐車場への誘導が必要 ○駐車場の満空情報システムをより広く周知し、事前に駐車場を分散できるような仕掛け作りが必要	○国宝城郭都市観光協議会に参画する他の国宝4城と連携したプロモーションを実施することで、国宝松江城の認知度の向上を図る。 ○松江城周辺の駐車場を有効に活用し混雑の緩和を図るため、誘導や警備を実施するほか、駐車場情報を観光客に提供する。 ○松江城周辺駐車場の位置情報や満空情報の周知を図る。 ○大型連休など繁忙日の無料臨時駐車場開設により交通渋滞の緩和を図る。

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	「松江城」「水の都松江」の強みを活かしたプロモーションとブランディング戦略

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容



R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
旅費	162		
委託料	12,272		
使用料及び賃借料	291		
負担金補助及び交付金	600		
事業費計		13,325	

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
観光部観光振興課	JRとの連携強化事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	松江市の地域資源を活かして、JRを利用した観光誘致への取り組みと駅を核としたまちづくりを促進する。	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
	年間宿泊客数（万人）	178	219	227	250	
	観光入込客数（万人）	873	1,020	1,040	1,100	
	目標（何を達成するのか）	年間宿泊客数250万人、観光入込客数1,100万人を目指す。				

（目標数値の目標年度）
年間宿泊客数：2029（R11）年、観光入込客数：2029（R11）年

事業概要
JR西日本米子支社と平成25年8月に締結した「地域振興のための連携協力に関する協定」にもとづき松江市の地域資源を活かした観光誘致への取組と駅を核とした魅力あるまちづくりを促進するため、JR京阪神主要駅において、JR松江駅、島根県、出雲市等と協働で誘客パンフレットの配布を行って、さらに無償でポスター掲示やパンフレットの設置を依頼している。
また、JR松江駅において、観光客のおもてなしを充実させるため待合室西側トイレのトイレトーパーの提供を行うもの。

事業計画	R6実績見込	R7計画	R8計画
	○銀河や瑞風などJR西日本米子支社の誘客事業と連携した誘客対策や松江駅での「おもてなし」向上を行う ○京阪神主要駅に於いて合同観光PRキャラバンを実施し、主要駅でのサンプリングや構内へ無償でポスター掲示やパンフレット設置を行う ○JR松江駅での観光客のおもてなし向上を図る為、構内西側トイレのトイレトーパー支給	○銀河や瑞風などJR西日本米子支社の誘客事業と連携した誘客対策や松江駅での「おもてなし」向上を行う ○京阪神主要駅に於いて合同観光PRキャラバンを実施し、主要駅でのサンプリングや構内へ無償でポスター掲示やパンフレット設置を行う ○JR松江駅での観光客のおもてなし向上を図る為、構内西側トイレのトイレトーパー支給	○銀河や瑞風などJR西日本米子支社の誘客事業と連携した誘客対策や松江駅での「おもてなし」向上を行う ○京阪神主要駅に於いて合同観光PRキャラバンを実施し、主要駅でのサンプリングや構内へ無償でポスター掲示やパンフレット設置を行う ○JR松江駅での観光客のおもてなし向上を図る為、構内西側トイレのトイレトーパー支給
	達成度		
	1	計画目標に向けて順調に推移	

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費	1,051	1,185
	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	1,051	1,185
	歳入合計	1,051	1,185

課題	方向性
○連携協定を活かした効果的な観光PRの継続と拡大 ○島根県、中海・宍道湖・大山圏域市長会との連携強化 ○JR松江駅でのおもてなしの充実	○京阪神主要駅観光PRキャラバンなど 連携した誘客を継続して実施 ○松江駅を中心とした観光案内やおもてなしの充実を図ることで国際文化観光都市としてのイメージアップ

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	「松江城」「水の都松江」の強みを活かしたプロモーションとブランディング戦略

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容

本事業に関する主要データ



R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
旅費	85		
需用費	1,100		
事業費計			1,185

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
観光部観光振興課	観光マーケティング事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	観光マーケティングによる観光施策のPDCAサイクル確立を図る。	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
		年間宿泊客数（万人）	178	219	227	250
	目標（何を達成するのか）	観光入込客数（万人）	873	1,020	1,040	1,100
観光施策におけるPDCAサイクルを確立し、観光宿泊客数250万人及び観光入込客数1,100万人を目指す。						

事業概要	<p>（数値目標の目標年度） 観光宿泊客数：2029(R11)年、観光入込客数：2029(R11)年</p> <p>島根県が実施している「観光動態調査」のうち、松江市分のデータ提供を受け、観光客の動向を分析・検証するため、松江市版の観光動態調査を行い、今後の観光施策を計画・立案するための基礎資料とする。また、蓄積したデータを活用し、観光マーケティングによる戦略的かつ効果的な観光施策を実施し、PDCAサイクルの確立を図る。</p>
------	--

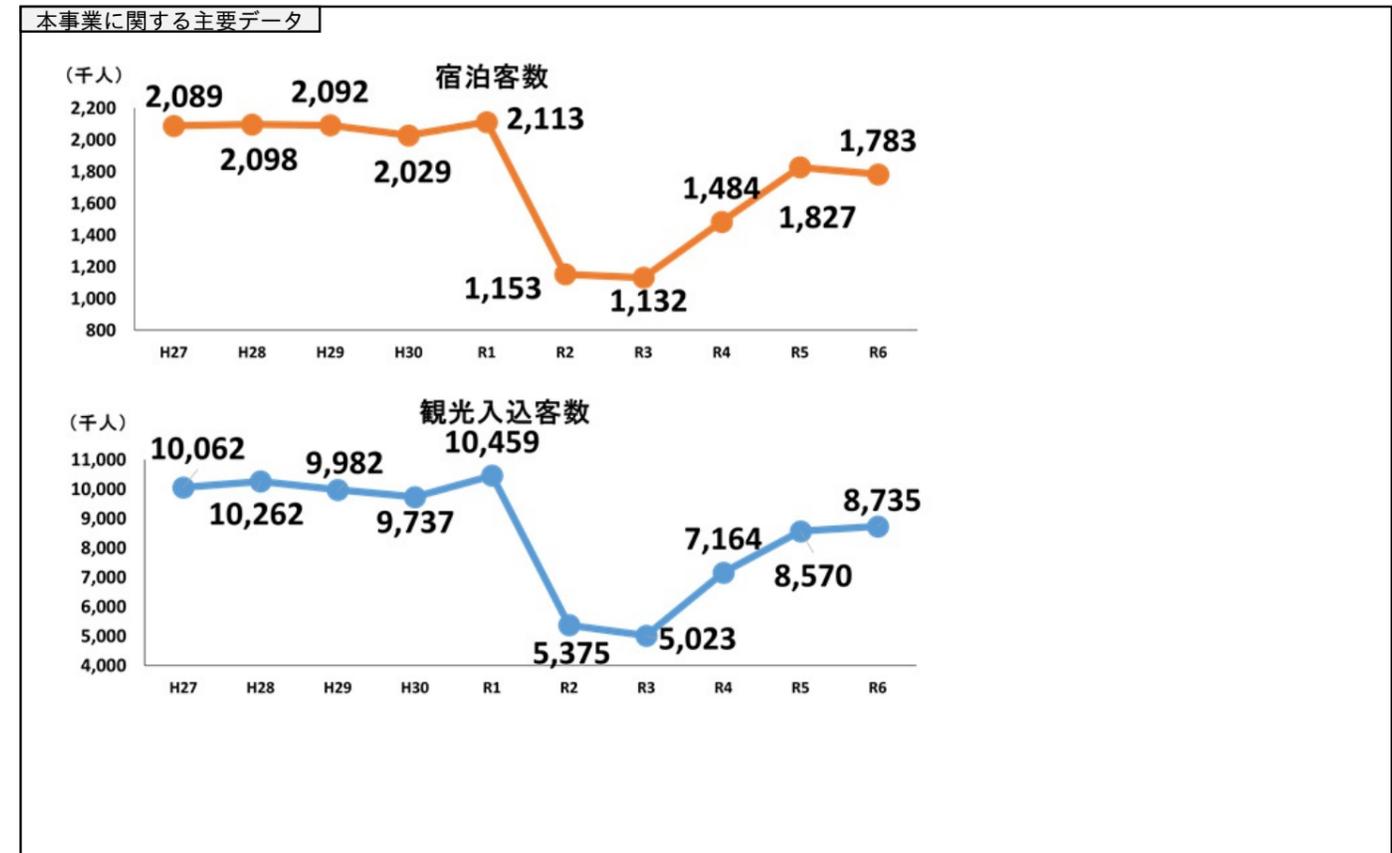
事業計画	R6実績見込	R7計画	R8計画
	<ul style="list-style-type: none"> ○松江市版観光動態調査の実施 ○市内観光施設7施設での人流解析の実施 ○宿泊データ分析システムの運用 	<ul style="list-style-type: none"> ○松江市版観光動態調査の実施 ○市内観光施設7施設での人流解析の実施 ○宿泊データ分析システムの運用 	<ul style="list-style-type: none"> ○松江市版観光動態調査の実施 ○市内観光施設7施設での人流解析の実施 ○宿泊データ分析システムの運用
	<p>達成度</p> <p>1 計画目標に向けて順調に推移</p>		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費	2,012	1,741
	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	2,012	1,741
歳入合計		2,012	1,741

課題	○観光動向、変化する旅行スタイルやニーズを的確に捉え、観光施策に反映させる必要がある。	方向性	○マーケティングにより、効果的な施策を展開していく。
----	---	-----	----------------------------

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	「松江城」「水の都松江」の強みを活かしたプロモーションとブランディング戦略

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	通年	観光動態調査実施、観光白書作成		
	通年	マーケティング（市場調査・分析）		
	通年	観光施設での人流解析		
	通年	宿泊者のデータ分析		



R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
役務費	307		
委託料	1,038		
使用料及び賃借料	396		
事業費計		1,741	

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
観光部観光振興課	城下町AR・VR体験環境整備事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	国宝松江城を中心とした文化財の魅力在海外・国内観光客に紹介し体験滞在の満足度を向上させるため、AR（拡張現実）・VR（仮想現実）技術を活用したアプリケーションを提供する。 目標（何を達成するのか） 年間宿泊客数250万人、観光入込客数1,100万人を目指す。	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
		年間宿泊客数（万人）	178	219	227	250
	観光入り込み客数（万人）	873	1,020	1,040	1,100	

事業概要	（数値目標の目標年度）観光宿泊客数：2029(R11)年、観光入込客数：2029(R11)年 松江城を中心に城下町の魅力・情報を紹介するAR・VR技術を活用した多言語対応アプリケーション提供するために、保守・管理業務を委託するもの。 また、令和2年度に作成した「VRスコープ」を、観光協会や周辺観光施設に販売委託するもの。 (1) 既存のアプリの保守・管理 (2) VRスコープの販売委託
------	--

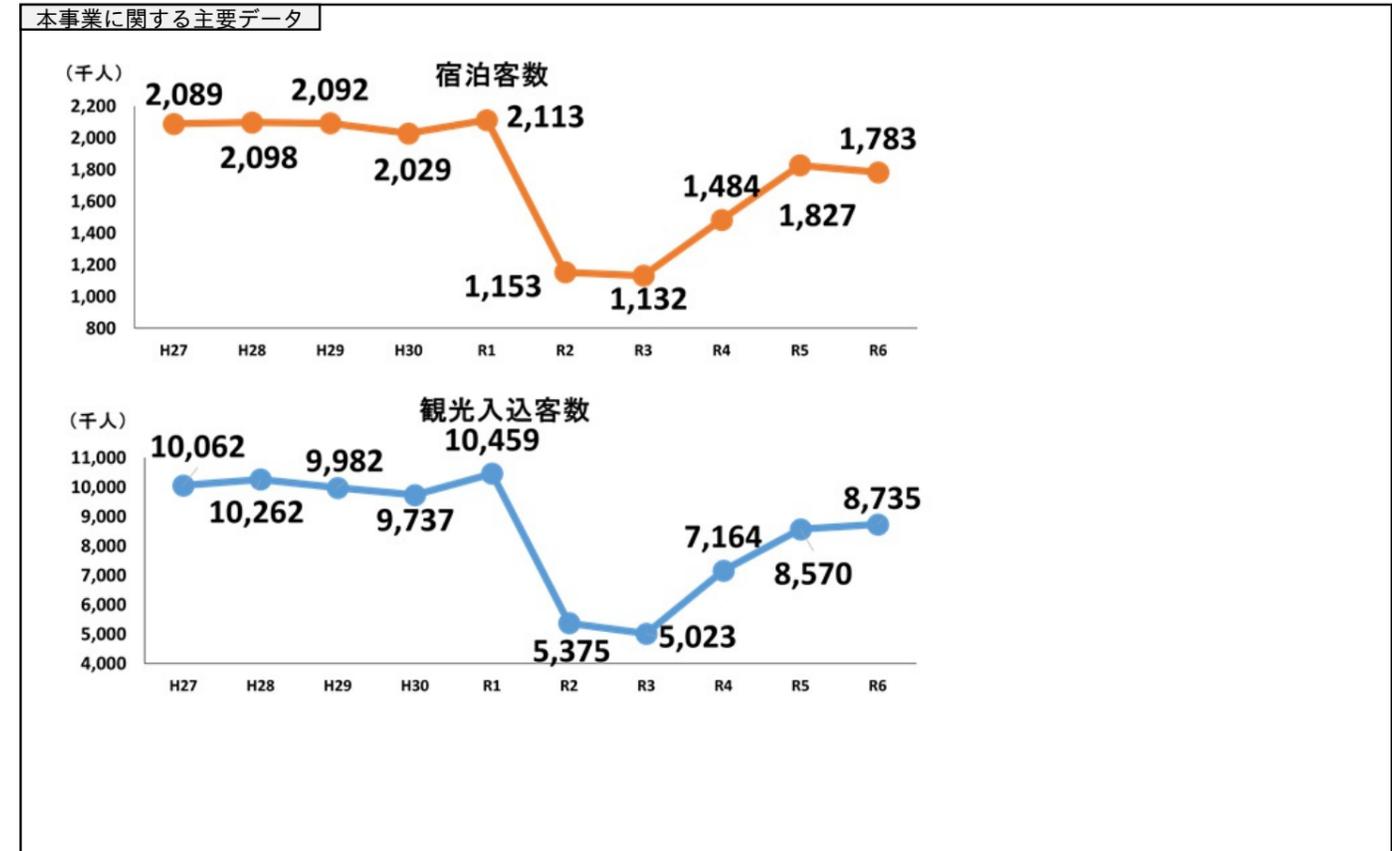
事業計画	R6実績見込	R7計画	R8計画
	1. アプリの利活用に向けた広報 2. 施設周遊用ARカードの配布 3. AR周知チラシの配布 4. アプリケーションの維持管理 5. VRスコープの販売	1. アプリの利活用に向けた広報 2. 施設周遊用ARカードの配布 3. AR周知チラシの配布 4. アプリケーションの維持管理 5. VRスコープの販売	1. アプリの利活用に向けた広報 2. 施設周遊用ARカードの配布 3. AR周知チラシの配布 4. アプリケーションの維持管理 5. VRスコープの販売
	達成度 1 計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費	1,045	1,331
	国・県支出金		0
	地方債		
	その他	3	7
	一般財源	1,042	1,324
歳入合計		1,045	1,331

課題	方向性
○海外・国内の観光客の方にとって使いやすく魅力的なアプリ・コンテンツを構築し、多くの方に利用いただき、松江城天守への登閣者数、塩見縄手周辺の観光施設への周遊に繋げる工夫を盛り込む必要がある。 ○登閣者数に対するアプリ利用者の割合が低いので、アプリ自体の認知度向上をしていく必要がある。	○海外・国内向けの効果的なプロモーションを実施する。 ○利用者増に向け、ボランティアガイドや観光協会ガイド事業等と連携し、幅広い利活用を図る。 ○観光客はもとより、市民や県民にも再度松江城の歴史的価値や構造的特徴を知ってもらうために周知していく。

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	「松江城」「水の都松江」の強みを活かしたプロモーションとブランディング戦略

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容



R7節別当初予算額内訳 (千円)			
節名称	金額	節名称	金額
委託料	1,186		
使用料及び賃借料	145		
事業費計		1,331	

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
観光部観光振興課	中海・宍道湖・大山圏域市長会事業負担金（観光振興課）

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	本圏域は全国の主要都市圏に劣らぬ人口規模であり、多様な産業や国内外につながる交通・物流インフラを有している。これらの高いポテンシャルを最大限活用し、日本海側を代表する拠点づくりを進める。	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
	目標（何を達成するのか） 年間宿泊客数250万人、観光入込客数1,100万人を目指す。	松江市宿泊客数（万人）	178	219	227	250
		観光入込客数（万人）	873	1,020	1,040	1,100

事業概要	中海・宍道湖・大山圏域観光局が実施する観光振興事業に対する負担金 ○国内誘客対策事業（国内観光プロモーション、三大都市圏等への圏域PRプロジェクト、圏域観光再生支援プログラム） ○圏域観光の魅力アップ事業（観光客受け入れ体制の充実）
------	--

事業計画	R6実績見込	R7計画	R8計画
	○国内誘客対策事業 ○圏域観光の魅力アップ事業	○国内誘客対策事業 ○圏域観光の魅力アップ事業	○国内誘客対策事業 ○圏域観光の魅力アップ事業
	達成度		
1	計画目標に向けて順調に推移		

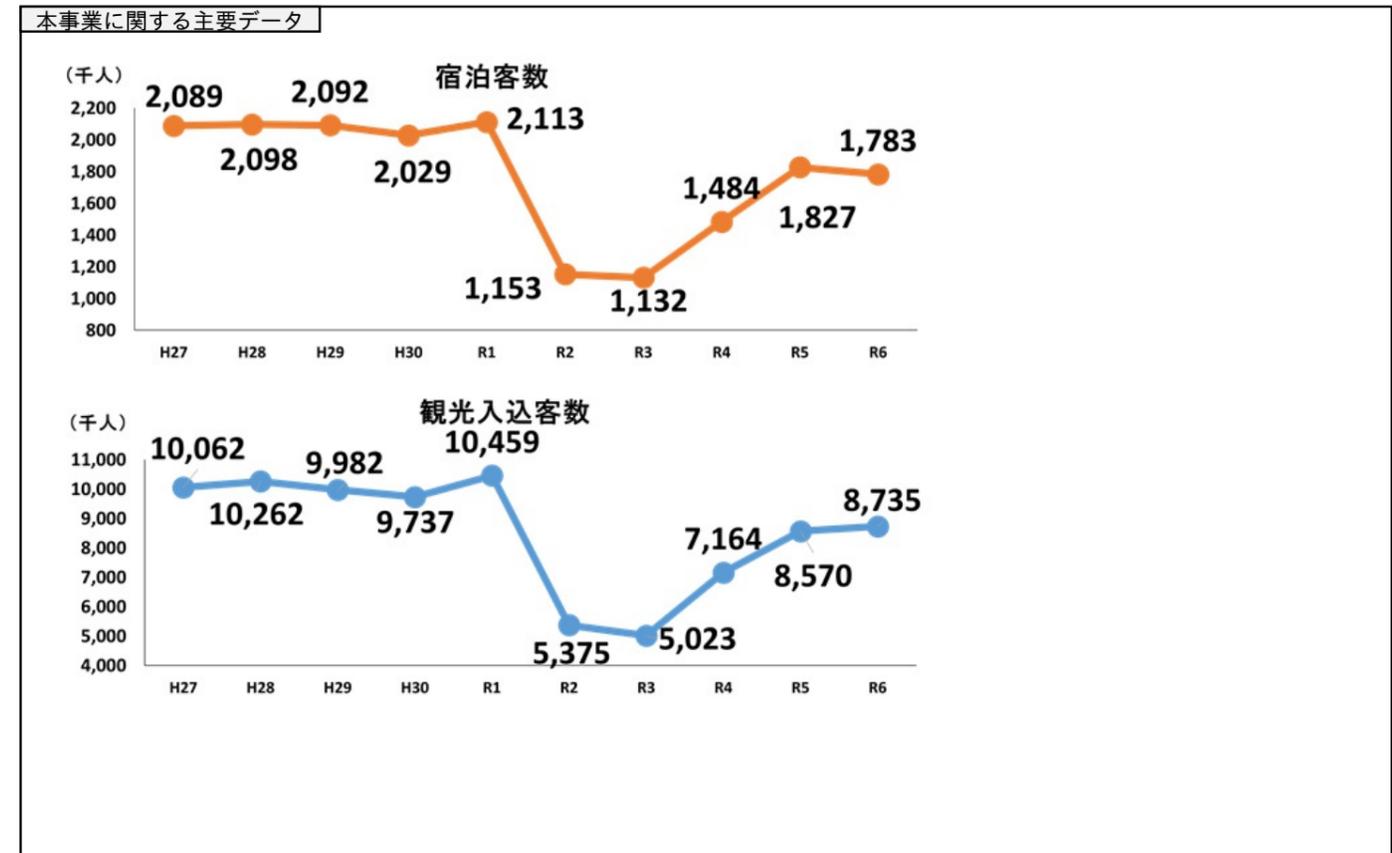
歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費	2,903	5,643
	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	2,903	5,643
歳入合計		2,903	5,643

課題	○圏域が有する多彩な観光資源を効果的に活用し、誘客につなげる必要がある	方向性	○圏域の魅力発信・誘客を図るため、5自治体、経済界、観光協会の連携を強化する
----	-------------------------------------	-----	--

観光部観光振興課 中海・宍道湖・大山圏域市長会事業負担金（観光振興課）

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	「松江城」「水の都松江」の強みを活かしたプロモーションとブランディング戦略

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容



R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	5,643		
事業費計			5,643

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
観光部観光振興課	観光推進体制強化事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	（一社）松江観光協会の運営体制を強化し、「観光地域づくり」の司令塔としての役割を担う自立性の高い組織を確立する。	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
		年間宿泊客数（万人）	178	219	227	250
目標（何を達成するのか）	観光消費額（億円）	600	666	687	750	
	年間宿泊客数250万人、観光消費額750億円を目指す。					

事業概要	（数値目標の目標年度） 観光宿泊客数：2029(R11)年、観光消費額：2029(R11)年
	MATSUE観光戦略プラン推進委員会において「MATSUE観光戦略プラン2023 - 2029」の進捗状況の評価・検証を行う。 （一社）松江観光協会の組織戦略に基づく組織体制の強化に対して財政的・人的支援を行う。

事業計画	R6実績見込	R7計画	R8計画
	○MATSUE観光戦略プラン推進委員会の開催（プランの進捗管理） ○令和6年度アクションプランの策定 ○松江観光協会の組織戦略に基づく組織体制強化の支援 ○新たな財源の確保に向けた検討（宿泊税導入・活用の検討）	○MATSUE観光戦略プラン推進委員会の開催（プランの進捗管理） ○令和7年度アクションプランの策定 ○松江観光協会の組織戦略に基づく組織体制強化の支援 ○宿泊税活用の検討	○MATSUE観光戦略プラン推進委員会の開催（プランの進捗管理） ○令和8年度アクションプランの策定 ○松江観光協会の組織戦略に基づく組織体制強化の支援 ○宿泊税活用の検討
	達成度		
	1	計画目標に向けて順調に推移	

財源内訳	歳入・歳出の推移(単位：千円)	
	R6 決算見込	R7 当初予算
事業費	13,126	25,518
国・県支出金	6,495	5,967
地方債	0	0
その他	0	0
一般財源	6,631	19,551
歳入合計	13,126	25,518

課題	方向性	○「MATSUE観光戦略プラン2023 - 2029」の将来像を具現化するための組織づくり。
		○「MATSUE観光戦略プラン2023 - 2029」を市民や観光関係事業者等と共有し、地域一体となった観光振興の機運を醸成する。 ○（一社）松江観光協会の組織戦略に基づき、観光協会と行政との役割の整理、専門人材の確保やプロパー職員の採用、DMO化による組織体制の強化などの取組を支援する。

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	「松江城」「水の都松江」の強みを活かしたプロモーションとブランディング戦略

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	通年	松江観光協会の組織体制強化支援		
	7月	MATSUE観光戦略プラン推進委員会の開催（1回目）		
	3月	MATSUE観光戦略プラン推進委員会の開催（2回目）		

本事業に関する主要データ

（一社）松江観光協会の運営体制を強化し、データに基づく戦略を実行できる自立性の高い組織を確立することで、「観光地域づくり」の司令塔としての役割を担う。

目指すべき組織（観光庁の登録DMO）

観光地域づくり法人（DMO）：
Destination Management/Marketing Organization

地域の多様な関係者を巻き込み、各種データに基づくアプローチを取り入れた、観光地域づくりの舵取り役となる法人

出典：観光庁ホームページ

体制強化の目的

- 観光振興によって地域の活性化を図るためには、多様化する旅行ニーズへの対応、インバウンド需要の取込みなどにより、地域の「稼ぐ力」を引き出すことが重要
- その司令塔（DMO）の役割を、（一社）松江観光協会が担うため、3年かけて組織体制を段階的に強化

スケジュール（令和6～8年度）

- マーケティング機能の導入・強化
客観的なデータに基づく戦略を策定・実行し、より効果的な観光誘客につなげる
- 専門人材の配置
戦略官(CSO)及びマーケティング責任者(CMO)を観光協会内に配置
- プロパー職員の確保・育成
中・長期的な観光戦略を実行するため、新たにプロパー職員を雇用
- 「地域DMO」への登録
観光地域づくりの司令塔として自立性の高い組織へ

R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報償費	163		
旅費	296		
需用費	44		
使用料及び賃借料	80		
負担金補助及び交付金	24,935		
事業費計		25,518	

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
観光部観光振興課	城下町・水の都魅力発信事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	観光戦略プランのコンセプト「Authentic Japan “MATSUE” ～城下町 水の都 暮らしに息づく伝統～」にある「城下町」「水の都」にスポットを当て、ブランド力向上を図る。	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
		年間宿泊客数（万人）	178	219	227	250
目標（何を達成するのか）	観光入込客数（万人）	873	1,020	1,040	1,100	
	年間宿泊客数250万人、観光入込客数1100万人を目指す。					

事業概要	(数値目標の目標年度) 観光宿泊客数：2029(R11)年、観光入込客数：2029(R11)年
	令和5年2月に策定した観光戦略プランを強力に推進するため、コンセプトである「Authentic Japan “MATSUE” ～城下町 水の都 暮らしに息づく伝統～」にある「城下町」や「水の都」にスポットを当てた事業を展開し、松江市の魅力を最大限に活用した観光振興を図る。

事業計画	R6実績見込	R7計画	R8計画
	○桜と武者のシーズン開催(3～4月) 桜木のライトアップ、武者をテーマとしたイベント ○松江城ステージイベント 歌舞伎俳優・尾上右近主演のステージイベント ○武者のまち発信事業 松江城での武者によるおもてなし ○情報発信事業 松江の夕日のブランディング事業、俳優・溝端淳平を起用した電子雑誌「旅色」による情報発信 ○AIを活用した周遊促進事業 JR西日本と連携し、周遊促進を目的にした観光アプリの活用	松江城天守国宝指定10周年の節目を契機とした誘客促進を図る ○桜と武者のシーズン開催(3～4月) 桜木のライトアップ、武者をテーマとしたイベント ○特別版お城EXPO in 松江 お城好きの祭典「お城EXPO」の特別版を松江で開催(6月) ○松江城雲海ライトアップ 人工雲海とライトアップで松江城を華麗に彩る ○武者のまち発信事業 松江城での武者によるおもてなし	国宝松江城とその城下町、宍道湖の夕日など本市が誇る魅力的な観光資源を活用したイベント・企画、プロモーションを実施する。
	達成度		
	1	計画目標に向けて順調に推移	

歳入・歳出の推移(単位：千円)	R6	R7
	決算見込	当初予算
事業費	59,673	68,987
国・県支出金	29,836	34,493
地方債		
その他		0
一般財源	29,837	34,494
歳入合計	59,673	68,987

課題	○国内外における知名度不足 ○魅力ある観光資源のPR不足	方向性	○ユニークで多彩な観光資源を活用した事業を展開するとともに、マーケティング・プロモーションの強化を図る。 ○松江ならではの魅力ある観光素材の磨き上げ

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	「松江城」「水の都松江」の強みを活かしたプロモーションとブランディング戦略

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	通年	松江城での武者によるおもてなし		
	春	桜と武者のシーズン2025		
	6月	特別版お城EXPO in 松江		
	夏	松江城雲海ライトアップ		

本事業に関する主要データ



R7節別当初予算額内訳 (千円)			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	68,987		
事業費計			68,987

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
観光部観光振興課	松江水郷祭補助金

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	市民の祭りとして定着している松江水郷祭を日本有数の花火大会として県外へPRし観光誘客を図る。	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
		年間宿泊客数(万人)	178	219	227	250
目標（何を達成するのか）	観光入込客数(万人)	873	1,020	1,040	1,100	
年間宿泊客数250万人、観光入込客数1,100万人を目指す。						

（数値目標の目標年度）
観光宿泊客数：2029(R11)年、観光入込客数：2029(R11)年

○夏の風物詩として長きにわたって市民に親しまれ、本市最大の人出で賑わうイベントである松江水郷祭は、観光誘客や賑わいの創出により地域の活性化につながっている。
○松江水郷祭を主催する松江水郷祭推進会議（松江市・商工会議所・松江観光協会・青年会議所ほか）に補助金を交付する。
○令和5年度から日本有数の花火大会を目指し、花火の発数と有料観覧席数を大幅に拡大し、開催している。

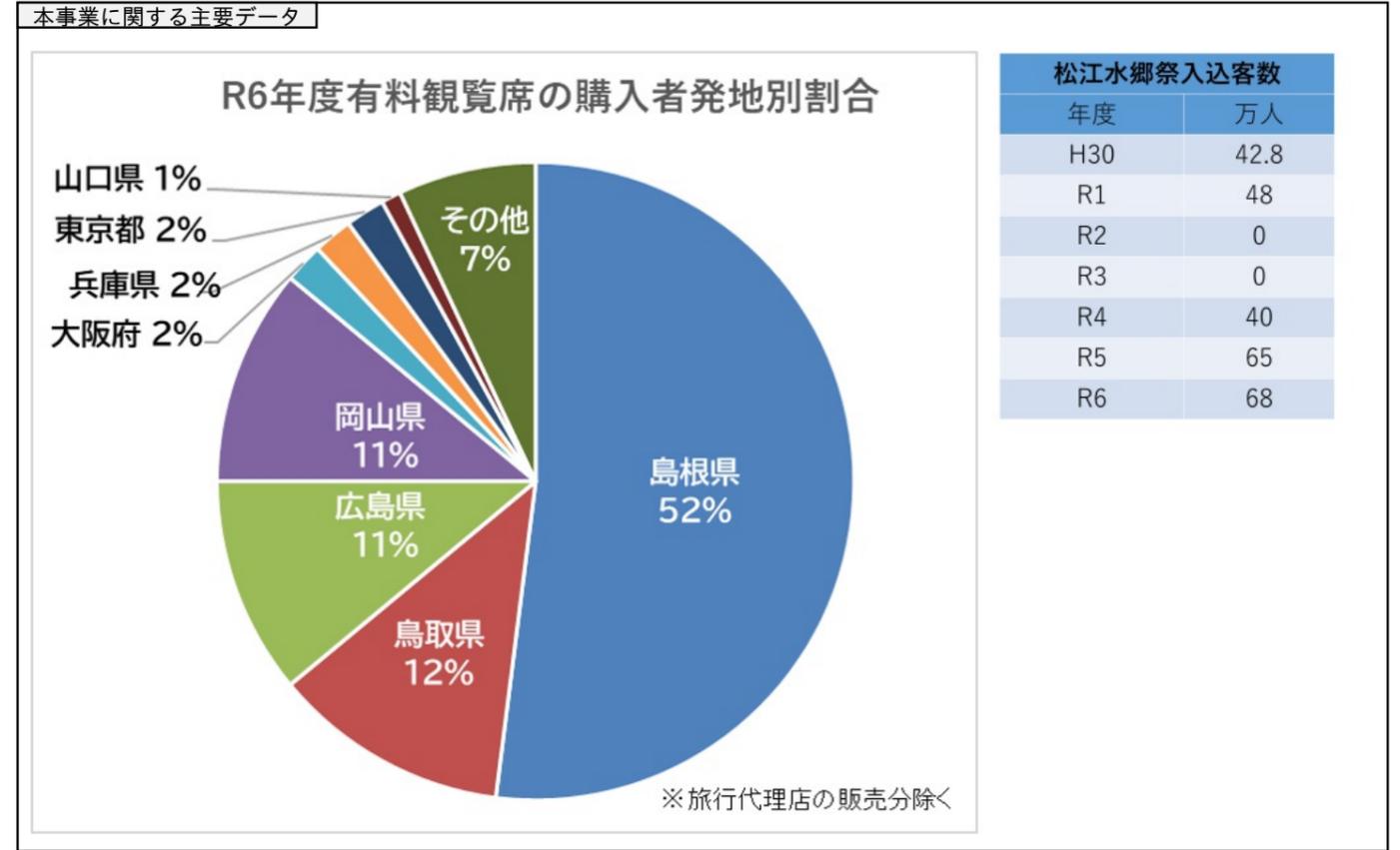
事業計画	R6実績見込	R7計画	R8計画
	<p>○開催日：8月3日(土)・4日(日)</p> <p>○内容：安定的な財源の確保など持続可能な開催モデルを検討するため、社会実験として実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 湖上花火大会（3日10,000発・4日11,000発） 松江だんだんまつり 500機のドローンによるスペシャルドローンショー 商店街イベントなど 有料観覧席（両日約13,000席、料金：一人当たり2,000円～、販売方法：インターネット、コンビニ販売等） <p>※販売実績は、2日間合計約26,000席の8割となり、昨年度に比べ向上している。</p> <p>○入込客数：2日間で68万人</p>	<p>○開催日：8月2日(土)・3日(日)</p> <p>○内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> 湖上花火大会（花火の発数は2024開催と同程度） ドローンショーの開催 関連イベントの開催 有料観覧席（R6の有料観覧席を基本に見直し予定） 	<p>○開催日：未定</p> <p>○内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> 湖上花火大会 関連イベントの開催 有料観覧席（R7開催の結果等を踏まえて検討）
達成度			
1 計画目標に向けて順調に推移			

歳入・歳出の推移(単位：千円)	R6	R7
	決算見込	当初予算
事業費	24,819	17,000
国・県支出金	0	0
地方債	0	0
その他	0	0
一般財源	24,819	17,000
歳入合計	24,819	17,000

課題	方向性
<p>○安定的な財源の確保</p> <p>○有料観覧席の販売が8割程度に留まっている点</p> <p>○花火の見え方のエリア格差</p>	<p>○花火の魅力を高め、日本有数の花火大会を目指す</p> <p>○安定的な財源を確保するため、有料観覧席を設置</p> <p>○有料観覧席の完売に向けたPR及び営業活動の強化</p> <p>○市民が誇れる祭に育てるとともに、更なる観光誘客と賑わい創出により地域経済の活性化を図る</p>

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	城下町文化など豊かな歴史文化、自然を活かした魅力向上

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	2月～3月	松江水郷祭推進会議		
	8月2日、3日	松江水郷祭		
	10月～12月	松江水郷祭推進会議		



R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	17,000		
事業費計			17,000

令和7年度 総合計画実施計画

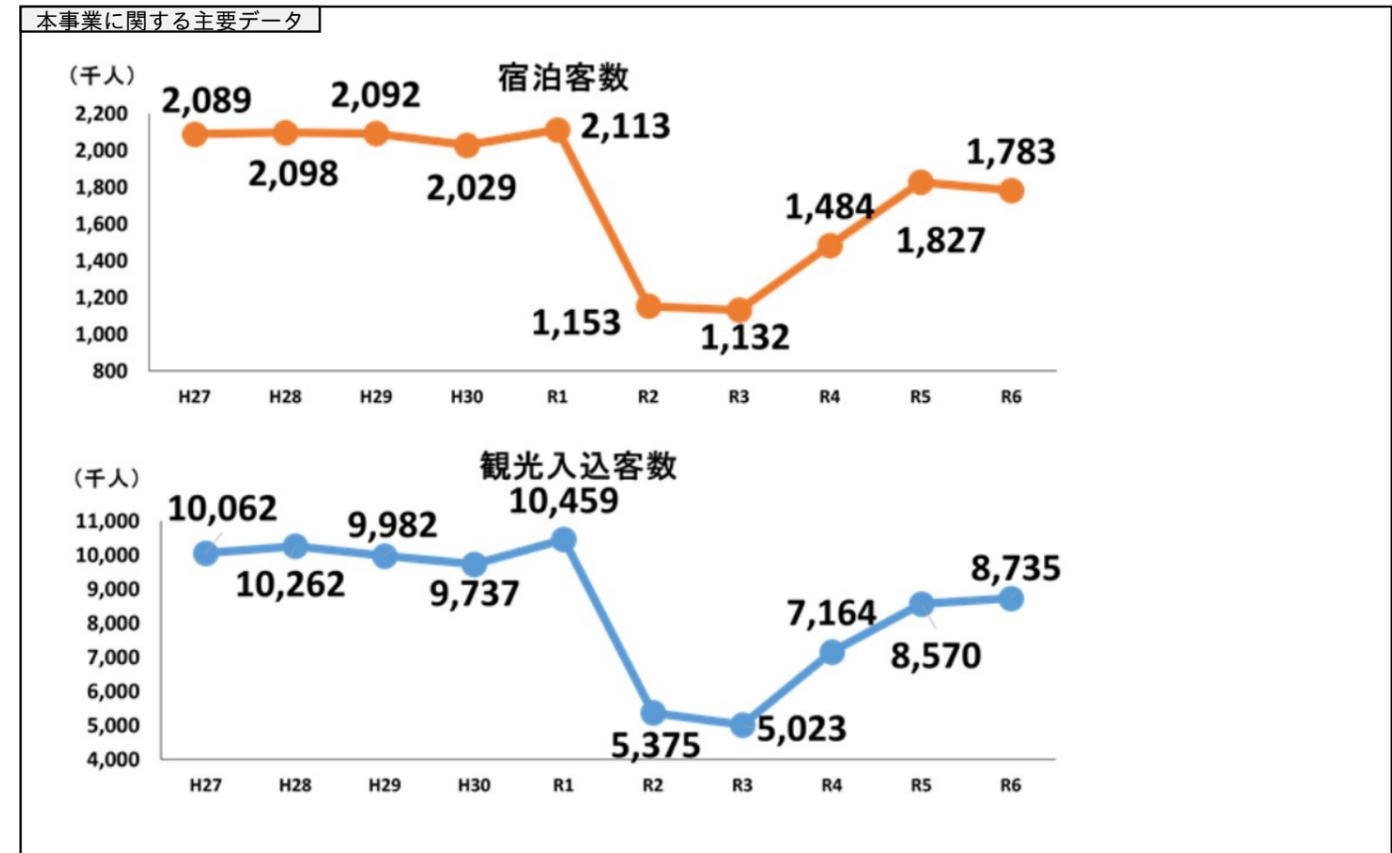
所属	事業名
観光部観光振興課	松江武者行列事業費

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	城下町文化など豊かな歴史文化、自然を活かした魅力向上

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	桜咲く春の城下町ならではの時代行列など、歴史を感じる行事を行うことで、城下町松江の観光PRにつなげ、観光誘客を図る。	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
		年間宿泊客数（万人）	178	219	227	250
目標（何を達成するのか）	観光入込客数（万人）	873	1,020	1,040	1,100	
	年間宿泊客数250万人、観光入込客数1,100万人を目指す。					

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容

事業概要	(数値目標の目標年度) 年間宿泊客数：2029（R11）年、観光入込客数：2029（R11）年
	平成15年度より、堀尾吉晴公とその一行が松江城に入城するシーンを表現した市民参加型イベント。毎回、前年度に参加者募集、練習会、着付け講習会などを実施し、本番に向けた準備を行う。お城まつりに合わせ武者をテーマにイベントを実施し誘客を図る。 ※H31年度：観客数14万人、行列参加者数255人



事業計画	R6実績見込	R7計画	R8計画
	○武者行列開催 ○行列本番前後での関連企画の実施	○武者行列開催 ○行列本番前後での関連企画の実施	○武者行列開催 ○行列本番前後での関連企画の実施
	達成度		
	1	計画目標に向けて順調に推移	

歳入・歳出の推移(単位：千円)	R6	R7
	決算見込	当初予算
事業費	12,400	14,000
国・県支出金		0
地方債		
その他		0
一般財源	12,400	14,000
歳入合計	12,400	14,000

R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	14,000		
事業費計			14,000

課題	○城下町松江のPRや観光誘客につながるよう、イベントの魅力向上を図る必要がある。	方向性	○市民や観光事業者と連携し、より効果的な誘客イベントとなるよう見直しを行う。
----	--	-----	--

令和7年度 総合計画実施計画

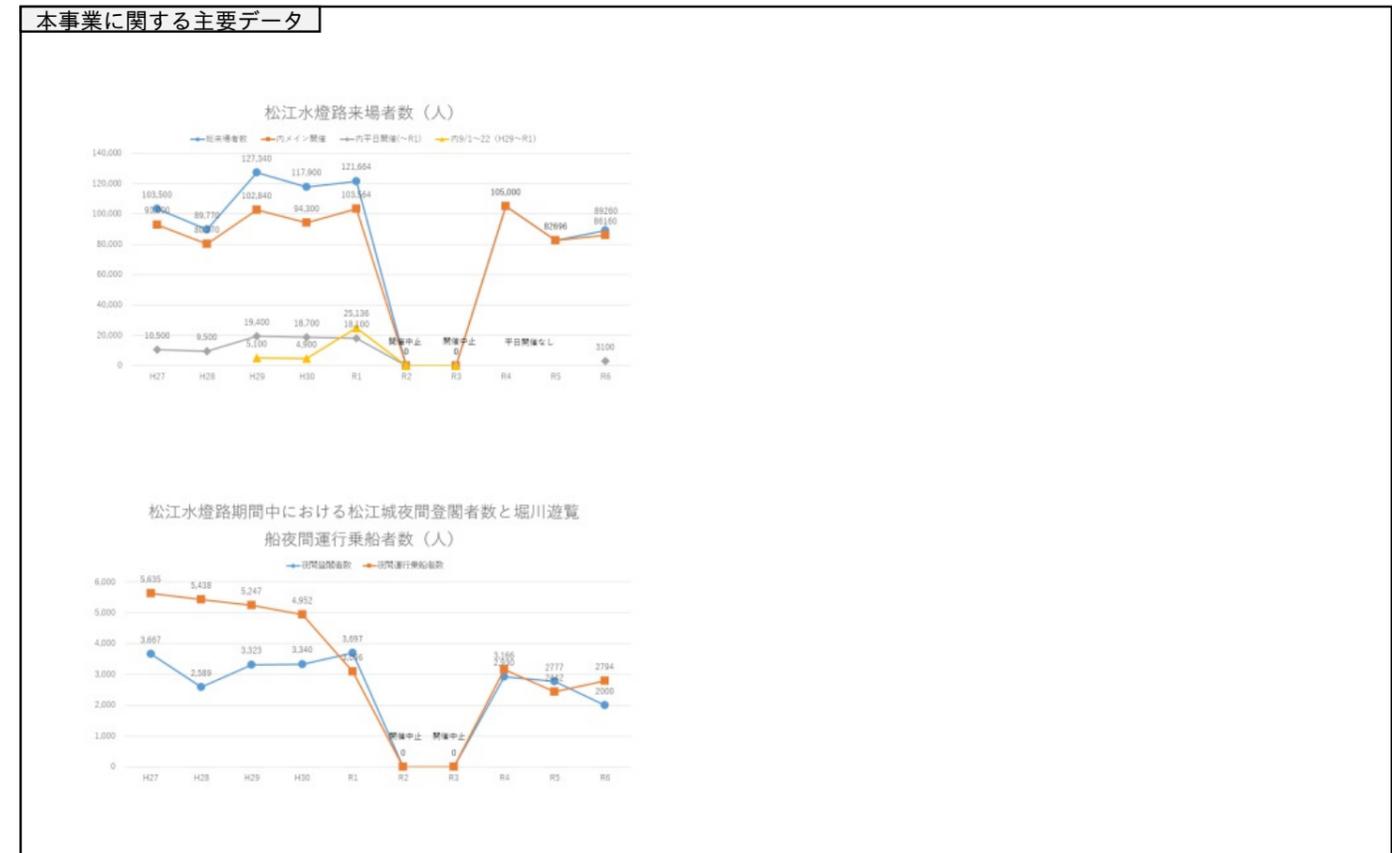
所属	事業名
観光部観光振興課	松江水燈路事業費

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	城下町文化など豊かな歴史文化、自然を活かした魅力向上

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	城下町松江の夜の賑わいを創出し、宿泊客数の増加及び夜の消費喚起につなげる	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
		年間宿泊客数（万人）	178	219	227	250
	目標（何を達成するのか）	観光入込客数（万人）	873	1,020	1,040	1,100
年間宿泊客数250万人、観光入込客数1,100万人を目指す。						

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	9月下旬	イベント開始		
	10月下旬	イベント終了		

事業概要	（数値目標の目標年度） 年間宿泊客数：2029（R11）年、観光入込客数：2029（R11）年
	松江城周辺のライトアップ、市民の手作り行灯などで灯りの演出を行うとともに、音楽や伝統芸能などのイベント、屋台などによる賑わい創出を行う。



事業計画	R6実績見込	R7計画	R8計画
	<灯りの演出> ○松江城や塩見縄手のライトアップ ○市民の手作り行灯設置、コンテスト実施 ○アーティスト行灯の設置 <賑わいづくり> ○イベント実施（音楽、伝統芸能など） ○整行列前夜祭ほか ○屋台設置	<灯りの演出> ○松江城周辺のライトアップ ○市民の手作り行灯設置、コンテスト実施 ○アーティスト行灯の設置 <賑わいづくり> ○イベント実施（音楽、伝統芸能など） ○整行列前夜祭ほか ○屋台設置	<灯りの演出> ○松江城周辺のライトアップ ○市民の手作り行灯設置、コンテスト実施 ○アーティスト行灯の設置 <賑わいづくり> ○イベント実施（音楽、伝統芸能など） ○整行列前夜祭ほか ○屋台設置
	達成度		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費	22,000	22,000
	国・県支出金		7,000
	地方債		
	その他		0
	一般財源	22,000	15,000
歳入合計		22,000	22,000

R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	22,000		
事業費計		22,000	

課題	方向性
○訪れた観光客の満足度を高めるため、更なる磨き上げが必要	○観光客の満足度アップを図るため、イベント内容の検討を行う。 ○夜の賑わい創出に向け、各種団体、観光事業者等との連携を図る。

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
観光部観光振興課	松江境港隠岐観光振興促進事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	松江・境港・隠岐を一つの圏域ととらえ、一体となって観光誘客を図る。	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
	年間宿泊客数（万人）	178	219	227	250	
	目標（何を達成するのか）					
境港市及び隠岐4町村との連携強化及び松江市への誘客数増加 年間宿泊客数250万人、観光入込客数1,100万人	観光入込客数（万人）	873	1,020	1,040	1,100	

事業概要	<p>（数値目標の目標年度）年間宿泊客数：2029（R11）年、観光入込客数：2029（R11）年</p> <p>松江市、境港市、隠岐の島町、海士町、西ノ島町、知夫村の6市町村で松江境港隠岐観光振興協議会を組織し、連携したプロモーションを実施する。</p>
------	--

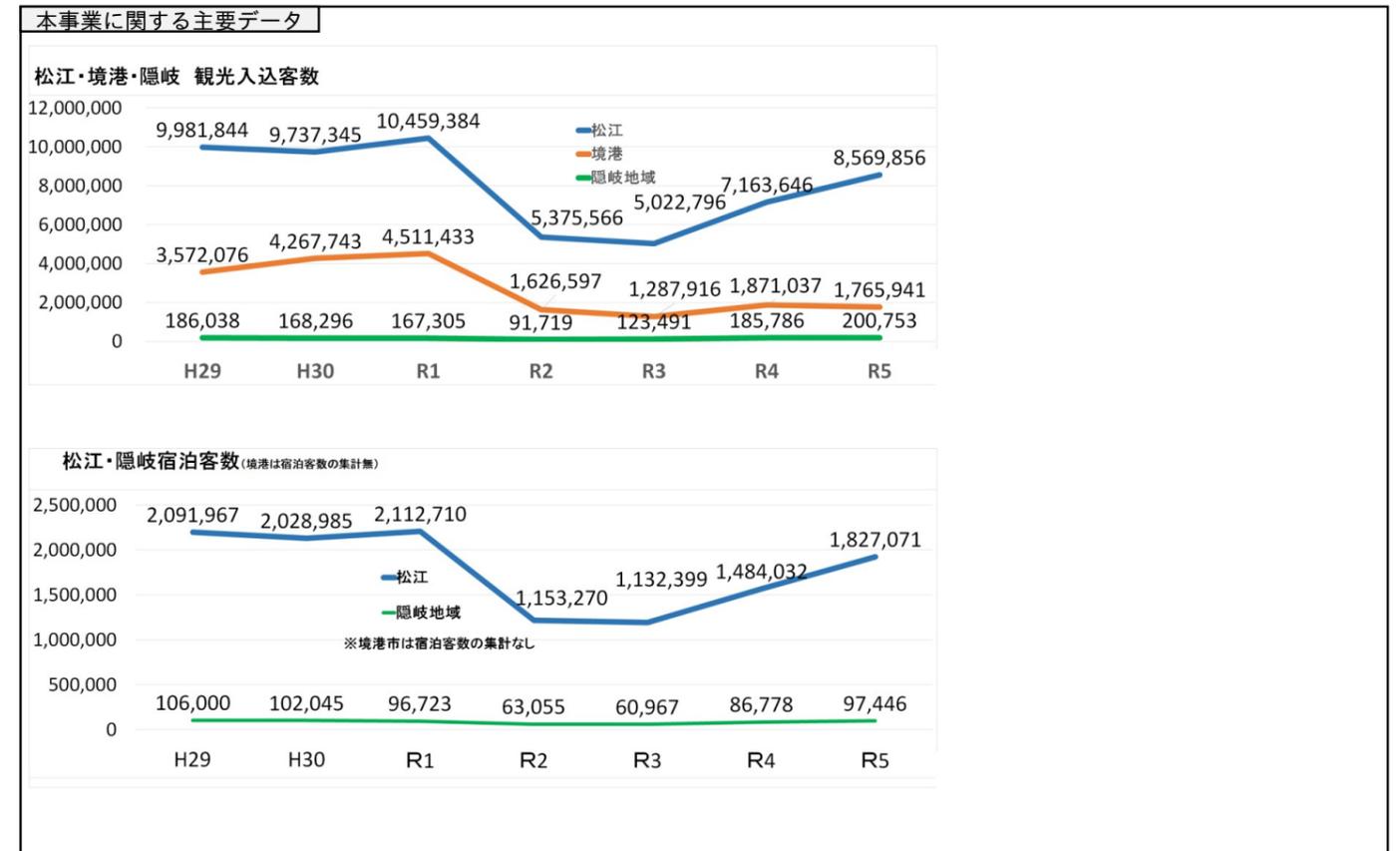
事業計画	R6実績見込	R7計画	R8計画
	○自然、文化歴史、食の観光素材を生かした魅力発信	○自然、文化歴史、食の観光素材を生かした魅力発信	○自然、文化歴史、食の観光素材を生かした魅力発信
	達成度		
1	計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費	380	397
	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	380	397
歳入合計		380	397

課題	松江、境港から隠岐への旅につなげる効果的な情報発信が必要。	方向性	協議会との連携を強化し、効果的な誘客企画を実施する。
----	-------------------------------	-----	----------------------------

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	城下町文化など豊かな歴史文化、自然を活かした魅力向上

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	6月	総会		
	6月	松江ゴーストツアーin隠岐		
	6月	お城EXPOin松江出展		



R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
旅費	97		
負担金補助及び交付金	300		
事業費計		397	

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
観光部観光振興課	嫁ヶ島活用事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	嫁ヶ島を活用した観光振興事業を実施するほか、松江市内での滞在時間の延長、宿泊客の増加を目的として、夜の観光の魅力づくりの一環として水の都・松江らしい景観を演出するために嫁ヶ島のライトアップするもの。	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
		年間宿泊客数（万人）	178	219	227	250
	目標（何を達成するのか）	観光入込客数（万人）	873	1,020	1,040	1,100
	年間宿泊客数250万人、観光入込客数1,100万人を目指す。					

事業概要	<p>（数値目標の目標年度）年間宿泊客数：2029（R11）年、観光入込客数：2029（R11）年</p> <ol style="list-style-type: none"> 嫁ヶ島への渡航イベントやPR事業など嫁ヶ島を活用した観光振興事業に補助。 <ul style="list-style-type: none"> 歩いて渡る嫁ヶ島（8月） 万灯会（9月） 仲秋の嫁ヶ島（10月） 嫁ヶ島ライトアップ常設化に伴いライトアップを実施（4月～11月）するための渡船と発電、及び機器の管理を業務委託。
------	--

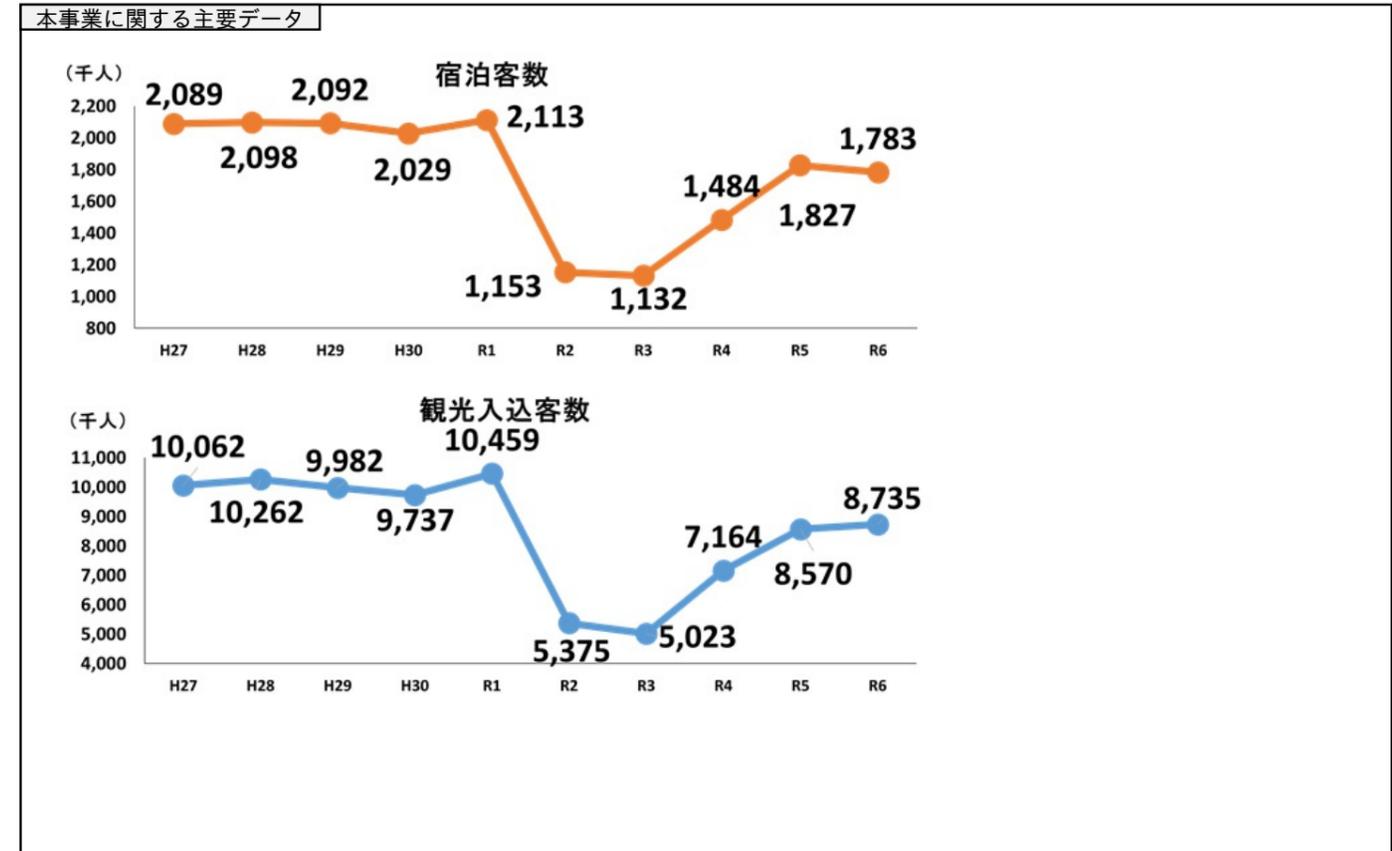
事業計画	R6実績見込	R7計画	R8計画
	<ul style="list-style-type: none"> 嫁ヶ島を活用したイベントを季節ごとに開催。 万灯会、歩いて渡る嫁ヶ島、仲秋の嫁ヶ島 嫁ヶ島の草刈など環境保護の活動実施。 常設ライトアップ（4月～11月末）の点灯・維持管理業務委託 	<ul style="list-style-type: none"> 嫁ヶ島を活用したイベントを季節ごとに開催。 万灯会、歩いて渡る嫁ヶ島、仲秋の嫁ヶ島 嫁ヶ島の草刈など環境保護の活動実施。 常設ライトアップ（4月～11月末）の点灯・維持管理業務委託 	<ul style="list-style-type: none"> 嫁ヶ島を活用したイベントを季節ごとに開催。 万灯会、歩いて渡る嫁ヶ島、仲秋の嫁ヶ島 嫁ヶ島の草刈など環境保護の活動実施。 常設ライトアップ（4月～11月末）の点灯・維持管理業務委託
	達成度		
1	計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費	2,702	3,000
	国・県支出金	1,350	1,007
	地方債		
	その他		0
	一般財源	1,352	1,993
	歳入合計	2,702	3,000

課題	<ul style="list-style-type: none"> 嫁ヶ島を中心とした観光イベントを行い、水郷祭、大茶会、水燈路など市のイベントとの連携した事業で、嫁ヶ島の観光活用を図る。 市も連携してPRなどの取り組みを行い、更なる集客を図る必要がある。 	方向性	<ul style="list-style-type: none"> 嫁ヶ島の景観維持・観光活用を目的に行われる各種事業を広く市民や観光客にPRし、水の都松江の観光スポットとしての活用を図っていく。 大橋川の改修にともない水辺の利活用について、さまざまな検討、取り組みがなされており、関係する団体との連携を図っていく。
----	---	-----	---

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	城下町文化など豊かな歴史文化、自然を活かした魅力向上

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月～11月	嫁ヶ島ライトアップ		
	8月	歩いて渡る嫁ヶ島		
	9月	万灯会		
	10月	仲秋の嫁ヶ島		



R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
委託料	1,500		
負担金補助及び交付金	1,500		
事業費計			3,000

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
観光部観光振興課	松江しんじ湖温泉振興事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	松江しんじ湖温泉のブランド力向上と温泉街の環境整備を行い、観光誘客を促進する。	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
		年間宿泊客数（万人）	178	219	227	250
目標（何を達成するのか）	年間宿泊客数250万人の達成、観光入込客数1,100万人を目指す。	873	1,020	1,040	1,100	

事業概要	（数値目標の目標年度） 年間宿泊客数：2029(R11)年、観光入込客数：2029(R11)年
	松江しんじ湖温泉の情報発信及び温泉街の環境整備を実施する2団体に補助金交付 ○松江しんじ湖温泉旅館協議会 ○松江しんじ湖温泉振興協議会 松江しんじ湖温泉まちづくり計画の実施に向けた補助金交付

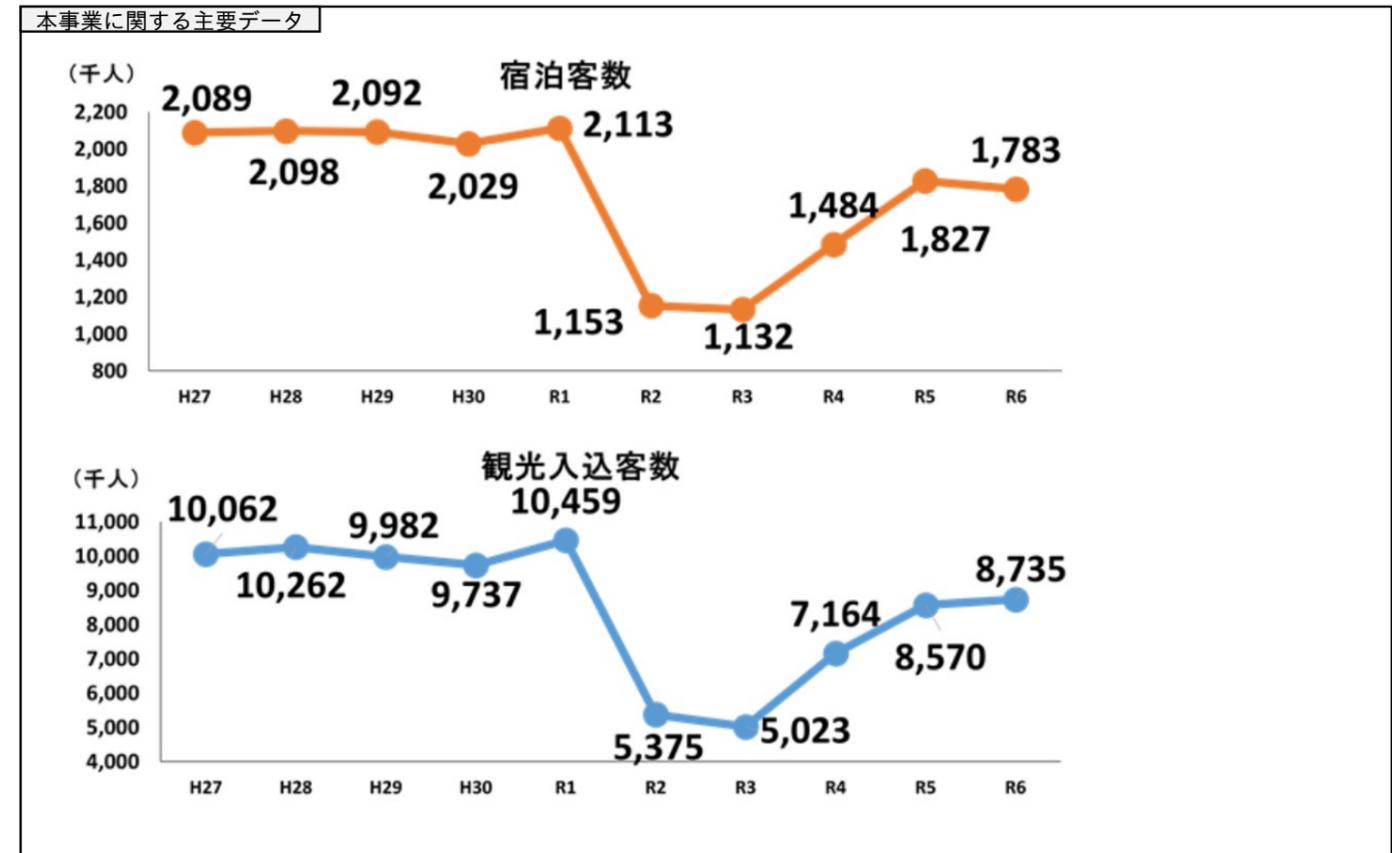
事業計画	R6実績見込	R7計画	R8計画
	○宣伝広告事業 ○温泉街環境整備（街灯・足湯・植栽管理） ○温泉駅での看板広告設置 ○松江しんじ湖温泉まちづくり計画に基づく事業（PRキャラバン、全従業員を対象とした救命講習、モニターツアー（車いす以外）の実施、統一した食材の提供と発信等）	○宣伝広告事業 ○温泉街環境整備（街灯・足湯・植栽管理） ○温泉駅での看板広告設置 ○松江しんじ湖温泉まちづくり計画に基づく事業（PRキャラバン、高付加価値化事業と連携した情報発信、統一した食材の提供と発信、WEBページの改修等）	○宣伝広告事業 ○温泉街環境整備（街灯・足湯・植栽管理） ○温泉駅での看板広告設置 ○松江しんじ湖温泉まちづくり計画に基づく事業
	達成度 1 計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)	R6	R7
	決算見込	当初予算
事業費	2,922	2,922
国・県支出金	0	0
地方債	0	0
その他	0	2,922
一般財源	2,922	0
歳入合計	2,922	2,922

課題	方向性
○松江しんじ湖温泉の宿泊客数の増につなげるため、ブランド力を高める必要がある。	○宿泊施設等との連携を図り、ユニバーサルツーリズムの推進を通じた効果的な誘客企画やプロモーションを実施する。

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	城下町文化など豊かな歴史文化、自然を活かした魅力向上

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	通年	松江しんじ湖温泉に関するプロモーション		
	通年	温泉街の環境整備等		



R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	2,922		
事業費計			2,922

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
観光部観光振興課	島根半島等地域魅力発信事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	島根町・美保関町など半島部の観光資源を活かし、観光誘客を図る。	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
		年間宿泊客数（万人）	178	219	227	250
目標（何を達成するのか）	観光入込客数（万人）	873	1,020	1,040	1,100	
年間宿泊客数250万人、観光入込客数1,100万人を目指す。						

（数値目標の目標年度）年間宿泊客数：2029（R11）年、観光入込客数：2029（R11）年

島根町・美保関町など半島部の観光資源を活かした観光誘客を図るために、行政、地元の関係団体で組織する大山隠岐国立公園満喫プロジェクト島根半島東部協議会の取組み（ソフト事業）に対し補助金を交付する。

事業計画	R6実績見込	R7計画	R8計画
	○「大山隠岐国立公園ステップアッププログラム2025」に沿った事業の実施 ・情報発信事業 ・観光客受入環境整備事業 ・島根町・美保関町それぞれ各地域で行われる取組への支援事業	○「大山隠岐国立公園ステップアッププログラム2025」に沿った事業の実施 ・情報発信事業 ・観光客受入環境整備事業 ・島根町・美保関町それぞれ各地域で行われる取組への支援事業	○「大山隠岐国立公園ステップアッププログラム2030」に沿った事業の実施 ・情報発信事業 ・観光客受入環境整備事業 ・島根町・美保関町それぞれ各地域で行われる取組への支援事業
達成度	1 計画目標に向けて順調に推移		

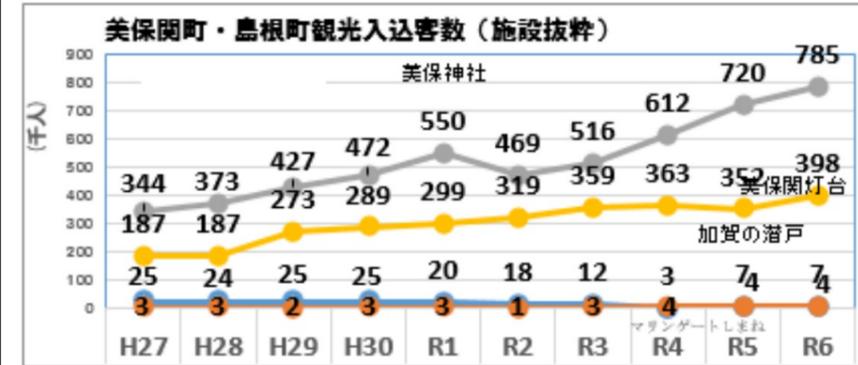
歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費	2,000	2,000
	国・県支出金		0
	地方債		
	その他		2,000
	一般財源	2,000	0
歳入合計		2,000	2,000

課題	方向性
○観光客受入環境の整備、地元関係団体との連携強化が必要 ○島根半島・宍道湖中海ジオパークの事業との連携を図る必要がある	○地元関係団体等との連携を図り、効果的なプロモーションや誘客企画、受入環境整備を進める

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	城下町文化など豊かな歴史文化、自然を活かした魅力向上

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	6月	総会開催		
	3月	満喫プロジェクト親会議		

本事業に関する主要データ



R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	2,000		
事業費計			2,000

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
文化スポーツ部文化振興課	ジオパーク推進事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	ジオパークの取組を通じて、大地の成り立ちと生態系、歴史文化を学び、見つめ直すことで、ふるさとへの誇りと愛着を高める。	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
	目標（何を達成するのか） ・地球の貴重な遺産をまもり、次世代に引き継ぐ。 ・持続可能な地域づくりのために挑戦する人材を育てる。 ・多くの来訪客にジオ・エコ・ヒトを伝えることで、地域振興や観光振興につなげる。	松江ビジターセンター年間来場者数（人）	6,190	6,200	6,300	6,600
		認定ガイド総数（延べ人数）	62	80	85	100
	ジオサポーター年間登録者数（人）	342	465	470	500	

事業概要

（数値目標の目標年度）
 項目名 松江ビジターセンター年間来場者数：2029(令和11)年度
 項目名 認定ガイド総数：2029(令和11)年度
 項目名 ジオサポーター年間登録者数：2029(令和11)年度

・本ジオパークは、ふるさとへの誇りと愛着を高め、人材育成を促進するため、保全・保護や教育などの活動に取り組むとともに、観光や産業などの地域振興につなげる活動に取り組んでいる。神話の地ならではの「出雲国風土記の自然と歴史に出会う大地」をテーマに、推進行動計画（計画期間：令和4～7年度）にもとづき、官民挙げた取り組みを推進していく。
 ・令和7年度は、4年に一度行われる日本ジオパーク再認定審査に対応するとともに、次期推進行動計画（計画期間：令和8～11年度）を策定する。

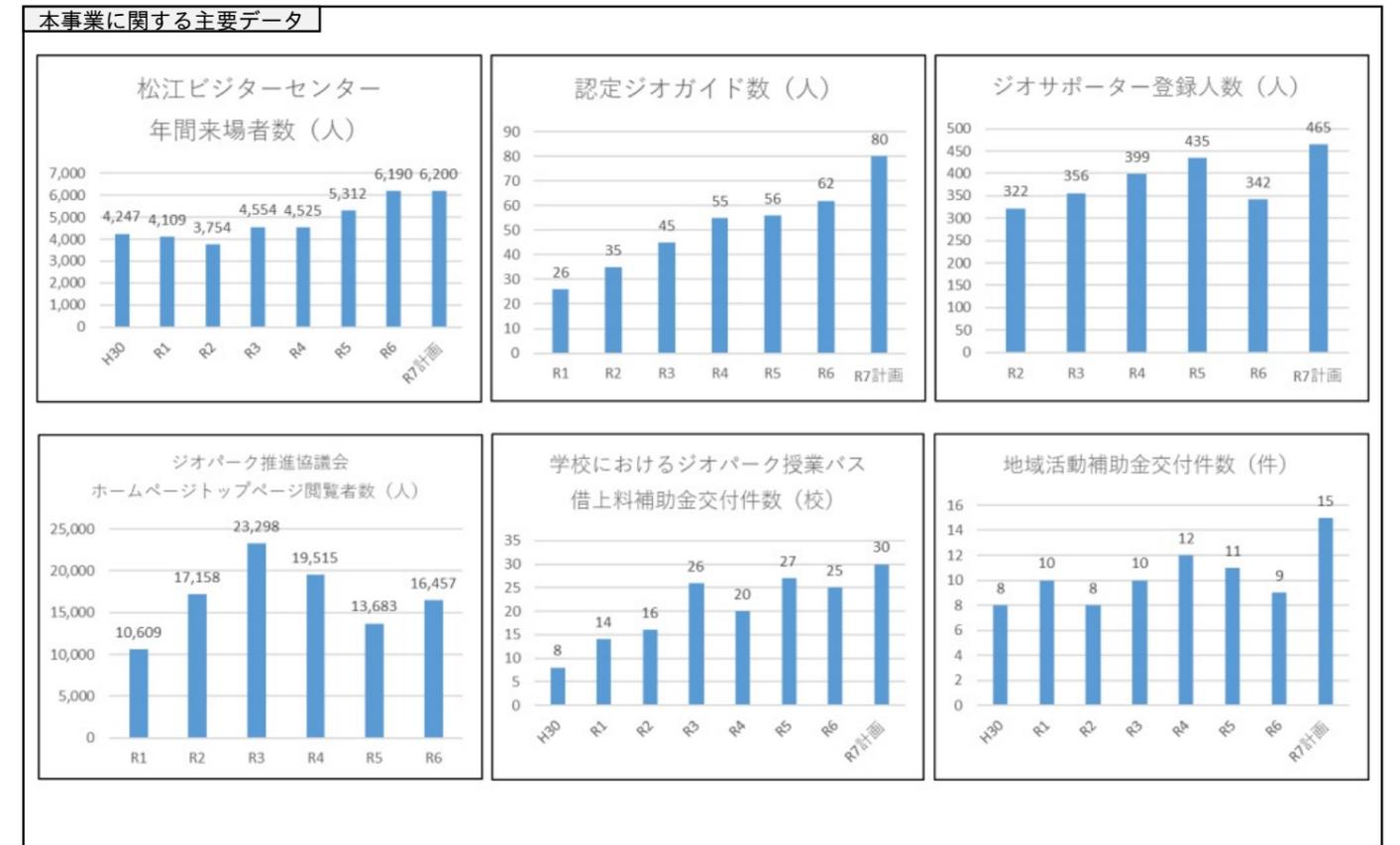
事業計画	R6実績見込	R7計画	R8計画
	・観光客向けジオツアー造成・販売（2本） ・地元向け自然体験イベントの開催（1本） ・ショッピングセンターでのイベント開催（2回） ・ジオパークフォトコンテストの実施 ・看板整備（5基新設） ・パートナーシップ協定締結（令和6年度5団体、累計16団体と締結） ・ジオガイドの養成、スキルアップ講座の開催 など	・日本ジオパーク再認定審査の策定 ・次期推進行動計画（令和8～11年度）の策定 ・ジオツアー、自然体験イベントの開催 ・学術研究奨励事業補助金研究報告会の開催 ・パートナーシップ協定締結 ・ジオガイドの養成、スキルアップ講座の開催 など	・ジオツアー、自然体験イベントの開催 ・会報誌の発刊 ・ジオガイドの養成、スキルアップ講座の開催 ・学術研究奨励事業補助金研究報告会の開催 など
	達成度		
	1	計画目標に向けて順調に推移	

歳入・歳出の推移(単位：千円)	R6	R7
	決算見込	当初予算
事業費	10,935	11,492
国・県支出金	0	0
地方債		
その他	10,935	11,492
一般財源	0	0
歳入合計	10,935	11,492

課題	方向性
<ul style="list-style-type: none"> ・地域内外からの観光誘客の促進 ・ブランディング戦略にもとづくジオパークの認知度向上とブランド価値の定着 ・保安全管理計画にもとづく保全活動の推進 ・より多くのジオパークサポーターを募ることでの自主財源の獲得 ・全国のジオパークとの連携強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度末で計画期間が満了となる推進行動計画の進捗状況と、令和7年度日本ジオパーク再認定審査での指摘事項をふまえ、令和8～11年度の計画期間で次期推進行動計画を策定する。 ・本計画にもとづき、松江・出雲両市の連携を図り、島根大学などの教育機関や地域団体・住民、企業、全国のジオパークなどの協力を得ながら着実に活動を展開し、観光振興や地域振興につなげていく。

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	城下町文化など豊かな歴史文化、自然を活かした魅力向上

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	7,9,11月	小泉八雲をテーマとしたジオツアー	10月	日本ジオパーク再認定審査の現地調査
	8月	立久恵での自然体験イベント	～3月	次期推進行動計画の策定
	9月	日本ジオパーク再認定審査の活動報告書提出	通年	パートナーシップ協定締結
	9月	島根町野井での自然体験イベント	通年	ジオガイドの養成



R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報酬	2,112		
職員手当等	810		
共済費	486		
旅費	69		
負担金補助及び交付金	8,015		
事業費計			11,492

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
観光部観光振興課	Wi-Fiスポットサービス管理運営費

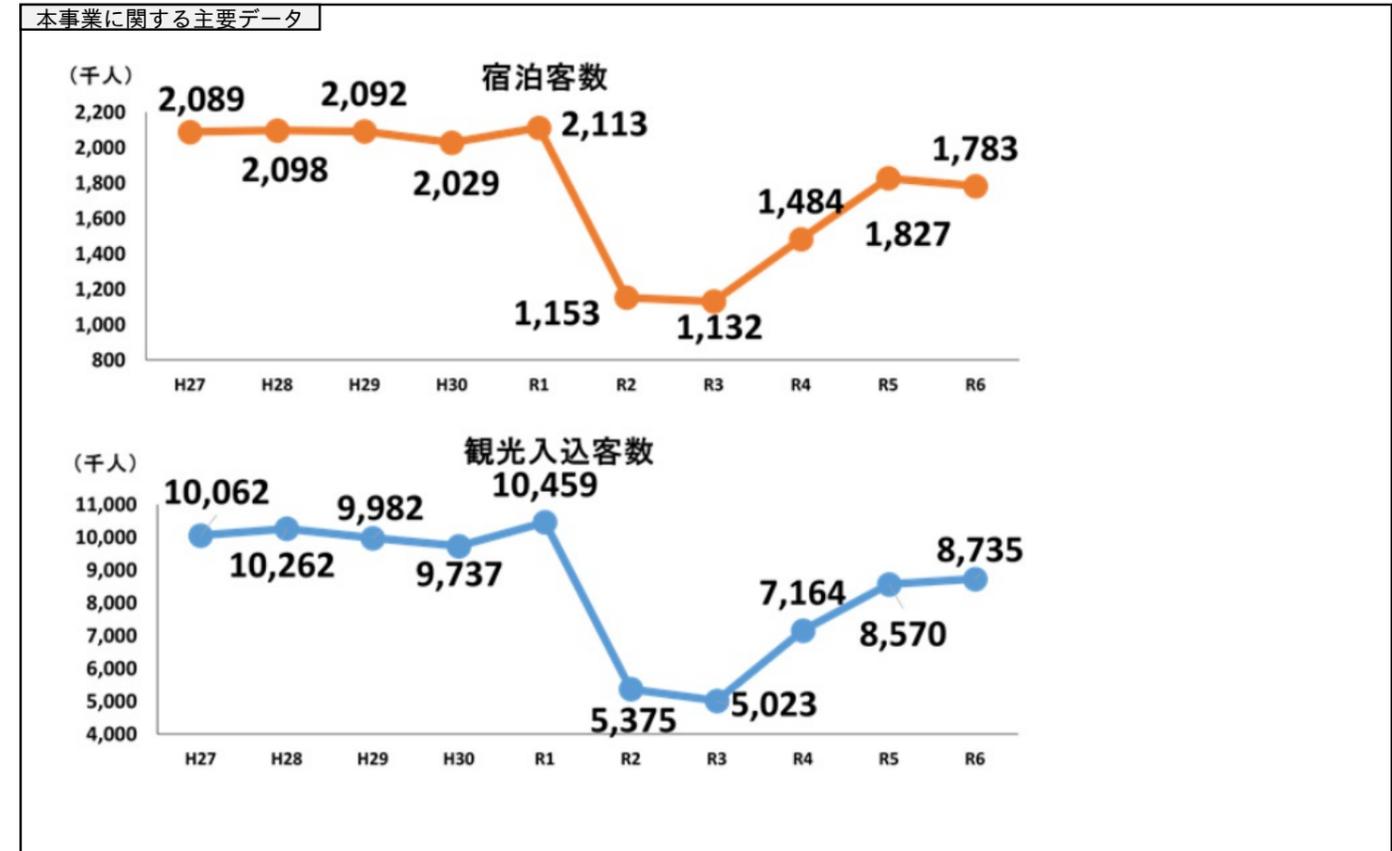
松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	城下町文化など豊かな歴史文化、自然を活かした魅力向上

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	市内にフリーWi-Fiスポットを設置し、国内外からの観光客の利便性を高める	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
		年間宿泊客数（万人）	178	219	227	250
目標（何を達成するのか）	観光入り込み客数（万人）	873	1,020	1,040	1,100	

年間宿泊客数250万人、観光入込客数1100万人を目指す。

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容

事業概要	<p>（数値目標の目標年度）観光宿泊客数：2029(R11)年、観光入込客数：2029(R11)年</p> <p>○市内にフリーWi-Fiスポットを設置し、観光客が情報収集や発信しやすい環境を整える 設置スポットを49カ所から17カ所に見直し</p>
------	---



事業計画	R6実績見込	R7計画	R8計画
	○フリーWi-Fiスポットの見直し・運営	○フリーWi-Fiスポットの運営	○フリーWi-Fiスポットの運営
	達成度		
1	計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費	2,673	2,664
	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	2,673	2,664
歳入合計		2,673	2,664

R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
委託料	2,664		
事業費計		2,664	

課題	<ul style="list-style-type: none"> 通信速度や同時接続数が十分でないスポットもあり、機器更新の検討が必要。 継続したWi-Fiサービスの提供 	方向性	<p>利用状況の分析やニーズの把握、通信速度などの調査を行い、必要に応じて機器更新を検討する。</p>
----	---	-----	---

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
観光部観光振興課	美保関観光振興事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	美保関町の観光振興を図る為、美保神社など、地域の観光資源と特色を最大限に活かした観光事業を実施する。	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
		年間宿泊客数（万人）	178	219	227	250
目標（何を達成するのか）	観光入込客数（万人）	873	1,020	1,040	1,100	
	年間宿泊客数250万人、観光入込客数1,100万人を目指す。					

（数値目標の目標年度）年間宿泊客数：2029（R11）年、観光入込客数：2029（R11）年

美保関町の観光振興を目的とする美保関地域観光振興協議会に対し、事業及びその実施に必要な人件費などの経費への補助を行う。美保関町の観光振興を図る為、美保神社など、地域の観光資源と特色を最大限に活かした観光事業を実施する。美保関特有の自然環境や美保神社、青石畳通りなどの既存観光資源の魅力を再認識し、未活用資源の顕在化を図るとともに、体験プログラムの充実など観光客のニーズに合わせた新たな付加価値を加えるなど、滞留型観光の促進を図る。

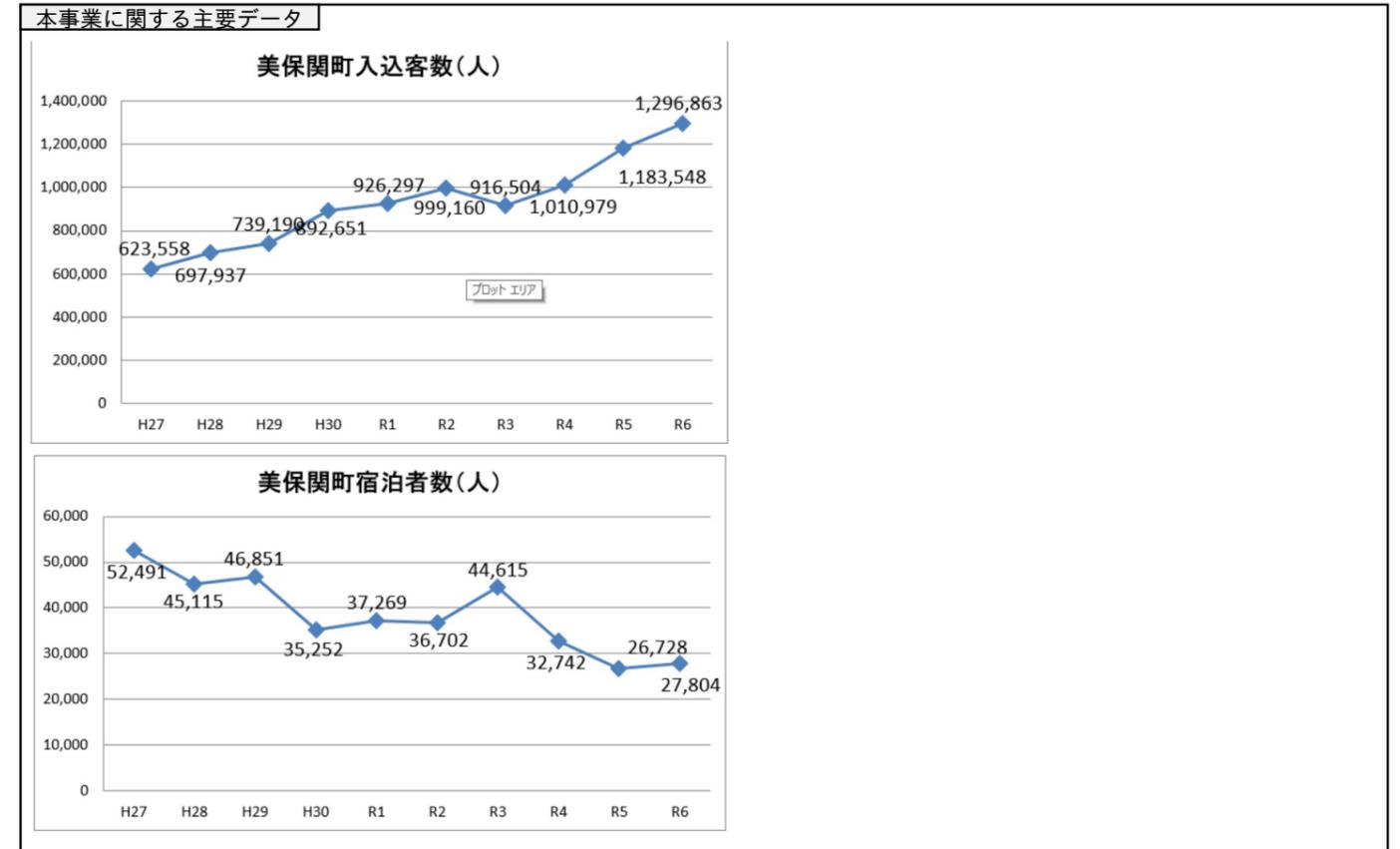
事業計画	R6実績見込	R7計画	R8計画
	<ul style="list-style-type: none"> 【観光振興対策基本事業】 ・地域資源を活かした誘客事業 ・来訪者増加のための対策事業 ・滞在型観光地としての対策事業 ・情報発信事業 【観光・物産PR強化事業】 ・情報発信事業 【地域活性化活動支援事業】 ・「商売繁盛の神」の地域的発信と誘客対策 ・「歌舞音曲の神」の全国的発信と誘客対策 ・正調関乃五本松節保存会と連携したイベント対応 ・えびす音曲祭の開催 【インバウンド対策事業】 ・インバウンド対策促進基本事業 	<ul style="list-style-type: none"> 【観光振興対策基本事業】 ・地域資源を活かした誘客事業 ・来訪者増加のための対策事業 ・滞在型観光地としての対策事業 ・情報発信事業 【観光・物産PR強化事業】 ・情報発信事業 【地域活性化活動支援事業】 ・「商売繁盛の神」の地域的発信と誘客対策 ・「歌舞音曲の神」の全国的発信と誘客対策 ・正調関乃五本松節保存会と連携したイベント対応 ・えびす音曲祭の開催 【インバウンド対策事業】 ・インバウンド対策促進基本事業 	<ul style="list-style-type: none"> 【観光振興対策基本事業】 ・地域資源を活かした誘客事業 ・来訪者増加のための対策事業 ・滞在型観光地としての対策事業 ・情報発信事業 【観光・物産PR強化事業】 ・情報発信事業 【地域活性化活動支援事業】 ・「商売繁盛の神」の地域的発信と誘客対策 ・「歌舞音曲の神」の全国的発信と誘客対策 ・正調関乃五本松節保存会と連携したイベント対応 ・えびす音曲祭の開催 【インバウンド対策事業】 ・インバウンド対策促進基本事業
	達成度		
1	計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)	R6	R7
	決算見込	当初予算
事業費	11,610	11,610
国・県支出金		
地方債		
その他		
一般財源	11,610	11,610
歳入合計	11,610	11,610

課題	方向性
<ul style="list-style-type: none"> ○観光客のニーズに対応した観光商品づくりと効果的なプロモーションを行って行くため、地域住民との連携強化が求められる。 ○地域における消費拡大の仕掛けづくり。 	<ul style="list-style-type: none"> ○美保神社など、地域の観光資源と特色を最大限に活かした観光事業を実施する。 ○自然資源を活かした体験型観光の推進。

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	城下町文化など豊かな歴史文化、自然を活かした魅力向上

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	毎月	美保関地域観光振興協議会幹事会		



R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	11,610		
事業費計			11,610

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
観光部観光振興課	「怪談のふるさと松江」事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	「怪談」という新しいテーマによる観光素材を利用して効果的に情報発信することで、新たな観光客層からの観光誘客を推進する。※令和元年度の松江怪喜宴来場者のうち52.6%が県外客（来場者アンケートより）。	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
		年間宿泊客数（万人）	178	219	227	250
目標（何を達成するのか）	観光入込客数（万人）	873	1,020	1,040	1,100	
	年間宿泊客数250万人、観光入込客数1,100万人を目指す。					

事業概要	<p>（数値目標の目標年度）年間宿泊客数：2029（R11）年、観光入込客数：2029（R11）年</p> <p>「松江怪喜宴」（①松江怪談談義と②酒林堂八雲）の開催。 ①松江怪談談義：小泉凡氏と観光大使木原浩勝氏による怪談対談 平成25年度開始 ②酒林堂八雲：観光大使茶風林氏（声優）企画演出による怪談朗読会 平成26年度開始 ○主催：松江怪喜宴実行委員会（市が事務局） ○実行委員会に補助金を交付する</p>
------	--

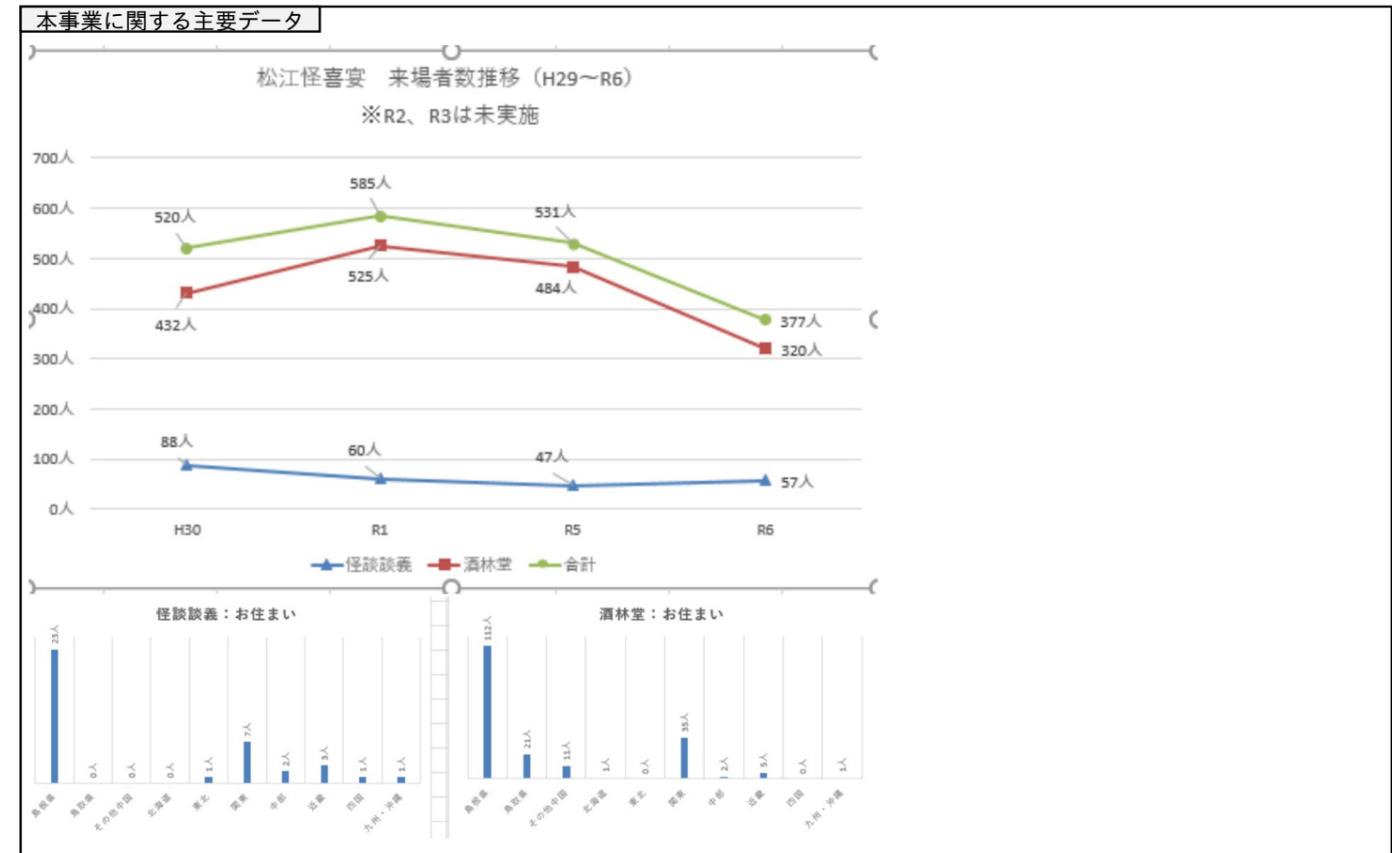
事業計画	R6実績見込	R7計画	R8計画
	○松江怪喜宴の開催 ・松江怪談談義 怪談をテーマにしたトークイベント ・酒林堂八雲 声優による怪談朗読会	○松江怪喜宴の開催 ・松江怪談談義 怪談をテーマにしたトークイベント ・酒林堂八雲 声優による怪談朗読会	○松江怪喜宴の開催 ・松江怪談談義 怪談をテーマにしたトークイベント ・酒林堂八雲 声優による怪談朗読会
	達成度		
	1 計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費	2,200	6,140
	国・県支出金		1,920
	地方債		
	その他		0
	一般財源	2,200	4,220
歳入合計		2,200	6,140

課題	○松江怪喜宴（松江怪談談義・酒林堂八雲）の参加者は5割以上の参加者が県外観光客であり、「怪談を活用した新たな観光誘客」という目的を達成しているものの、まだ「怪談のふるさと松江」の認知度が高いとは言えない。	方向性	○今後も人気の声優を活用し、怪喜宴の付加価値を高めたり、新たな企画を展開することで、「怪談のふるさと松江」の知名度を高める。
----	--	-----	--

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	城下町文化など豊かな歴史文化、自然を活かした魅力向上

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月～10月	松江ゴーストツアースタート		
	7月	実行委員会開催		
	10月	怪談談議		
	12月	酒林堂八雲		



R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	6,140		
事業費計			6,140

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
観光部観光振興課	小泉八雲・セツのドラマを生かして化ける松江推進協議会負担金

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	小泉八雲・セツをモデルとした連続テレビ小説の制作・放送を最大限に生かして観光振興を図るとともに、小泉八雲・セツの精神・功績を後世に引き継いでいく取組みを推進する。	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
	目標（何を達成するのか） 年間宿泊客数250万人、観光入込客数1100万人を目指す。	観光消費額（億円）	600	666	687	750
		観光入込客数（万人）	873	1,020	1,040	1,100
観光宿泊客数		178	219	227	250	

事業概要

（数値目標の目標年度）
 観光宿泊客数：2029(R11)年、観光入込客数：2029(R11)年
 ※観光消費額のR6実績見込について、現時点では算出不可

- ドラマの制作・放送を生かし、幅広く誘客プロモーション事業を行う。
- 観光客の増加が見込まれる中、既存の地域資源を磨き上げるとともに、満足度の高い観光が提供できるよう受入環境を整備する。
- 松江の滞在時間を延ばし、観光消費額の増加につながるような周遊促進事業を行う。
- 小泉八雲・セツという観光文化資源を生かした土産品、飲食メニュー等の商品開発を推進するための支援を行う。
- 小泉八雲・セツが松江の貴重な観光文化資源であることを市民に広く浸透させるため、二人の精神・功績を学ぶ機会を創出する。

	R6実績見込	R7計画	R8計画
事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ○誘客プロモーション事業 静岡市葵舟・松江市堀川遊覧船交流イベント出展、グリーンアイランド・フェスティバル2025出展 ○受入環境整備事業（機運醸成事業） 協議会公式ロゴマーク・キャッチコピー制作 ○商品開発支援事業 研修会実施 ○その他 イベント開催（へるんアートパークin善導寺、小泉八雲とセツが出会ったMATSUE 佐野史郎&宮崎美子 朗読&トークショー） 	<ul style="list-style-type: none"> ○誘客プロモーション事業 特設WEBサイト制作、SNS運用、動画制作等 ○受入環境整備事業 案内・誘導看板設置、駐車場誘導警備体制強化等 ○周遊促進事業 イベント開催補助等 ○商品開発支援事業 研修会実施、販売促進ツールの製作等 ○顕彰事業 顕彰用教材製作、出前授業実施等 	<ul style="list-style-type: none"> ○誘客プロモーション事業 ○受入環境整備事業 ○周遊促進事業 ○商品開発支援事業 ○顕彰事業
	達成度		
	1	計画目標に向けて順調に推移	

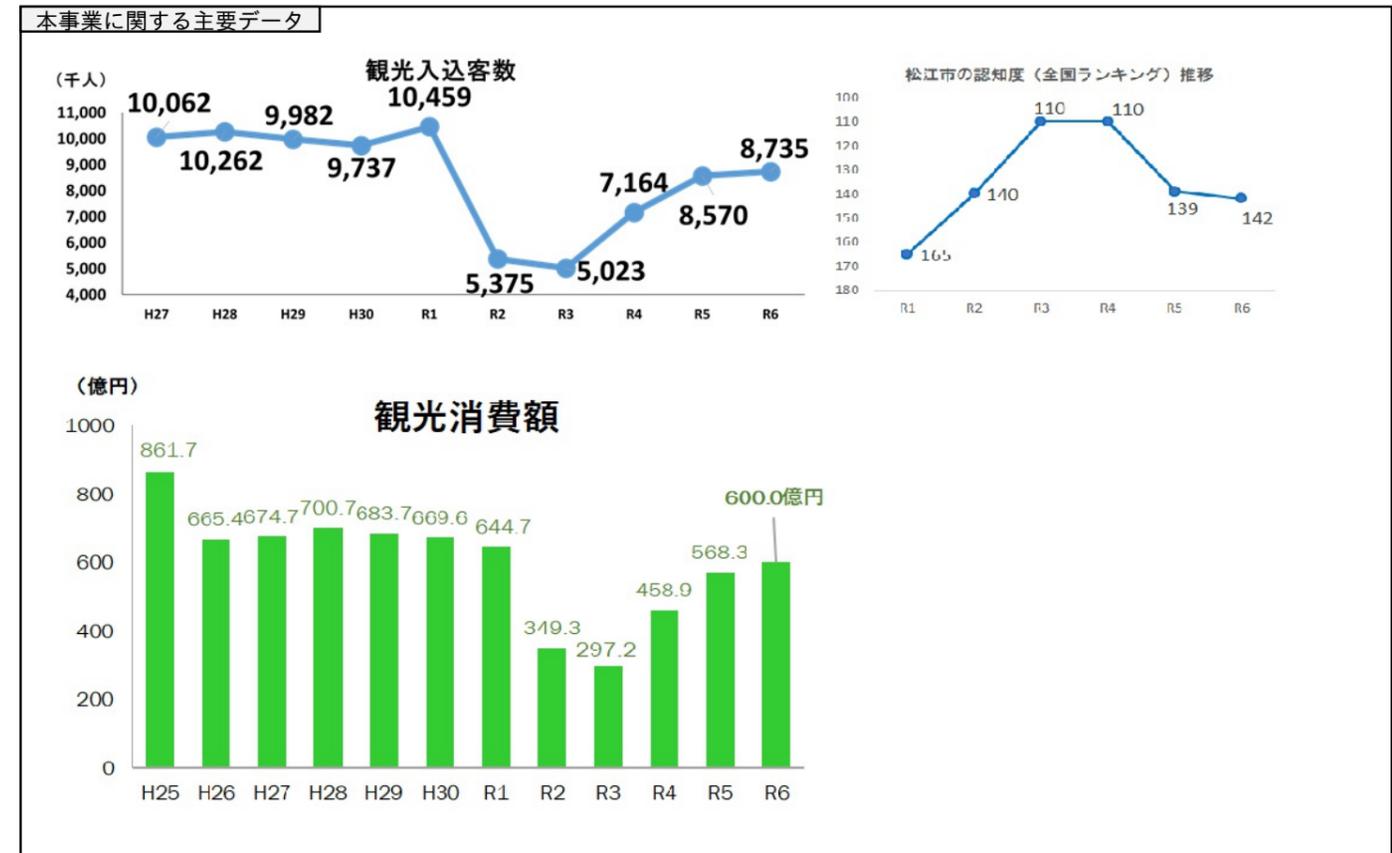
歳入・歳出の推移(単位：千円)	R6	R7
	決算見込	当初予算
事業費	1,235	12,290
国・県支出金		6,145
地方債		
その他		0
一般財源	1,235	6,145
歳入合計	1,235	12,290

課題	方向性
<ul style="list-style-type: none"> ○認知度不足 ○観光入込客数及び観光消費額の回復が不十分 ○周遊につながるコンテンツ不足 ○小泉八雲・セツに関する市民の理解・関心の向上 ○二次交通不足 ○他自治体との連携不足 	<ul style="list-style-type: none"> ○「ばけばけ」の制作・放送を契機に、松江の魅力を広く発信し、国内外における認知度を高め、幅広い年代や、インバウンドを含めた多様な層の観光客が訪れる。 ○多様な層の観光客、とりわけ「ばけばけ」をきっかけに訪れた方が、小泉八雲とセツの世界を存分に味わうことができるよう、観光拠点の磨き上げ、おもてなし力向上などにより松江観光全体の魅力を高める。

観光部観光振興課 小泉八雲・セツのドラマを生かして化ける松江推進協議会負担金

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	城下町文化など豊かな歴史文化、自然を活かした魅力向上

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月～	誘客プロモーション		
	5月～	ラッピングバス運行		
	10月～	イベント開催費用補助		



R7節別当初予算額内訳 (千円)			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	12,290		
事業費計			12,290

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
観光部観光振興課	地域花火実施事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	地域花火の開催を支援し、地域におけるにぎわいを創出するため、花火大会の開催ニーズや効果を確認する。	項目（成果指標） 数値目標になじまない	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
	目標（何を達成するのか）					
	地域の賑わい創出。					

事業概要	<p>○地域花火の開催を支援することで、地域におけるにぎわいを創出するため、花火大会の開催ニーズや効果を確認し、今後の地域花火のあり方について検討する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助率：事業費の10/10・上限20万円 ・交付対象者：地域花火の主催団体（町内会・自治会等）
------	--

事業計画	R6実績見込	R7計画	R8計画
	<p>○地域花火実証事業補助金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助実績：15団体 ・補助金交付額：200千円×15件＝3,000千円 <p>○効果検証（各地域にアンケート調査を実施）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の賑わいの創出や他地域からの誘客に繋がったなどの効果があった。 	<p>○地域花火実施事業補助金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助率：事業費の10/10・上限20万円 ・交付対象者：地域花火の主催団体 ・予算額：20万円×17件＝340万円 	<p>○地域花火実施事業補助金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助率：事業費の10/10・上限20万円 ・交付対象者：地域花火の主催団体 ・予算額：20万円×17件＝340万円
	達成度	1 計画目標に向けて順調に推移	

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費		3,400
	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	0	3,400
歳入合計		0	3,400

課題	○コロナ禍が明け、地域の伝統行事やイベントは戻りつつあるが、コロナ禍前の賑わいまでには至っていない。	方向性	○地域花火の開催を通じ、地域のにぎわい創出や地域コミュニティの維持につながるよう支援する。
----	--	-----	---

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	城下町文化など豊かな歴史文化、自然を活かした魅力向上

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4～10月	地域花火の開催支援		

本事業に関する主要データ	
<p>〈参考：交付地域〉</p> <p>継続：13件 新規：2件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・秋鹿町 1件 ・本庄町 1件 ・八雲町 1件 ・宍道町 2件（※新規1件） ・鹿島町 2件 ・島根町 3件（※新規1件） ・美保関町 2件 ・八束町 1件 ・東出雲町 2件 	

R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	3,400		
事業費計		3,400	

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
文化スポーツ部文化振興課	小泉八雲記念館管理運営費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	小泉八雲の功績を後世に伝える施設として、小泉八雲の遺品、図書、資料等を収集、保管、展示を行う。多様な市民のニーズに応え、交流、発表、学びの場を提供する。	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
		来館者数（人）	89,562	100,000	100,000	100,000
	目標（何を達成するのか）					
	<ul style="list-style-type: none"> 小泉八雲の顕彰並びに、普及啓発を行う。 適切な施設管理、運営を行う。 企画展などを開催し、情報発信を行う。 					

事業概要	(数値目標の目標年度) 項目名 来館者数（人） : 2029(令和11)年度
	<p>指定管理制度にて小泉八雲記念館の管理運営を行うもの。</p> <p>指定管理者：一般社団法人八雲会 指定管理期間：令和7年4月1日～令和11年3月31日（4年間）</p> <ul style="list-style-type: none"> 来館者へ安全で快適な環境を提供し、適切な広報を行うなど、施設の利用促進を積極的に図る。 小泉八雲の遺品、図書、資料等を活用し、企画展を開催する。 法定点検等施設管理を行う。

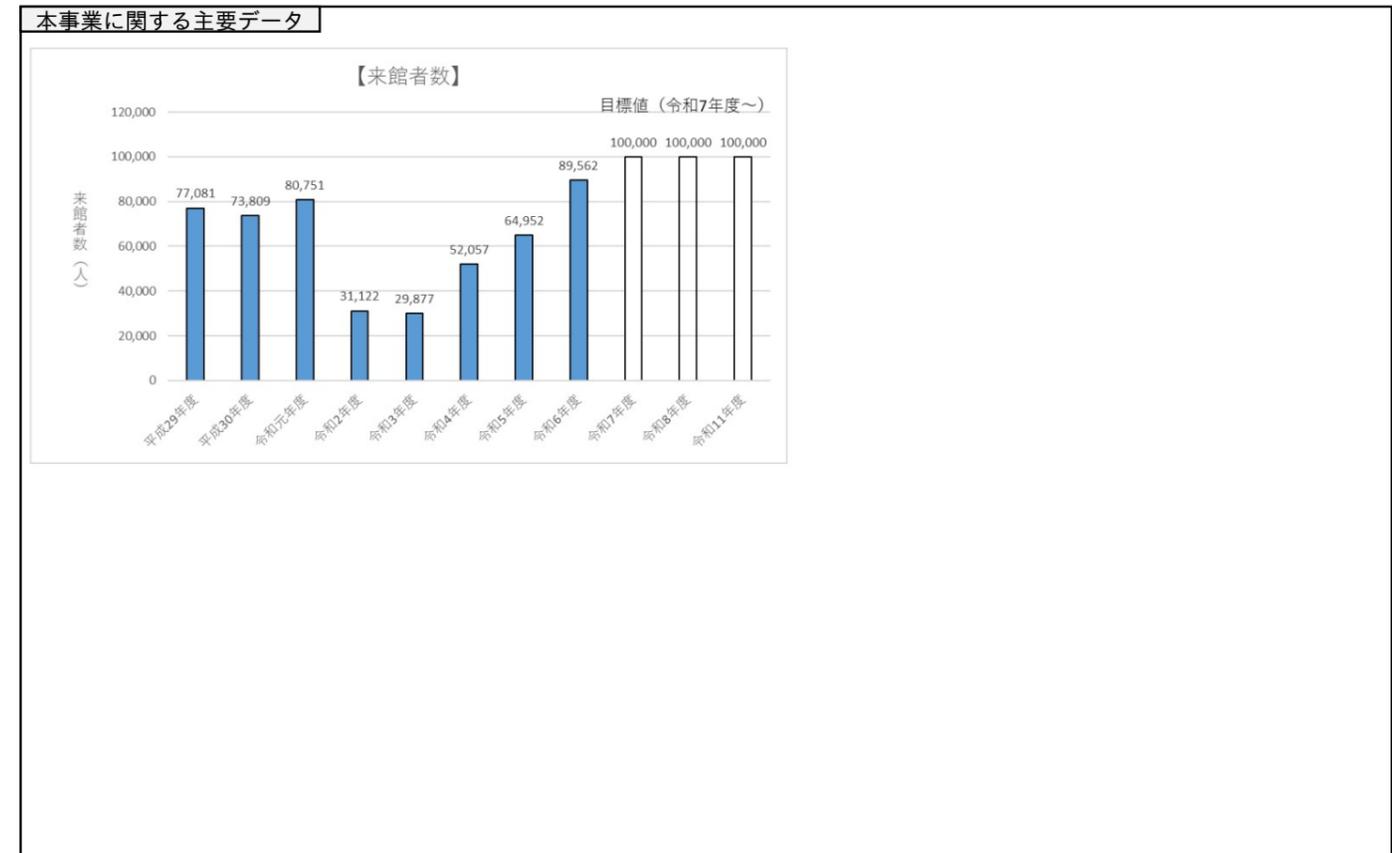
事業計画	R6実績見込	R7計画	R8計画
	<p>企画展「小泉セツラフカディオ・ハーンの妻として生きて」 開催：令和6年6月27日～令和7年6月8日</p> <p>指定管理料：18,176,540円</p>	<p>企画展「小泉セツラフカディオ・ハーンの妻として生きて第2期」 開催：令和7年6月13日～令和8年9月6日</p> <p>指定管理料：12,166,000円</p> <ul style="list-style-type: none"> NHKの連続テレビ小説「ばけげ」の放送決定以降、来館者が増加傾向にあり、令和7年度以降の計画を上方修正した。 来館者の増加に対応した混雑緩和策を講じる。 	<p>企画展 年1回程度 指定管理料 未定</p>
	<p>達成度</p> <p>1 計画目標に向けて順調に推移</p>		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費	27,742	22,432
	国・県支出金		
	地方債		
	その他	10	10
	一般財源	27,732	22,422
歳入合計		27,742	22,432

課題	<ul style="list-style-type: none"> 国内外への情報発信 小泉八雲記念館と旧居の一体的な活用 隣接市有地の活用 	方向性	<ul style="list-style-type: none"> 小泉八雲の研究拠点として、小泉八雲旧居とあわせて施設のあり方を整理する必要がある。 松江城を始めとする、周辺の文化・観光施設と連携しながら、より質の高い文化観光施設として機能を充実させる。
----	--	-----	---

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	城下町文化など豊かな歴史文化、自然を活かした魅力向上

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	6月～	企画展		
	通年	施設の管理運営		



R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報酬	3,588		
共済費	597		
需用費	281		
委託料	17,906		
使用料及び賃借料	60		
事業費計		22,432	

令和7年度 総合計画実施計画

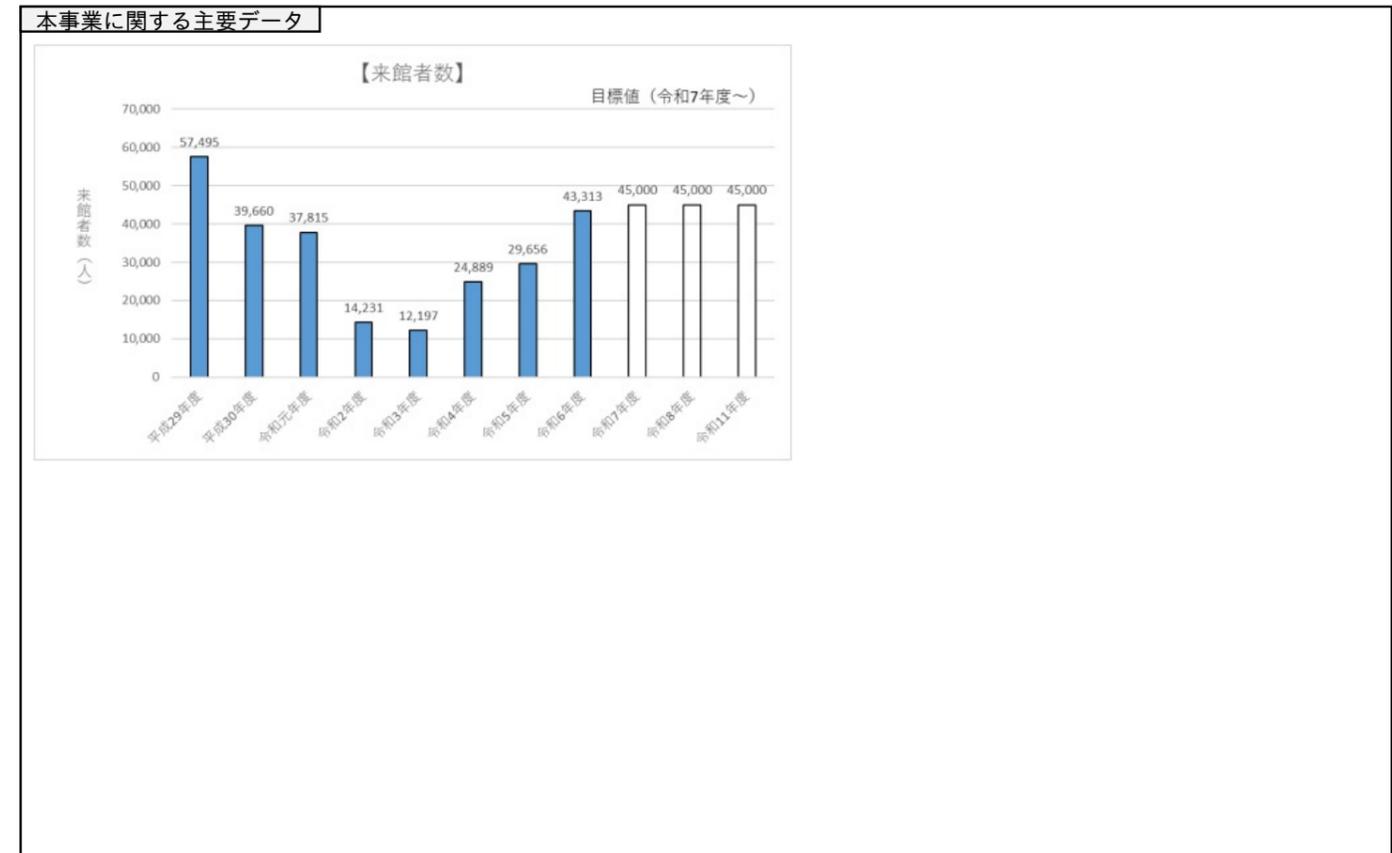
所属	事業名
文化スポーツ部文化振興課	小泉八雲旧居管理運営費

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	城下町文化など豊かな歴史文化、自然を活かした魅力向上

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	小泉八雲が暮らした建物及び庭を保存し、その一部を観覧用に供することにより、小泉八雲に対する知識と理解を広め、文化振興に寄与することを目的とする。	項目（成果指標） 観覧者数（人）	R6実績見込 43,313	R7計画 45,000	R8計画 45,000	目標値 45,000
	目標（何を達成するのか）					
	・小泉八雲の顕彰並びに、普及啓発を行う。 ・適切な施設管理、運営を行う。 ・広く情報発信を行う。					

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	通年	施設の管理運営		

事業概要	(数値目標の目標年度) 項目名 観覧者数（人） : 2029(令和11)年度
	指定管理制度にて小泉八雲旧居の管理運営を行うもの。 指定管理者：一般社団法人八雲会 指定管理期間：令和7年4月1日～令和11年3月31日（4年間） ・観覧者へ安全で快適な環境を提供し、適切な広報を行うなど、施設の利用促進を積極的に図る。 ・国の史跡であることから、文化財保護法に基づき、適切な施設管理を行う。 ・法定点検等施設管理を行う。



事業計画	R6実績見込	R7計画	R8計画
	指定管理料 3,685,678 円 ・鳥居補修工事等	指定管理料 3,590,000 円 ・エアコン設置工事等 ・NHKの連続テレビ小説「ばけばけ」の放送決定以降、観覧者が増加傾向にあり、令和7年度以降の計画を上方修正した。 ・観覧者の増加に対応した混雑緩和策を講じる。	指定管理料 未定
	達成度		
1	計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費	5,367	5,045
	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	5,367	5,045
歳入合計		5,367	5,045

課題	・国内外への情報発信 ・旧居未公開部分の公開 ・小泉八雲記念館と旧居の一体的な活用 ・隣接市有地の活用	方向性	・小泉八雲の研究拠点として、小泉八雲記念館とあわせて施設のあり方を整理する必要がある。 ・松江城を始めとする、周辺の文化・観光施設と連携しながら、より質の高い文化観光施設として機能を充実させる。

R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
委託料	3,670		
工事請負費	1,375		
事業費計			5,045

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
観光部国際観光課	インバウンド観光推進事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	海外に向けたプロモーション、情報発信を行うとともに、外国人観光客が快適に滞在、周遊できる環境整備を行い、更なる誘客につなげる。	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
		外国人観光宿泊客数（人）	63,865	86,000	102,000	150,000
	目標（何を達成するのか）					
	外国人観光宿泊客数 150,000人〔2029（R11）年〕					

（数値目標の目標年）外国人観光宿泊客数：2029（R11）年

事業概要

- 海外に向けたプロモーション
 - 重点市場 東アジア・欧米豪・東南アジア
 - 事業内容
 - ①旅行会社への営業、商談会への参加による商品造成促進
 - ②イベント等への出展やSNS等を活用した情報発信によるPR活動
 - ③スポーツツーリズムをテーマとした誘客促進
- 国内在住外国人等の発信力を活用した国内外へのアプローチ
- 受入環境整備 外国語パンフレット、マップ作成等

事業計画	R6実績見込	R7計画	R8計画
	○台湾 サイクリングをテーマとしたプロモーション、現地旅行会社プロモーション、現地商談会参加、イベント出展、SNS等での情報発信 ○韓国 ブログ運営、専門職員配置、旅行会社プロモーション ○フランス 在住フランス人をターゲットとしたプロモーション、旅行会社プロモーション、旅行博出展、SNS等での情報発信 ○米国 国内外の旅行会社プロモーション、Web・SNS等を活用した情報発信 ○共通 訪日旅行を取り扱う国内旅行会社プロモーション、国際交流員による情報発信、JNTOを活用した情報発信	○台湾 スポーツツーリズムをテーマとしたプロモーション、現地旅行会社プロモーション、現地商談会参加、イベント出展、SNS等での情報発信 ○香港 旅行会社プロモーション、SNS等での情報発信 ○韓国 ブログ運営、専門職員配置、旅行会社プロモーション ○フランス 在住フランス人をターゲットとしたプロモーション、旅行会社プロモーション、旅行博出展、SNS等での情報発信 ○米国 国内外の旅行会社プロモーション、Web・SNS等を活用した情報発信 ○共通 訪日旅行を取り扱う国内旅行会社プロモーション、国際交流員による情報発信、JNTOを活用した情報発信	○台湾 スポーツツーリズムをテーマとしたプロモーション、現地旅行会社プロモーション、現地商談会参加、イベント出展、SNS等での情報発信 ○香港 旅行会社プロモーション、SNS等での情報発信 ○韓国 ブログ運営、専門職員配置、旅行会社プロモーション ○フランス 在住フランス人をターゲットとしたプロモーション、旅行会社プロモーション、旅行博出展、SNS等での情報発信 ○米国 国内外の旅行会社プロモーション、Web・SNS等を活用した情報発信 ○共通 訪日旅行を取り扱う国内旅行会社プロモーション、国際交流員による情報発信、JNTOを活用した情報発信
	達成度	1	計画目標に向けて順調に推移

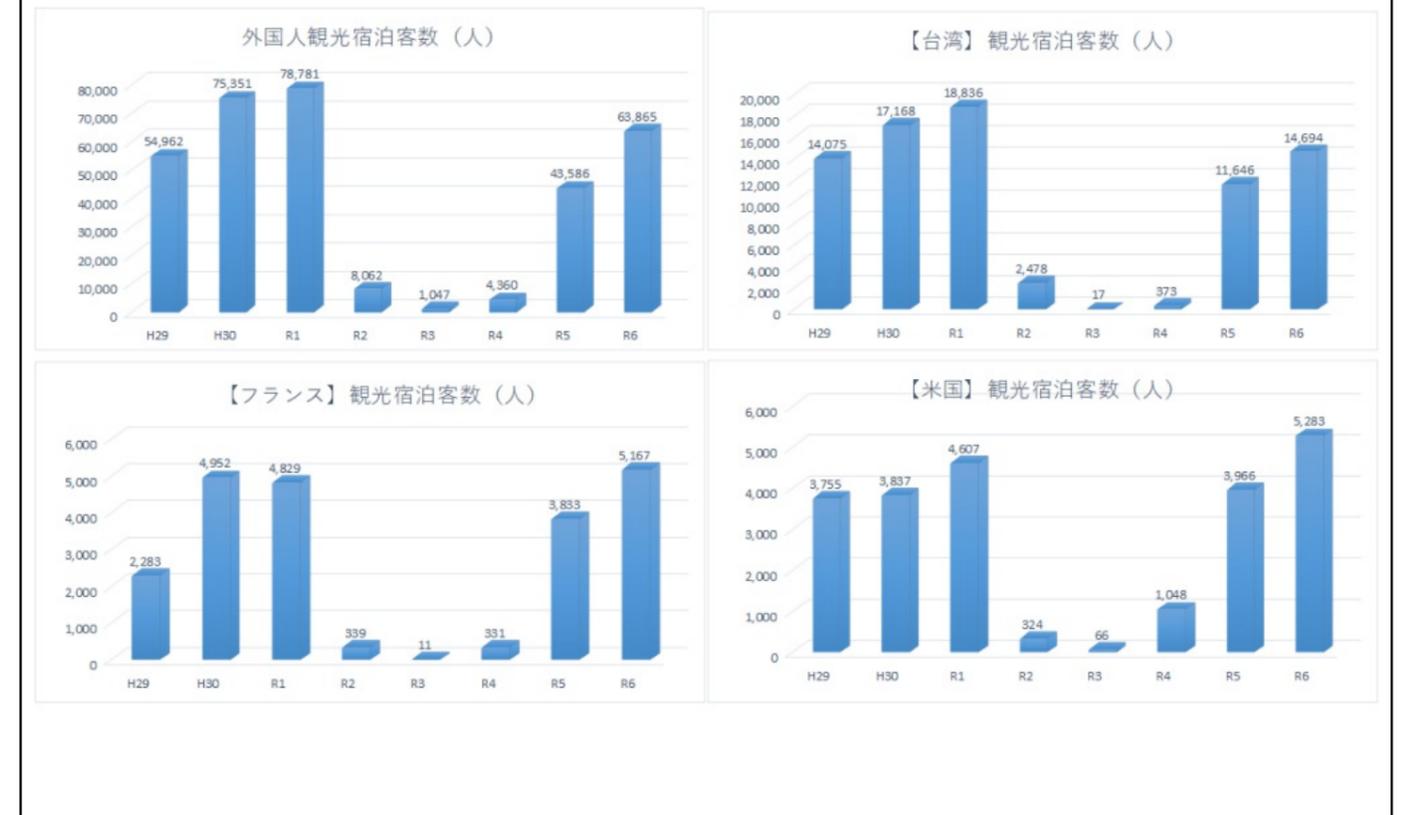
歳入・歳出の推移(単位：千円)	R6	R7
	決算見込	当初予算
事業費	15,709	20,296
国・県支出金		
地方債		
その他		
一般財源	15,709	20,296
歳入合計	15,709	20,296

課題	方向性
海外における本市の認知度が低いこと。	SNS等を活用した情報発信や旅行博・イベント出展、旅行会社セールス等のプロモーションを実施し、認知度向上を図る。

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	インバウンド強化事業

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	通年	各種情報発信		
	通年	商談会・イベント等によるPR		
	通年	国内外旅行会社招請		

本事業に関する主要データ



R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
旅費	1,943		
需用費	600		
役務費	325		
委託料	11,775		
使用料及び賃借料	200		
負担金補助及び交付金	5,453		
事業費計			20,296

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
観光部国際観光課	広域観光周遊ルート整備促進事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	広島を中心に多くの外国人観光客が訪れる山陽方面と当市を縦軸で結ぶ周遊ルートを確立し、当市への外国人観光客誘致につなげる。	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
		外国人観光宿泊客数（人）	63,865	86,000	102,000	150,000
	目標（何を達成するのか）					
	外国人観光宿泊客数 150,000人〔2029（R11）年〕					

事業概要	(数値目標の目標年) 外国人観光宿泊客数：2029（R11）年
	多くの外国人観光客が訪れる広島からの誘客を図るため、外国人観光客を対象に広島松江間高速バス運賃の割引を実施する。

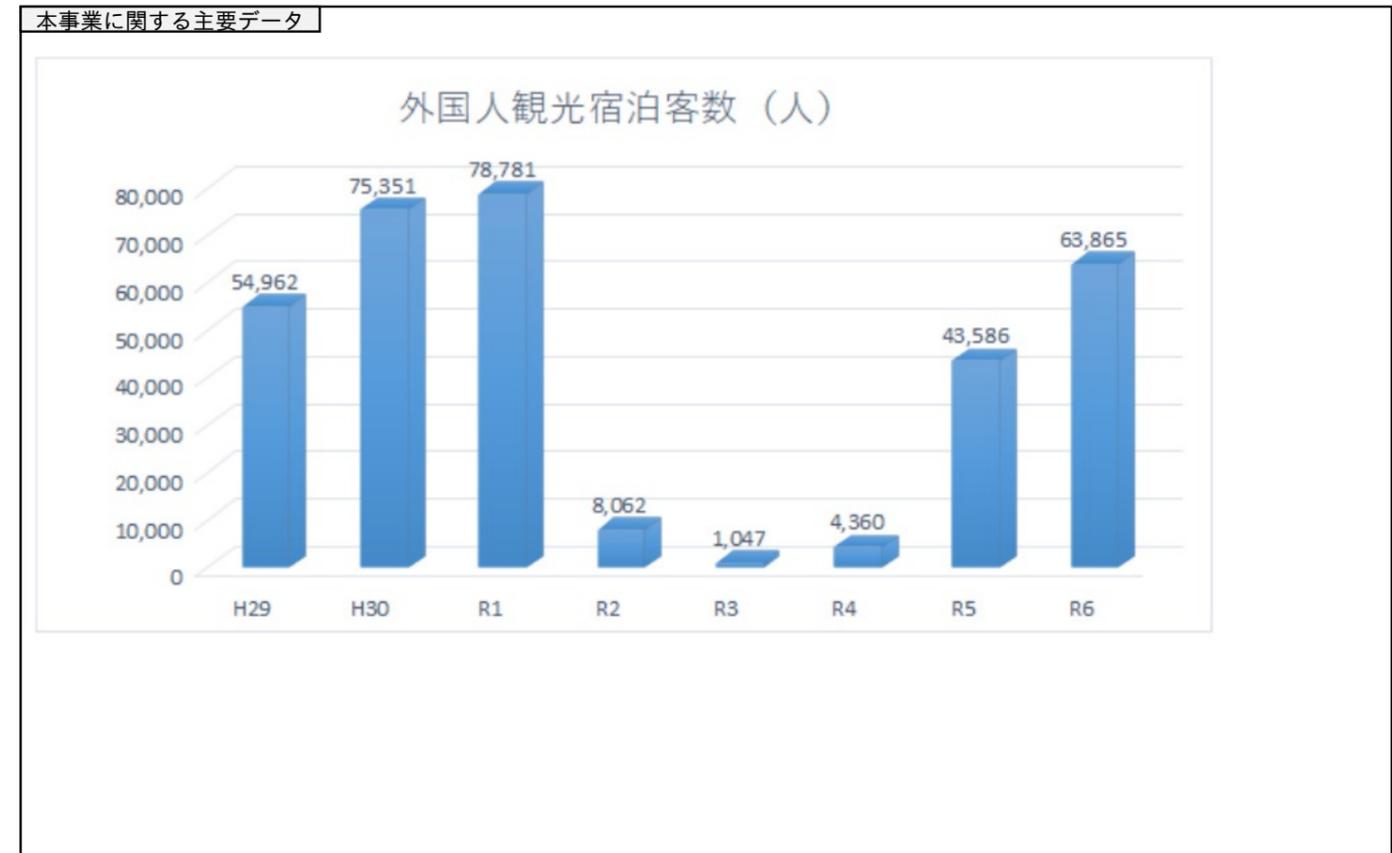
事業計画	R6実績見込	R7計画	R8計画
	広島松江間的高速バス運賃割引事業 R6年度利用見込み者数 1,431人 自己負担額を500円から1,000円に変更	広島松江間的高速バス運賃割引事業 R7年度利用見込み者数 約1,600人 自己負担額を1,000円から1,400円に変更	広島松江間的高速バス運賃割引事業 R8年度利用見込み者数 約1,600人
	達成度		
1	計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費	2,147	2,564
	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	2,147	2,564
歳入合計		2,147	2,564

課題	海外における本市の認知度が低いこと。	方向性	当該事業により周遊を促進し、本市の認知度向上を図るため、山陽方面の関係機関や島根県及び山陰インバウンド機構と連携し、情報発信を強化していく。
----	--------------------	-----	--

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	インバウンド強化事業

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	通年	運賃割引実施		



R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
需用費	198		
負担金補助及び交付金	2,366		
事業費計		2,564	

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
観光部国際観光課	外国人滞在型観光促進事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	松江市への訪日旅行客の増加を図ることにより、観光事業の振興・発展に寄与することを目的とする。	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
		外国人観光宿泊客数（人）	63,865	86,000	102,000	150,000
	目標（何を達成するのか）					
	外国人観光宿泊客数 150,000人〔2029（R11）年〕					

事業概要	(数値目標の目標年) 外国人観光宿泊客数：2029（R11）年
	松江観光協会が訪日団体旅行誘致のために行う事業に対し補助金を交付する。 ＜事業内容＞ 市内宿泊施設を利用する訪日団体旅行を企画・実施、手配する旅行者に対し、1人1泊あたり2,000円（ただし、米子空港及び境港を出入国港とするツアーについては、1人1泊あたり1,000円）を補助する。

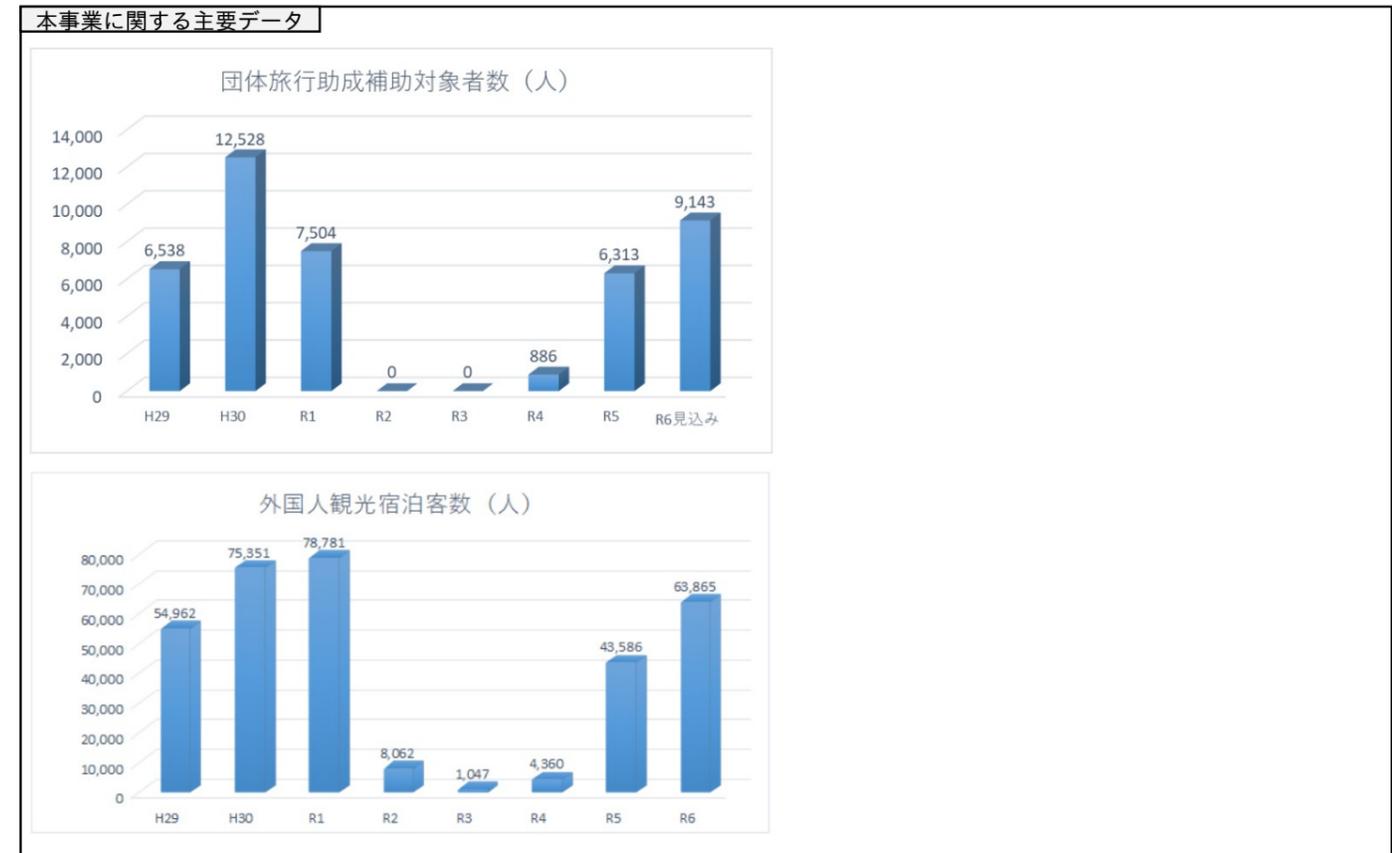
事業計画	R6実績見込	R7計画	R8計画
	外国人滞在型観光促進事業費補助金交付見込み 9,143人泊分	外国人滞在型観光促進事業費補助金交付見込み 5,600人泊分	外国人滞在型観光促進事業費補助金交付見込み 5,600人泊分
	達成度		
1	計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費	13,516	9,900
	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	13,516	9,900
歳入合計		13,516	9,900

課題	海外における本市の認知度が低いこと。	方向性	訪日旅行を取り扱う旅行会社に対し補助金を交付することで、旅行商品の新規造成を促進するとともに、既存旅行商品の継続販売を促していく。
----	--------------------	-----	---

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	インバウンド強化事業

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	通年	補助金受理申請～交付手続き		



R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	9,900		
事業費計		9,900	

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
観光部国際観光課	2025年日本国際博覧会観光誘客促進事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	2025年に開催される大阪・関西万博には350万人の外国人の来場が見込まれている。この大阪・関西万博の開催を好機と捉え、外国人観光客を誘客することを目的とする。	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
	外国人観光宿泊客数 150,000人【2029（R11）年】	外国人観光宿泊客数（人）	63,865	86,000	102,000	150,000

事業概要

○宿泊・観光事業者、交通事業者、旅行事業者等の民間事業者と松江市の官民が一体となり設立した「インバウンド推進協議会」に対し負担金を支出するもの。
 *データ分析
 *本市の外国人観光客受入環境整備（現状調査及びおもてなし研修等の実施による機運醸成）
 *観光商品造成・販売及びプロモーションの実施

○大阪観光局と全国の温泉地の首長が連携して設立した「温泉ツーリズム推進協議会」を活用し、万博会場での共同PRブースに出展するもの。

事業計画	R6実績見込	R7計画	R8計画
	○宿泊・観光事業者、交通事業者、旅行事業者等の民間事業者と松江市の官民が一体となり設立した「インバウンド推進協議会」へ負担金を支出。 *インバウンド研修の実施 *観光モデルコースの検討 *観光商品の造成と販売 *大阪・京都のPR拠点を活用した誘客	○宿泊・観光事業者、交通事業者、旅行事業者等の民間事業者と松江市の官民が一体となり設立した「インバウンド推進協議会」へ負担金を支出。 *観光商品の造成と販売 *プロモーションの実施	○宿泊・観光事業者、交通事業者、旅行事業者等の民間事業者と松江市の官民が一体となり設立した「インバウンド推進協議会」へ負担金を支出。万博年を受けた効果検証。 *観光商品のリバイス *プロモーションの実施
達成度			
1 計画目標に向けて順調に推移			

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費	17,486	16,399
	国・県支出金	8,742	6,968
	地方債		
	その他		0
	一般財源	8,744	9,431
歳入合計		17,486	16,399

課題

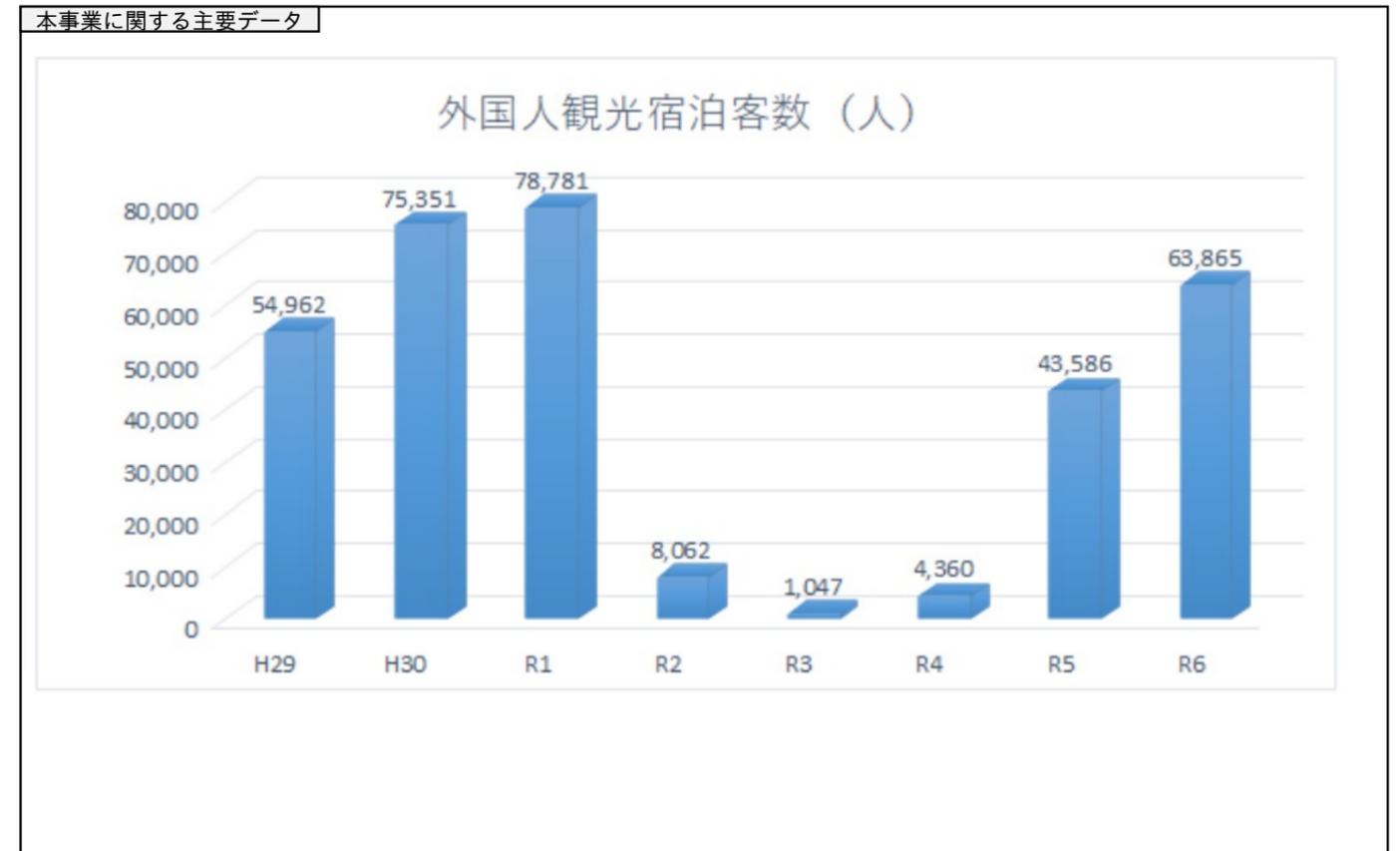
海外における本市の認知度が低いこと。

方向性

官民が一体となり、「茶の湯文化」、「城下町」、「水の都」、「歴史ある温泉」など本市ならではの魅力ある観光コンテンツのブラッシュアップやツアー造成、プロモーションを行う。

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	インバウンド強化事業

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月～9月	ツアー商品造成	9月	万博会場でのPR
	通年	ツアー商品販売		
	通年	ターゲット別プロモーション（情報発信）		
	6月～3月	関西圏でのPR		



R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
旅費	1,162		
負担金補助及び交付金	15,237		
事業費計		16,399	

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
観光部観光振興課	広域観光推進事業費

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	新たな層の観光客の開拓の強化

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	広域連携によるプロモーションを実施し、観光誘客を図る。	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
		年間宿泊客数（万人）	178	219	227	250
目標（何を達成するのか）	観光入込客数（万人）	873	1,020	1,040	1,100	
年間宿泊客数250万人、観光入込客数1,100万人						

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容

事業概要	<p>（数値目標の目標年度）年間宿泊客数：2029（R11）年、観光入込客数：2029（R11）年</p> <p>県内、中海・宍道湖・大山圏域、山陰、中国地方などの自治体等と広域連携し、プロモーションを実施して誘客を図る。</p>
------	---



事業計画	R6実績見込	R7計画	R8計画
	<ul style="list-style-type: none"> ○島根県観光連盟 ○広島地区観光情報発信事業 ○中海・宍道湖・大山圏域観光局 ○山陰観光連盟 ○山陰花めぐり協議会 ○中国広域観光連絡協議会 	<ul style="list-style-type: none"> ○島根県観光連盟 ○広島地区観光情報発信事業 ○中海・宍道湖・大山圏域観光局 ○山陰観光連盟 ○山陰花めぐり協議会 ○中国広域観光連絡協議会 	<ul style="list-style-type: none"> ○島根県観光連盟 ○広島地区観光情報発信事業 ○中海・宍道湖・大山圏域観光局 ○山陰観光連盟 ○山陰花めぐり協議会 ○中国広域観光連絡協議会
	達成度		
1	計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費	14,994	15,050
	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	14,994	15,050
歳入合計		14,994	15,050

R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
旅費	812		
需用費	35		
役務費	5		
使用料及び賃借料	5		
負担金補助及び交付金	15,015		
事業費計		15,872	

課題	○広域連携を図り、より効果的な事業を実施する必要がある	方向性	○県内や隣県自治体等との連携を強化し、観光誘客、周遊促進を図る
----	-----------------------------	-----	---------------------------------

令和7年度 総合計画実施計画

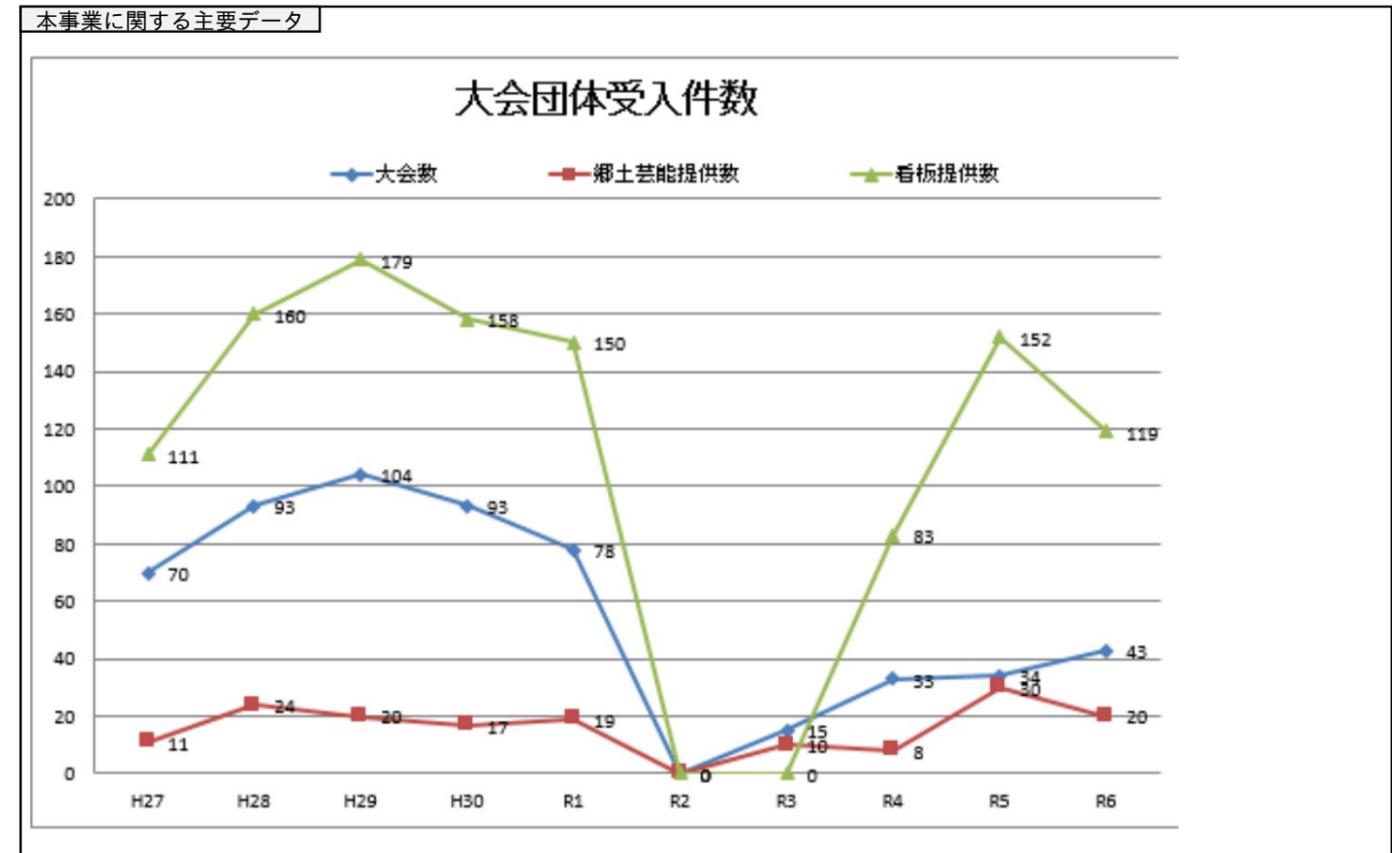
所属	事業名
観光部観光振興課	大会団体受入経費

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	新たな層の観光客の開拓の強化

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	松江市で開催されるコンベンション誘致促進を図るため、大会主催者に対して歓迎用看板及び郷土芸能の提供を行う。	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
		年間宿泊客数（万人）	178	219	227	250
目標（何を達成するのか）	観光入込客数（万人）	873	1,020	1,040	1,100	
年間宿泊客数250万人、観光入込客数1,100万人を目指す。						

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月	契約		

事業概要	(数値目標の目標年度) 年間宿泊客数：2029（R11）年、観光入込客数：2029（R11）年
	<p>松江市で開催されるコンベンション誘致を進めるため、大会主催者に対して歓迎用看板及び郷土芸能を提供するもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ○委託開始：平成17年度～ ○委託先：（一財）くにびきメッセ ○委託目的：コンベンション主催者の利便性確保と事業の効率化を図る



事業計画	R6実績見込	R7計画	R8計画
	<ul style="list-style-type: none"> ・歓迎看板の提供 ・郷土芸能の提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・歓迎看板の提供 ・郷土芸能の提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・歓迎看板の提供 ・郷土芸能の提供
	達成度		
1	計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費	1,758	1,592
	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	1,758	1,592
歳入合計		1,758	1,592

R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
委託料	1,592		
事業費計		1,592	

課題	大会主催者、参加者のニーズを把握し、満足度を高める必要がある。	方向性	誘致活動を行うくにびきメッセと連携を密にし、開催地としての魅力を高める。
----	---------------------------------	-----	--------------------------------------

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
観光部観光振興課	ボランティアガイド事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	松江を訪れる国内外の観光客の満足度向上	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
	目標（何を達成するのか） 年間宿泊客数250万人、観光入込客数1,100万人を目指す。	年間宿泊客数（万人）	178	219	227	250
		観光入込客数	873	1,020	1,040	1,100

事業概要	（数値目標の目標年度） 年間宿泊客数：2029（R11）年、観光入込客数：2029（R11）年
	松江市観光ガイド活動推進協議会を組織し、「松江ボランティアガイドの会」「松江グッドウィルガイド連絡会」の活動を支援することで、観光客へのおもてなしの充実を図る。 ※松江ボランティアガイドの会・・・日曜常駐ガイド（無料）、依頼ガイド（有料） 松江グッドウィルガイド連絡会・・・日曜常駐ガイド（無料）、依頼ガイド（有料）

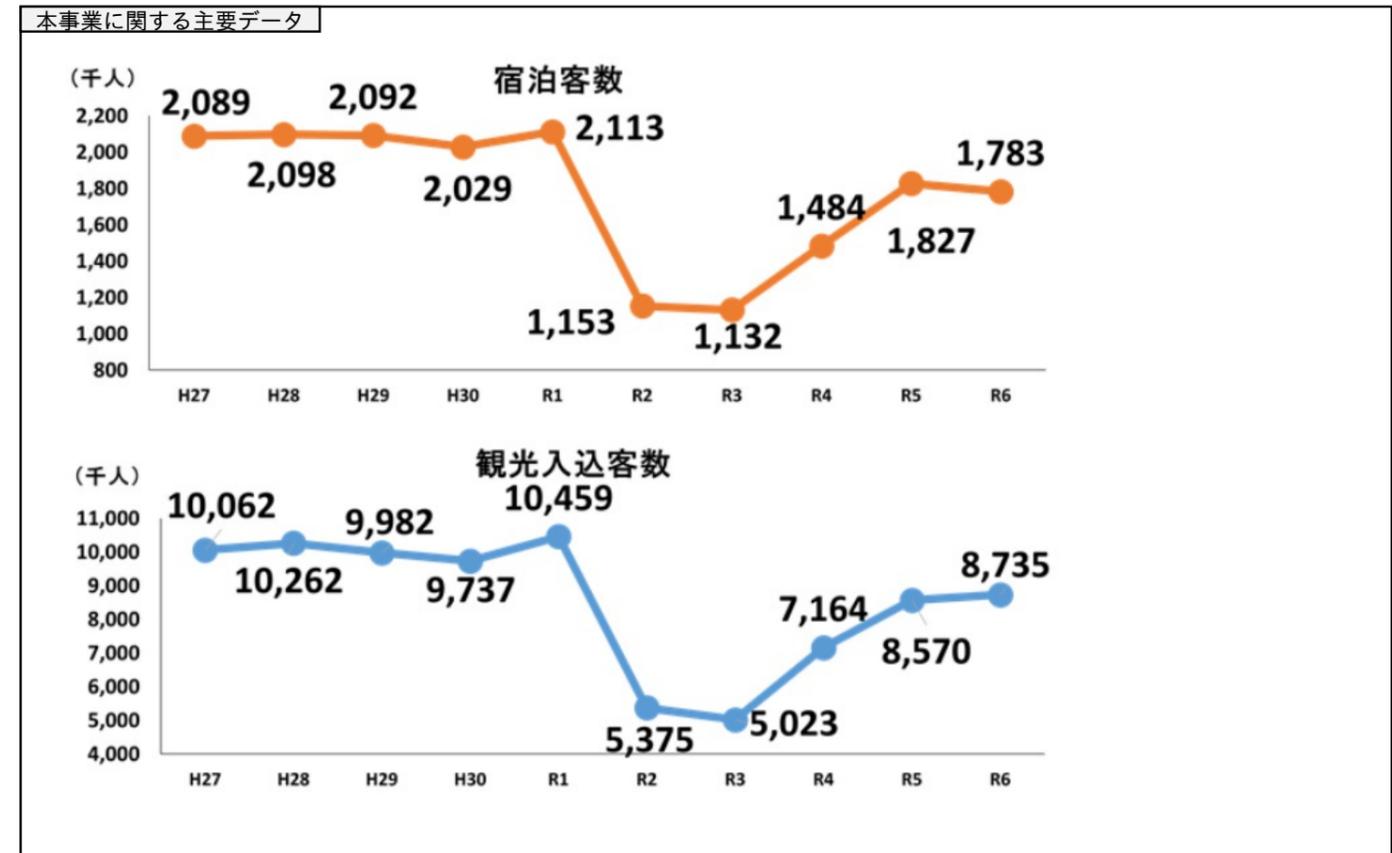
事業計画	R6実績見込	R7計画	R8計画
	○松江観光ボランティアガイドの会支援 ○松江グッドウィルガイド支援	○松江観光ボランティアガイドの会支援 ○松江グッドウィルガイド支援	○松江観光ボランティアガイドの会支援 ○松江グッドウィルガイド支援
	達成度		
1	計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費	175	175
	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	175	175
歳入合計		175	175

課題	ガイドのニーズが高まっていることから、新たなガイドの確保が必要。	方向性	ガイドの活動を市民に知ってもらい、ガイド会員数を増やす。
----	----------------------------------	-----	------------------------------

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	新たな層の観光客の開拓の強化

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容



R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	175		
事業費計			175

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
観光部観光振興課	松江国際観光案内所管理運営委託費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	松江国際観光案内所において、観光客への情報提供や各種案内を行い、国内外の観光客が安心して過ごせる環境を整える。	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
		年間宿泊客数（万人）	178	219	227	250
目標（何を達成するのか）	観光入込客数（万人）	873	1,020	1,040	1,100	
	年間宿泊客数250万人、観光入込客数1,100万人を目指す。					

事業概要	(数値目標の目標年度) 年間宿泊客数：2029（R11）年、観光入込客数：2029（R11）年
	松江国際観光案内所の管理運営を松江観光協会に委託。国内外の観光客への情報提供、案内を行う。日本政府観光局により常時英語での対応が可能なカテゴリー2に認定されている。

事業計画	R6実績見込	R7計画	R8計画
	○松江国際観光案内所管理運営 観光施設、宿泊施設、飲食店、交通等の案内、JNTO外国人観光案内所認定の更新	○松江国際観光案内所管理運営 観光施設、宿泊施設、飲食店、交通等の案内	○松江国際観光案内所管理運営 観光施設、宿泊施設、飲食店、交通等の案内
	達成度		
	1	計画目標に向けて順調に推移	

歳入・歳出の推移(単位：千円)	R6	R7
	決算見込	当初予算
事業費	21,784	26,035
国・県支出金		0
地方債		
その他		12,861
一般財源	21,784	13,174
歳入合計	21,784	26,035

課題	○松江市の情報に加え、より広範囲な情報提供が求められる	方向性	○他の自治体の観光案内所とも連携し、広範囲な観光案内を目指す。 ○インバウンドに対応し、外国語での情報提供の充実を図る。
----	-----------------------------	-----	---

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	新たな層の観光客の開拓の強化

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容

本事業に関する主要データ



R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
委託料	26,035		
事業費計			26,035

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
観光部観光振興課	コンベンション対策事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	松江市で開催されるコンベンションを誘致し、地域経済の活性化を図る。	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
		年間宿泊客数（万人）	178	219	227	250
目標（何を達成するのか）	観光入込客数（万人）	873	1,020	1,040	1,100	
	年間宿泊客数250万人、観光入込客数1,100万人を目指す。					

事業概要	<p>（数値目標の目標年度）観光宿泊客数：2029（R11）年、観光入込客数：2029年（R11）年</p> <ul style="list-style-type: none"> ○コンベンション開催支援補助：大会規模、延べ宿泊者数に応じて主催団体へ補助金交付 ○コンベンション観光バス運行補助：エクスカーションや懇親会会場への移動に利用するバスの借上げ経費を補助 ○くにびきメッセ負担金（人件費）
------	--

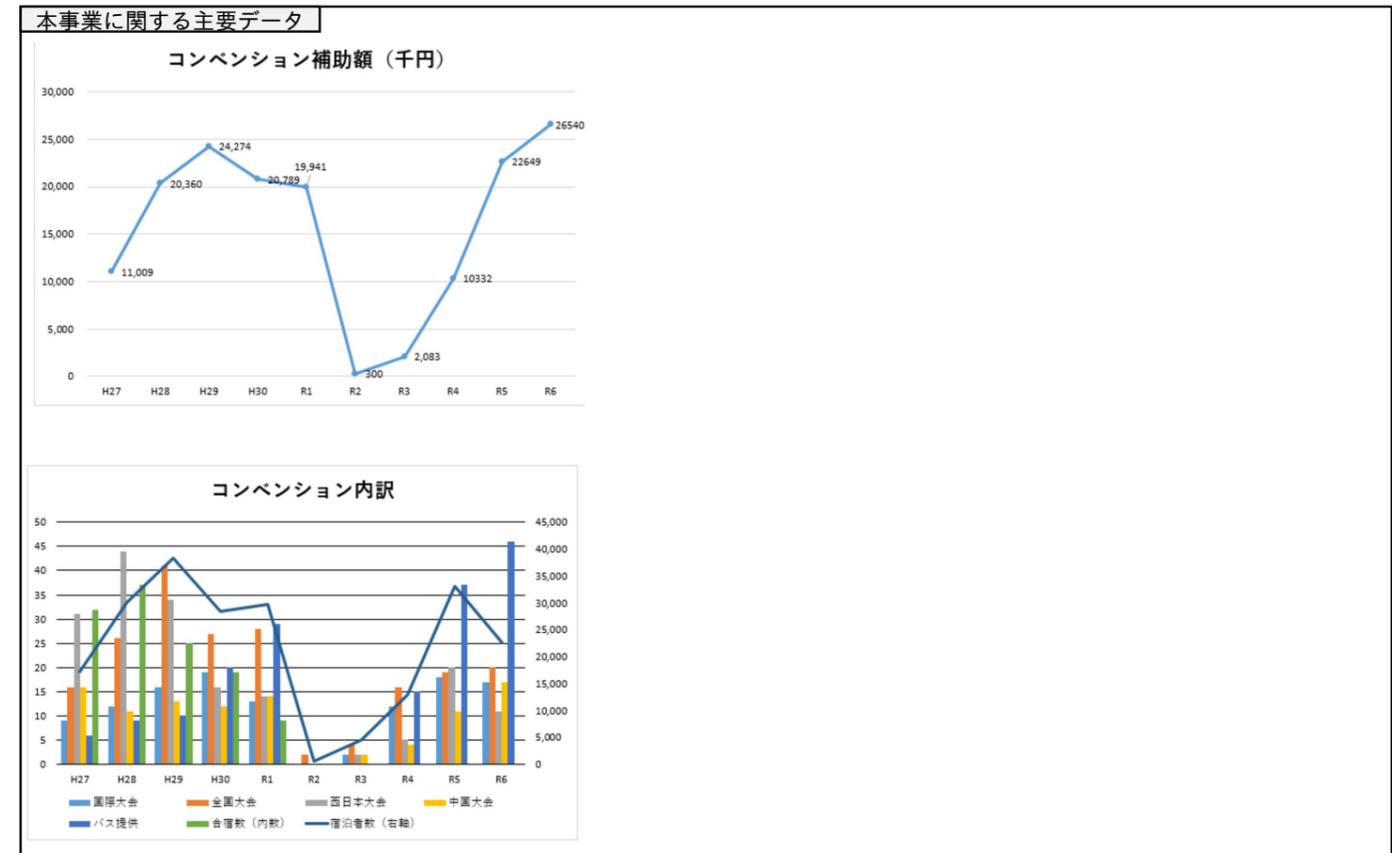
事業計画	R6実績見込	R7計画	R8計画
	<ul style="list-style-type: none"> ○コンベンション開催支援補助 ○コンベンション観光バス運行補助 ○くにびきメッセ負担金 ※開催予定 51件（国際10件・全国6件、西日本5件、中国5件、合宿25件） 	<ul style="list-style-type: none"> ○コンベンション開催支援補助 ○コンベンション観光バス運行補助 ○くにびきメッセ負担金 	<ul style="list-style-type: none"> ○コンベンション開催支援補助 ○コンベンション観光バス運行補助 ○くにびきメッセ負担金
	達成度		
	1 計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費	27,260	25,712
	国・県支出金		0
	地方債		
	その他		25,712
	一般財源	27,260	0
歳入合計		27,260	25,712

課題	<ul style="list-style-type: none"> ○主催団体や参加者のニーズを捉え、開催地としての魅力を高める。 ○アフターコンベンションの消費拡大を図る仕掛けづくりが必要。 	方向性	<ul style="list-style-type: none"> ○エクスカーションやユニークメニューの充実を図ることで、誘致を促進する。 ○民間事業者や関係機関との連携を図り参加者の消費拡大を図る。
----	---	-----	--

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	新たな層の観光客の開拓の強化

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容



R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	25,712		
事業費計		25,712	

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
観光部観光振興課	観光客受入事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	旅行会社へのレイクライン1日乗車券提供による旅行商品の販売促進、映画やテレビ番組のロケ誘致による情報発信を通して誘客を図る。	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
	年間宿泊客数（万人）	178	219	227	250	
	観光入込客数（万人）	873	1,020	1,040	1,100	
	目標（何を達成するのか）	年間宿泊客数250万人、観光入込客数1,100万人を目指す。				

事業概要	(数値目標の目標年度) 観光宿泊客数：2029(R11)年、観光入込客数：2029(R11)年
	<p>①エージェント旅行商品タイアップ事業 観光客の誘致と認知度向上を図る為、レイクラインや松江市の観光素材・旅行商品を旅行パンフレットなど募集媒体に掲載することを条件に、レイクラインの1日乗車券を提供する</p> <p>②松江フィルムコミッション協議会負担金 松江市のイメージアップに繋がる映像や画像等を露出しロケ地巡り等観光客の誘客を図る為、松江近郊で行う映画、ドラマ等の撮影先や雑誌の取材先紹介及び同行してのサポート</p>

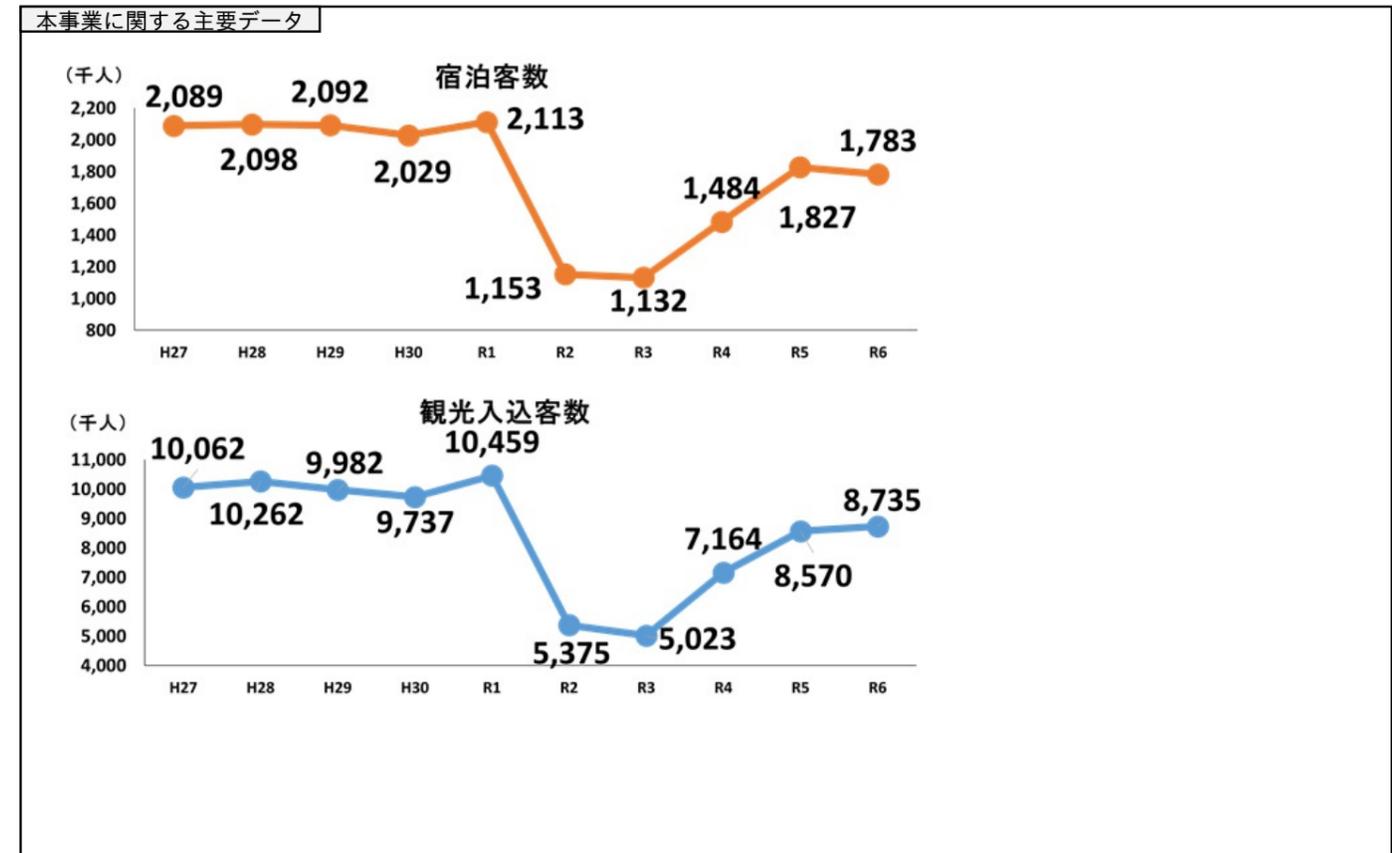
事業計画	R6実績見込	R7計画	R8計画
	<ul style="list-style-type: none"> ○レイクライン1日乗車券提供 目標14商品 ○ロケ、取材の誘致・支援 目標69件 	<ul style="list-style-type: none"> ○レイクライン1日乗車券提供 目標30商品 ○ロケ、取材の誘致・支援 目標77件 	<ul style="list-style-type: none"> ○レイクライン1日乗車券提供 目標30商品 ○ロケ、取材の誘致・支援 目標77件
	達成度		
	1 計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費	6,437	9,016
	国・県支出金	0	0
	地方債		
	その他	0	9,016
	一般財源	6,437	0
歳入合計		6,437	9,016

課題	<ul style="list-style-type: none"> ○旅行会社の商品造成、販売を促進することで誘客を図る必要がある。 ○映画やテレビ番組のロケ、メディアの取材のニーズを把握する必要がある 	方向性	<ul style="list-style-type: none"> ○旅行会社への営業ツールとしてレイクライン乗車券提供を効果的に活用する ○フィルムコミッション協議会構成団体等の連携を強化し、誘致を促進する
----	--	-----	---

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	新たな層の観光客の開拓の強化

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容



R7節別当初予算額内訳 (千円)			
節名称	金額	節名称	金額
役務費	6,766		
負担金補助及び交付金	2,250		
事業費計		9,016	

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
観光部観光振興課	観光バリアフリー推進事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	松江を訪れるすべての観光客が快適に過ごせる環境を整える。	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
		年間宿泊客数（万人）	178	219	227	250
目標（何を達成するのか）	観光入込客数（万人）	873	1,020	1,040	1,100	
年間宿泊客数250万人、観光入込客数1,100万人を目指す。						

事業概要	（数値目標の目標年度）年間宿泊客数：2029（R11）年、観光入込客数：2029（R11）年 松江バリアフリースターセンターを運営し、観光バリアフリーを推進するNPO法人プロジェクトゆうあいに対して補助金を交付する。
------	---

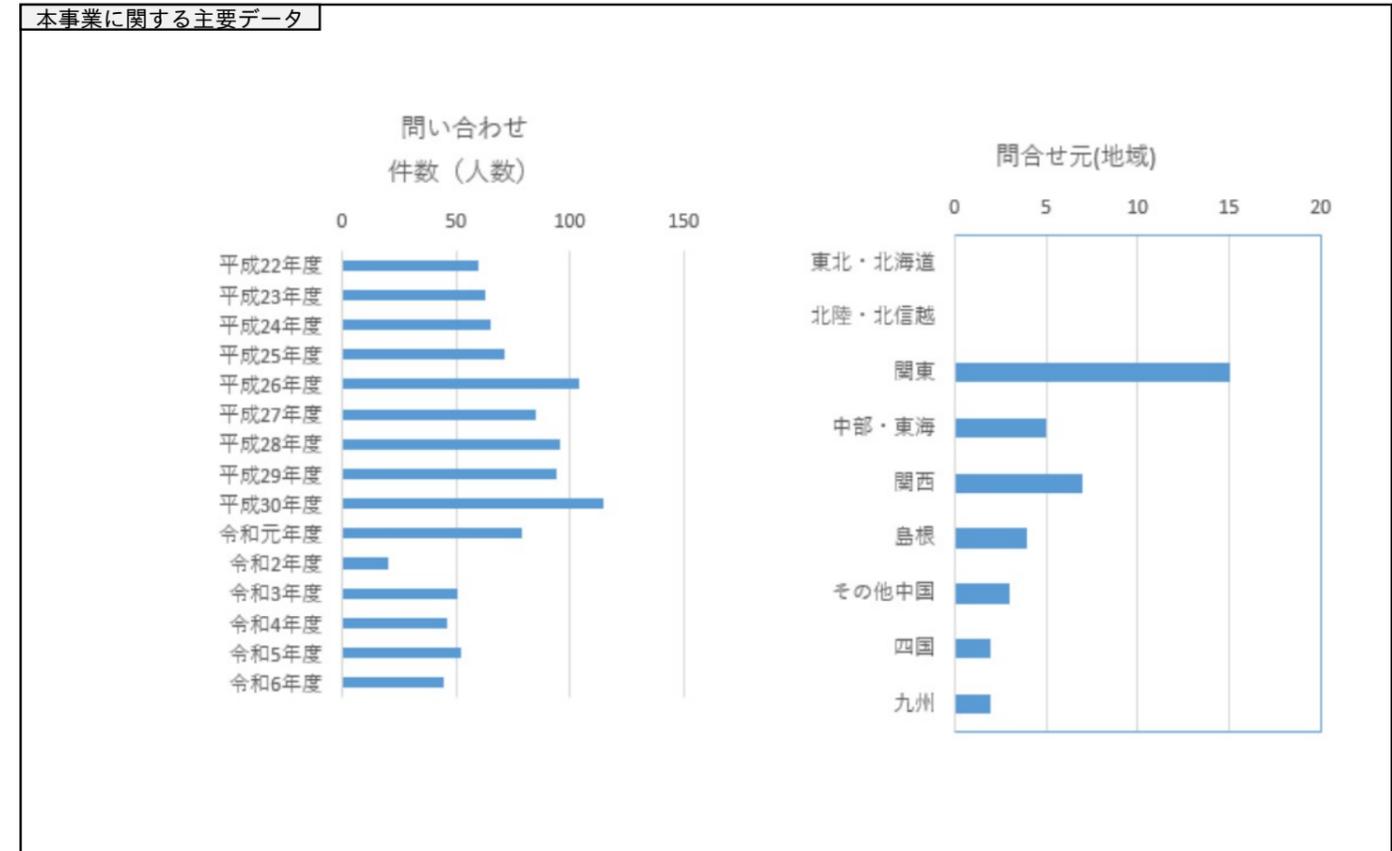
事業計画	R6実績見込	R7計画	R8計画
	○松江バリアフリースターセンター運営補助 ・バリアフリー状況調査・情報発信 ・観光関係者対象の研修実施 ・旅行相談、介助コーディネート	○松江バリアフリースターセンター運営補助 ・バリアフリー状況調査・情報発信 ・観光関係者対象の研修実施 ・旅行相談、介助コーディネート	○松江バリアフリースターセンター運営補助 ・バリアフリー状況調査・情報発信 ・観光関係者対象の研修実施 ・旅行相談、介助コーディネート
	達成度		
1	計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費	800	800
	国・県支出金		0
	地方債		
	その他		800
	一般財源	800	0
歳入合計		800	800

課題	○障がい者、高齢者等が快適に滞在できる環境づくりのため、ニーズや課題の把握が必要 ○バリアフリー観光地づくりのために観光関連事業者の連携が必要	方向性	○松江バリアフリースターセンターや観光関係機関と連携して取り組む
----	--	-----	----------------------------------

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	新たな層の観光客の開拓の強化

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容



R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	800		
事業費計			800

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
観光部観光振興課	閑散期誘客対策事業費補助金

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	年間の観光入込客数1,100万人、年間宿泊客数250万人を達成するため、観光客の落ち込む梅雨時期、冬期、平日の閑散期の誘客を強化する。	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
		年間宿泊客数（万人）	178	219	227	250
目標（何を達成するのか）	観光入込客数（万人）	873	1,020	1,040	1,100	
	年間宿泊客数250万人、観光入込客数1,100万人を目指す					

事業概要	<p>（数値目標の目標年度）年間宿泊客数：2029（R11）年、観光入込客数：2029（R11）年</p> <p>年間の観光入込客数1,100万人、宿泊客数250万人を達成するためには、梅雨時季や冬季などの閑散期の誘客を強化する必要があり、（一社）松江観光協会とともに事業に取り組む。</p>
------	--

事業計画	R6実績見込	R7計画	R8計画
	<ul style="list-style-type: none"> ○島根県観光連盟（&ご縁の聖地）とコラボし、「縁雲アンブレラスカイ」を実施 ○松江観光協会を中心に、冬季を含む閑散期の誘客対策を推進 ○若い世代（学生等）の誘客に向けて、ラジオや駅サイネージでのPR、および旅行会社での宿泊割引を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○「縁雲アンブレラスカイ」を実施 ○松江観光協会を中心に、冬季を含む閑散期の誘客対策を推進 	<ul style="list-style-type: none"> ○「縁雲アンブレラスカイ」を実施 ○松江観光協会を中心に、冬季を含む閑散期の誘客対策を推進
	達成度		
	1 計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費	2,000	599
	国・県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
	一般財源	2,000	599
歳入合計		2,000	599

課題	○閑散期に旅行を行うターゲットに絞って効果的なプロモーション	方向性	<ul style="list-style-type: none"> ○目標達成に向けて重要課題として継続して実施 ○官民が連携して情報共有し、常に新たな視点で営業戦略を実施する ○SNSマーケティングの結果等をもとに、ターゲット層の見直し及びプロモーションを継続して行う ○年度当初から県・市・観光事業者等が連携して取り組む
----	--------------------------------	-----	---

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	新たな層の観光客の開拓の強化

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	6～7月	縁雲アンブレラスカイ		
	冬季	若い世代（学生等）の誘客に向けた取り組み		



R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	599		
事業費計		599	